

## 15. 大地震調査報告文献集

地震研究所 { 宇佐美龍夫  
津野潤三

(昭和44年1月28日発表—昭和44年1月31日受理)

§ 大地震があると直ちに、一般、津波、被害等の調査や、余震、地殻変動、地磁気等の臨時観測が行われる。このときに、過去の地震に際しての各種の調査結果が大いに役立つ。しかし、残念ながら、こういう立場からの文献の調査は十分でなく、急ぎの場合に、適切な文献を探し出す設備すらなく、関係者の記憶にたよつて、2、3の別刷りに目を通すのが関の山であつた。この欠を補うために、本研究所の依頼をうけて、この「大地震調査報告文献集」をまとめた。

日本付近の地震に限定し、1965年までに出版された文献を広く集めることとした。しかし、古いものは入手が困難であり、各種の雑誌をすべて渉猟することもできないので、地震研究所に現存しているものを主にした。また、最近では雑誌の種類が多く、地震記事の載っているものをもれなく探し出すことも難かしい。一方、仕事の性質上、完璧を期すには長期間を要するので、今日まで、まとめた部分を整理した。今後も、図書室で新しい文献を収集して追加するつもりである。利用者の協力を得て、より良いものにしていきたいと願っている。なお、ここにあげたものの別刷りを集め、図書室に特別なコーナーを設けることも計画している。文献の収集には図書室が当り、整理分類には旧共同利用室(現地震予知観測センター)が当つた。この文献はカード化し、利用に便ならしむる予定である。

§ 本表は雑誌掲載のもの、特集号等の出版物、単行本の順に記されている。記載内容は番号、著者名、論文題目、掲載雑誌名、同発行年及び巻号頁、対象とする地震名とその発生年、内容の分類、備考とからなつている。上記各項の記載上、特に注意してほしい点は次の通りである。また、刷り上りで一行一項目になるように、各項の最大字数を制限した。多少の不便は免れないが、理解できるよう考えてある。

番号：文献が追加される場合を考え、分類記号と番号を併用した。

著者名：雑録等に含まれているものは省いた。著者が多数の場合は、はじめの数人のみを記した。

論文題目：長い題目の場合は後半を省いた。

発行所名：雑誌の場合は省いた。また、長い発行所名については適宜省略の上縮めたが、理解できるよう配慮したつもりである。

発行年巻頁：発行年は西暦を用い、頁は巻の通し頁とした。多少の例外もある。特に第1輯、第2輯の別、号を入れる必要のあるときは、一見して判断できるようにしてある。

地震名：対象とする地震名、あるいは、研究の動機となつた地震名とその発生年を記す。

この欄にある全地震の発生年月日、緯度、経度、深さ、規模、そして昭和 43 年版「理科年表」の該当番号を別表 1 にまとめた。これには「日本付近のおもな被害地震の表」(宇佐美, 1966 年)を参照し、これにないものについては、気象庁の「地震月報」を参考にした。群発地震については、その群のうち規模最大の地震で代表させた。いくつかの地震を扱っているものについては、主要なものの名をあげ、備考欄を活用した。しかし、重点をおいている地震が明らかでないときは、ブランクとした。また、規模の小さい地震で命名しないほうがよいと考えられるものは、命名しなかつた。地震の名前については、気象庁で正式に命名してある場合、それにしたがった。その他のものについてはできるだけ慣用にしたがうこととした。また、とくに慣用名のないものについては、震源地名により、特別なもののみ年号によつた。(例・安政, 宝永, 元祿など)

**分類:** 内容の分類を示す。二つ以上にわたるものは、最も力点のおかれている内容を示し、備考に他の項目をも記載した。境界のはつきりしないものもある。このときには主観によつて分類をきめた。分類の決定に当り、題目から内容が十分に伺えるもの以外の論文については、原典を調べた。分類は次の通りである。表にはゴチック体で示す略号を使つた。

I) 一般 (概説, 歴史, いくつかの項目にわたるもの, 踏報と区別しにくいものも含む)

II) 踏査報告

**験測** (震源決定, マグニチュード, 走時曲線, 強震記録などを含む)

**余震, 発震機構** (初動分布, 記象型, 原因論も含む), **発光現象, 音響, 地震活動** (地震群も含む), **微小地震, 海震, 通信調査, 前兆, 波動**

III) **測量** (測量結果を主とするもの), **傾斜, 伸縮, 昇降, 断層, 山崩** (山津波を含む), **地亡, 地変** (き裂, 流砂, 噴砂を含む), **地殻変動** (地塊, 以上 8 項目のうちに入らないものも含む), **海況** (験潮を含む), **地下水** (温泉を含む), **火山, 重力**

**地質** (地形を含む), **地盤** (常時微動を含む, 地質と区別し難いものあり)

**被害** (一般的被害, 被害の踏査報告を含む), **火災, 建築被害, 土木被害, 建物振動, 耐震論, 防災論**

**津波** (津波予報を含む), **津波被害, セイシュ, 津波報告** (津波に関する踏査報告)

VI) **地球電磁氣的現象**

**統計** (気圧, 天候との関係を論じたものが多い)

**その他** (討論会, 座談会, 写真, フィルム, 資料, 墓石等の調査とそれによる地動, 震度, 加速度の推定等を含む)

別表 2 は主題別の調査文献数の統計をとつたものである。分類欄の I, II, III, IV, V は上記分類の I), II), ……V) に相当する。この表から時代による研究主題の変化が伺える。

#### 参 考 文 献

- 1) 東京天文台 「理科年表」—昭和 43 年版, (1966), 丸善
- 2) 宇佐美龍夫 「日本付近のおもな被害地震の表」, 地震研究所彙報, 44 (1966), 1571~1622
- 3) 気 象 庁 「地震月報」毎月 1 冊ずつ発行されている。

別表 1. 本表で調査された地震の表

番号	年 月 日	地 震 名	経 度	緯 度	深 さ	M	地震番号 (理科年表 43年版)	備 考
1	679 — — (天武 7 XII —)	筑 紫	130.4° <sup>E</sup>	32.7° <sup>N</sup>	km	6.7	14	
2	684 XI 29 (天武 13 X 14)	白 鳳	134.0	32.5		8.4	15	
3	701 V 12 (大宝 1 III 26)	丹 後	135.4	35.6		7.0	16	
4	830 II 3 (天長 7 I 3)	出 羽	140.1	39.8		7.4	31	
5	850 — — (嘉祥 3 — —)	庄 内	140.0	39.1		7.0	34	
6	857 IV 4 (天安 1 III 3)	天 安	140.6	40.3		7.0	36	
7	1498 IX 20 (明応 7 VIII 25)	東 海 道	138.2	34.1		8.6	130	
8	1596 IX 4 (慶長 1 閏 VII 12)	豊 後	131.7	33.3		6.9	165	
9	1605 I 31 (慶長 9 XII 16)	東 南 海	140.4 134.9	34.3 33.0		7.9	172	
10	1611 XII 2 (慶長 16 X 28)	三 陸	143.8	38.2		8.1	174	
11	1662 X 31 (寛文 2 IX 20)	日 向 灘	132.0	31.7		7.6	208	
12	1677 XI 4 (延宝 5 X 9)	延 宝	141.5	36.6		7.4	231	
13	1694 VI 19 (元祿 7 V 27)	能 代	140.2	40.2		7.0	244	
14	1703 XII 31 (元祿 16 XI 23)	元 祿	139.8	34.7		8.2	251	
15	1704 V 27 (宝永 1 IV 24)	宝 永	140.0	40.4		6.9	252	
16	1707 X 28 (宝永 4 X 4)	宝 永	135.9	33.2		8.4	254	
17	1710 X 3 (宝永 7 閏 VIII 11)	因幡・伯耆・美作	133.8	35.5		6.6	257	
18	1714 IV 28 (正徳 4 III 15)	大 町	137.8	36.7		6.4	260	
19	1763 III 11 (宝暦 13 II 1)	八 戸	142.0	40.7		7.4	295	
20	1766 III 8 (明和 3 I 28)	津 軽	140.6	40.8		6.9	297	
21	1771 IV 24 (明和 8 III 10)	明 和	124.3	24.0		7.4	303	
22	1792 V 21 (寛政 4 IV 1)	島 原	130.3	32.8		6.4	313	
23	1793 II 8 (寛政 4 XII 28)	鯨 ケ 沢	140.0	40.7		6.9	316	
24	1804 VII 10 (文化 1 VI 4)	象 潟	140.0	39.0		7.1	322	
25	1810 IX 25 (文化 7 VIII 27)	男 鹿	139.9	39.9		6.6	324	

番号	年 月 日	地 震 名	経 度		緯 度	深 さ km	M	地震番号 (理科年表) 43年版	備 考
			E	N					
26	1819 VIII 2 (文政 2 VI 12)	近 江・伊 勢	136.3°	35.2°			7.4	331	
27	1833 V 27 (天保 4 IV 9)	美 濃	136.6	35.5			6.4	341	
28	1847 V 8 (弘化 4 III 24)	善 光 寺	138.2	36.7			7.4	353	
29	1854 VII 9 (安政 1 VI 15)	安 政	136.2	34.8			6.9	360	
30	1854 XII 23 (安政 1 XI 4)	安 政	137.8	34.1			8.4	363	
31	1854 XII 24 (安政 1 XI 5)	安 政	135.6	33.2			8.4	364	
32	1855 XI 11 (安政 2 X 2)	江 戸	139.8	35.8			6.9	367	
33	1858 IV 9 (安政 5 II 26)	飛 騨	137.2	36.1			6.9	372	
34	1872 III 14 (明治 5 II 6)	浜 田	132.0	34.8			7.1	385	
35	1880 II 22(明 13)	横 浜					5.9	387	
36	1882 VI 24(明 15)	高 知							
37	1882 IX 29(明 15)	海 熱							
38	1887 I 15(明 20)	横 浜					6.3		
39	1888 IV 5(明 21)	宇 宮	140.0	36.4			5.9		
40	1889 II 18(明 22)	川 崎	139.7	35.4			6.2		
41	1889 VII 28(明 22)	熊 本	130.7	32.8			6.3	391	
42	1889 X 1(明 22)	大 隅							
43	1890 I 7(明 23)	川 尻	138.2	36.8			6.3		
44	1890 IV 16(明 23)	三 宅	139.3	34.3			6.2	392	
45	1890 IV 16(明 23)	鬼 怒	139.5	36.2			6.2		
46	1891 X 28(明 24)	濃 尾	136.6	35.6			8.4	393	
47	1892 VI 3(明 25)	下 総	140.5	35.9			6.7		
48	1892 IX 7(明 25)	岐 阜	136.5	36.0			6.6		
49	1893 IX 7(明 26)	知 覧	130.5	31.4			6.4	397	
50	1894 I 10(明 27)	濃 尾	137.0	35.0			7.4		
51	1894 III 22(明 27)	釧 路	146.3	42.4			7.9	399	
52	1894 VI 20(明 27)	東 京	139.9	35.7			7.5	400	
53	1894 X 22(明 27)	庄 内	139.5	39.2			7.3	401	
54	1895 I 18(明 28)	利 根	140.4	35.9			7.3	402	
55	1895 X 12(明 28)	瀬 戸	133.	34.			6.7		
56	1896 VI 15(明 29)	三 陸	144.2	39.6			7.6	404	
57	1896 VIII 31(明 29)	陸 羽	140.7	39.5			7.5	405	
58	1897 I 17(明 30)	上 高	138.2	36.6			6.3	406	
59	1897 II 20(明 30)	陸 前	141.5	38.1			7.8	407	
60	1897 VIII 5(明 30)	三 陸	143.7	38.0			7.7	408	
61	1897 XII 8(明 30)	陸 中	141.5	39.6			6.9		
62	1898 IV 23(明 31)	陸 中	143.6	39.5			7.8	409	



番号	年 月 日	地 震 名	経 度		緯 度	深 さ	M	地震番号 (理科年表版) (43年版)	備 考
			E	N					
63	1898 VIII 10(明 31)	福 岡	130.2°	33.5°		km	6.5	411	
64	1899 III 7(明 32)	紀伊・大 和	136.0	34.2			7.6	413	
65	1900 V 12(明 33)	陸 前	141.0	39.0			7.3	415	
66	1900 XI 5(明 33)	三 宅 島	139.5	34.0			6.8	416	
67	1901 VIII 9(明 34)	八 戸	141.8	40.3			7.7	418	
68	1905 VI 2(明 38)	芸 予	132.3	34.2			7.6	422	
69	1905 VI 7(明 38)	大 京 島	139.2	34.8			7.0	423	
70	1906 II 24(明 39)	東 京 湾	139.8	35.5			7.7		
71	1909 VIII 14(明 42)	江 濃	136.3	35.4			6.9	428	
72	1909 VIII 29(明 42)	江 沖 繩						429	
73	1909 XI 10(明 42)	日 向 灘	133.1	32.1			7.9	430	
74	1910 VII 24(明 43)	有 珠	140.8	42.5			6.5	431	
75	1911 VI 15(明 44)	喜 界 島	130.0	28.0			8.2	433	
76	1911 XI 5(明 44)	東 京 湾	140.	35.			7.0		
77	1912 VIII 17(大 1)	上 田	138.4	36.3			5.7		
78	1913 VI 29(大 2)	鹿 児 島	130.5	31.6			6.4	434	
79	1914 I 12(大 3)	桜 島	130.7	31.6			6.1	435	
80	1914 III 15(大 3)	羽 後 仙	140.4	39.5			6.4	436	
81	1914 V 23(大 3)	出 雲	133.4	35.3			6.3		
82	1914 XI 15(大 3)	高 田	138.2	37.0			6.1		
83	1915 XI 1(大 4)	石 卷 沖	143.2	38.8			7.5	438	
84	1915 XI 12(大 4)	上 総	141.4	35.2			6.7		10月16日10時38分
85	1916 II 22(大 5)	浅 間 山	138.4	36.4			6.0	439	$\lambda = 140.8^\circ \text{E}$
86	1916 XI 26(大 5)	明 石	135.0	34.6			6.3	441	$\phi = 34.3^\circ \text{N}$
87	1917 V 18(大 6)	静 岡	138.1	35.2			6.3	443	$M = 6.7$
88	1918 IX 8(大 7)	ウ ル ッ プ 島 沖	151.8	45.7			7.9	444	
89	1918 XI 8(大 7)	エ ト ロ フ 島 沖	148.9	44.1			7.8	445	
90	1918 XI 11(大 7)	大 町	137.8	36.5			6.1	446	
91	1919 XI 1(大 8)	三 次	132.9	34.8			5.9		
92	1921 XII 8(大 10)	竜 ケ 崎	140.1	35.8			7.1	448	
93	1922 IV 26(大 11)	浦 賀 海	139.7	35.2			6.9	449	
94	1922 XII 8(大 11)	島 原	130.1 130.1	32.7 32.8			6.5 5.9	451	
95	1923 I 14(大 12)	水 海 道	140.0	36.0			6.3	452	
96	1923 VII 13(大 12)	種 子 島	131.1	30.6			6.5		
97	1923 IX 1(大 12)	関 東	139.3	35.2			7.9	453	
98	1924 I 15(大 13)	丹 沢	139.2	35.5			7.2	454	
99	1924 VIII 13(大 13)	紀 伊	135.5	34.0			6.4		
100	1925 II 14(大 14)	津 軽 沖							
101	1925 V 23(大 14)	但 馬	134.8	35.7			7.0	455	
102	1925 VII 7(大 14)	岐 阜 北	136.9	35.3			6.1		
103	1926 II 4(大 15)	襟 裳	142.2	41.7		100			
104	1926 VI 13(大 15)	釧 路							

番号	年 月 日	地 震 名	経 度		緯 度	深 さ	M	地震番号 (理科年表) (43年版)	備 考
			E	N					
105	1926 VIII 3(大 15)	羽 田	139.8°	35.4°	35	km	6.2		
106	1926 IX 5(大 15)	帯 広 沖	143.7	42.0	40		6.8		
107	1927 III 7(昭 2)	丹 後	135.1	35.6	10		7.5	456	
108	1927 IV 1(昭 2)	丹 後	135.0	35.7	20		6.2		
109	1927 VIII 6(昭 2)	宮 城 沖	142.0	38.0	20		6.9		
110	1927 X 27(昭 2)	関 原	138.8	37.5	0~10		5.3	458	
111	1928 III 23(昭 3)	飯 能	139.7	36.0	50~60		5.2		
112	1928 VI 3(昭 3)	甕 島 西 方	128.8	31.7	40		6.4		
113	1928 V 21(昭 3)	千 葉	140.3	35.6	60		5.8		
114	1929 I 2(昭 4)	阿 蘇							
115	1929 I 20(昭 4)	德 舜 警							北海道有珠郡
116	1929 I 21(昭 4)	厚 沢 部							北海道檜山郡
117	1929 III 16(昭 4)	須 坂							
118	1929 V 22(昭 4)	日 向 灘	132.2	31.7	30		6.8		
119	1929 VII 4(昭 4)	奈 良 南	135 <sup>3</sup> / <sub>4</sub>	34.0	20		5.4		
120	1929 VII 27(昭 4)	相 模	139.1	35.5	20		6.1		
121	1929 VIII 8(昭 4)	福 岡 西	130.3	33.5	0		4.7		
122	1929 XI 20(昭 4)	有 田 川	135.2	34.2	10		5.6	459	
123	1930 II ~ V(昭 5)	伊 東							群発地震
124	1930 X 17(昭 5)	加 賀 南	136.3	36.3	20		6.4		
125	1930 XI 26(昭 5)	伊 豆	139.0	35.1	0~5		7.0	460	
126	1930 XII 20(昭 5)	広 島 北	132.9	35.0	20		6.0		
127	1931 I 9(昭 6)	田 沢 湖	140.6	39.8	130				
128	1931 II 17(昭 6)	浦 河 沖	142.6	42.3	40		6.8		
129	1931 II 20(昭 6)	日 本 海	135.7	44.5	350				
130	1931 III 9(昭 6)	青 森 沖	142.5	41.2	0		7.6		
131	1931 IX 16(昭 6)	道 志 川	138.9	35.5	35		6.5		
132	1931 IX 21(昭 6)	西 崎 玉	139.2	36.1	10~20		7.0	462	
133	1931 XI 2(昭 6)	日 向 灘	132.1	32.2	20		6.6		
134	1931 XI 4(昭 6)	小 国	141.7	39.5	0~10		6.1		
135	1933 III 3(昭 8)	三 陸	144.7	39.1	0~20		8.3	463	
136	1933 VII 29(昭 8)	紀 伊 水 道	135.1	34.0	20		5.1		
137	1933 VIII 24(昭 8)	奥 中 山							群発, 岩手北部
138	1933 IX 21(昭 8)	能 登	137.0	37.1	15		6.0		
139	1933 X 4(昭 8)	十 日 町	138.87	37.28	30		6.1		
140	1934 III 21(昭 9)	南 伊 豆	138.9	34.8	0~10		5.5		
141	1934 VIII 18(昭 9)	岐 阜 八 幡	137.0	35.7	0~10		6.2		
142	1935 IV 21(昭 10)	台 湾	120.6	24.3				464	
143	1935 VII 11(昭 10)	静 岡	138.4	35.0	10		6.3	465	
144	1936 II 21(昭 11)	河 内・大 和	135.7	34.5	20		6.4	466	
145	1936 XI 3(昭 11)	金 華 山	142.2	38.2	50~60		7.7		
146	1936 XI 24(昭 11)	尾 去 沢							群 発
147	1936 XII 27(昭 11)	新 島	139.2	34.5	0~20		6.3	467	

番号	年 月 日	地 震 名	経 度		緯 度	深 さ	M	地震番号 (理科年表 43年版)	備 考
			E	N					
148	1938 I 12(昭 13)	田 辺 湾	135.2°	33.7°	20	6.7	469		
149	1938 V 23(昭 13)	磐 城 沖	141.4	36.7	10	7.1	470		
150	1938 V 29(昭 13)	屈 斜 路	144.3	43.6	20	6.0	471		
151	1938 VI 18(昭 13)	大 島						群 発	
152	1938 XI 5(昭 13)	塩 屋 沖	141.7	37.1	20	7.7	472		
153	1939 V 1(昭 14)	男 鹿	139.8	40.0	0	7.0	474		
154	1939 IX 21(昭 14)	鳴 子・鬼 首						群 発	
155	1939 XII 16(昭 14)	色 丹	147.2	43.1	80~ 100				
156	1940 VIII 2(昭 15)	積 丹 沖	139.5	44.1	0~20	7.0	475		
157	1941 VII 15(昭 16)	長 野	138.3	36.7	5~20	6.2	476		
158	1941 XI 19(昭 16)	日 向 灘	132.1	32.6	0~20	7.4	477		
159	1941 XII 17(昭 16)	台 湾	120.6	23.4		7.2	478		
160	1943 III 4,5(昭 18)	鳥 取	134.2	35.6	20	6.1	479 480		
161	1943 VIII 12(昭 18)	田 島	139.8	37.3	15	6.1	481		
162	1943 IX 10(昭 18)	鳥 取	134.2	35.5	10	7.4	482		
163	1943 X 13(昭 18)	古 間	138.2	36.8	0	6.1	483		
164	1943~1945(昭 19)	有 珠						火山活動に伴う 地震群	
165	1944 XII 7(昭 19)	東 南 海	136.2	33.7	0~30	8.0	485		
166	1945 I 13(昭 20)	三 河	137.0	34.7	0	7.1	486		
167	1945 II 10(昭 20)	八 戸 沖	142.1	40.9	30	7.3			
168	1946 XII 21(昭 21)	南 海	135.6	33.0	30	8.1	487		
169	1947 IV 14(昭 22)	新 潟 西	138.1	37.1	0	5.7			
170	1947 IX 27(昭 22)	石 垣 島	124.0	24.0					
171	1948 VI 28(昭 23)	福 井	136.2	36.1	20	7.3	488		
172	1949 VII 12(昭 24)	安 芸 海	132.5	34.0	40	6.2			
173	1949 XII 26(昭 24)	今 市	139.7	36.7	v. s. v. s.	6.4 6.7	489		
174	1950 IV 26(昭 25)	熊 野 川	135.8	33.8	40	6.7			
175	1951 II 15(昭 26)	島 原	130.2	32.8	0~10	5.4			
176	1952 III 4(昭 27)	十 勝 沖	143.9	42.2	45	8.1	490		
177	1952 III 7(昭 27)	大 聖 寺	136.2	36.5	20	6.8	491		
178	1952 VII 18(昭 27)	吉 野	135.8	34.5	20	7.0	492		
179	1952 XI 5(昭 27)	カムチャッカ	162.0	52.0	S				
180	1953 XI 26(昭 28)	房 総 沖	141.8	34.3	40~60	7.5	493		
181	1955 VI 23(昭 30)	鳥 取 西	133.4	35.2	20 ca	5.1			
182	1955 VII 27(昭 30)	徳 島 南	134.3	33.8	0~10	6.0	494		
183	1955 X 19(昭 30)	二 ツ 井	140.2	40.3	0~10	5.7	495		
184	1956 VIII 13(昭 31)	伊 豆	138.8	33.8	40~60	6.5			
185	1956 IX 30(昭 31)	白 石	140.6	38.0	20 ca	6.1	498		
186	1957 XI 11(昭 32)	新 島	139.4	34.3	0	6.3			
187	1958 III 11(昭 33)	石 垣 島	124½	24¾	80				
188	1958 XI 7(昭 33)	エ ト ロ フ	148.5	44.3	80	8.0	500		

番号	年 月 日	地 震 名	経 度		緯 度		深 さ	M	地震番号 (理科年表) (43年版)	備 考
			E	N	W	S				
189	1959 I 31(昭 34)	弟 子 屈	144.4° 144.4	43.4° 43.5	20 0	km	6.2 6.1			
190	1960 III 21(昭 35)	三 陸	143.5	39.8	20		7.5	502		
191	1960 V 23(昭 35)	チ リ	73.5	38.0			8.5			
192	1961 II 2(昭 36)	長 岡	138.8	37.5	20		5.2	503		
193	1961 II 27(昭 36)	日 向 灘	131.9	31.6	40		7.0	504		
194	1961 III 16(昭 36)	吉 松	130.7	32.0	00		5.5			
195	1961 VIII 12(昭 36)	鉏 路 沖	145.6	42.9	80					
196	1961 VIII 19(昭 36)	北 美 濃	136.8	36.0	00		7.0	505		
197	1962 IV 23(昭 37)	広 尾 沖	143.9	42.2	60		7.0			
198	1962 IV 30(昭 37)	宮 城 北	141.1	38.7	00		6.5	506		
199	1963 I 28(昭 38)	養 老 牛	145.0	43.6	40		5.3			
200	1963 III 27(昭 38)	越 前 岬 沖	135.8	35.8	00		6.9	508		
201	1963 X 13(昭 38)	エ ト ロ フ	150.0	43.8	20		8.1	509		
202	1964 I 20(昭 39)	羅 白	145.2	44.0	0		4.6			
203	1964 III 28(昭 39)	ア ラ ス カ	147.6	61.1	20		8.5			
204	1964 V 7(昭 39)	男 鹿 沖	139.0	40.3	00		6.9	510		
205	1964 VI 16(昭 39)	新 潟	139.2	38.4	40		7.5	511		
206	1964 VI 23(昭 39)	根 室 沖	146.5	43.0	80					
207	1964 XII 26(昭 39)	新 島	139.3	34.7	0		5.5		群 発	
208	1965 II 4(昭 40)	ア リ ュ ー シ ャ ン	178.6	51.3	40		7.5			
209	1965 IV 20(昭 40)	静 岡	138.3	34.9	20		6.1	512		
210	1965 VIII~(昭 40)	松 代							群 発	

別表 2. 年代別・主題別文献数

(カッコ内は各年代別の総数を 100 としたときの百分比)

年 代	分類 地震数	I	II	III	IV	V	合 計
		%	%	%	%	%	%
天 武 7 年~明 治 5 年	34	75(48)	3( 2)	48(30)	30(19)	2( 1)	158(100)
明 治 6 年~大 正 12 年 (関東地震前)	62	181(42)	66(15)	55(13)	99(23)	29( 7)	430(100)
大正12年(関東地震)~昭和20年	71	202(19)	264(25)	264(25)	264(25)	64( 6)	1058(100)
昭和 21 年~昭和 40 年	43	132(12)	154(14)	196(17)	579(51)	66( 6)	1127(100)
計	210	590(21)	487(18)	563(20)	972(35)	161( 6)	2773(100)

# 大地震調查報告文獻

番号	著者名	題	日	西曆年	卷	号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
<b>地震研究所彙報</b>											
1-1	陸地測量部	関東震災地一帯に於ける土地の隆起及沈下状態		1926	1	65	関東	1923	昇降		
1-2	海軍省水路部	丹後但馬震災地方海面の調査		1927	2	111	但馬	1925	海況		
1-3	谷口 忠	丹後地震に於ける建築物の被害に就て		1927	3	133	丹後	1927	建被		
1-4	地震研究所	丹後震災地水準測量第一回報告		1927	3	167	丹後	1927	測量		地殻変
1-5	津屋弘達	丹後地震地方の地質構造に就て(予報)		1928	4	139	丹後	1927	地質		山崎直方論文 集後編1931
1-6	N. Yamasaki et al.	The Oku-Tango Earthquake of 1927.		1928	4	159	丹後	1927	一般		
1-7	今村明恒	丹後大地震調査報告		1928	4	179	丹後	1927	一般		
1-8	石本巳四雄	丹後大地震後の宮津町及び河辺村に於ける地表傾斜変化観測(一)		1928	4	203	丹後	1927	傾斜		
1-9	陸地測量部	丹後震災地一・二等三角点移動検測成果報告		1928	4	223	丹後	1927	測量		地殻変
1-10	陸地測量部	丹後震災地一・二等水準測量第一回及第二回検測成果比較要図		1928	4	225	丹後	1927	測量		
1-11	米村未喜	丹後但馬震災地方海面調査報告		1928	4	227	但馬	1925	海況		
1-12	陸地測量部	関東震災地一・二等三角点移動要図		1928	4	231	関東	1923	測量		
1-13	T. Matuzawa	Observation of some of recent Earthquakes and their, (Part 1)		1928	5	1			駁測		関東(1923) 但馬(1925) 丹後(1927) 丹後(1927) [関原(1927)]
1-14	松沢武雄	昭和2年10月27日長岡市西方の地震調査報告		1928	5	29	関原	1927	踏報		
1-15	今村明恒・岸上冬彦	関東大地震並に丹後大地震に表はれたる断層の横ずれに就いて		1928	5	35	関原 丹後	1923 1927	断層		
1-16	多田文男	奥丹後半島の地形発達史		1928	5	111	丹後	1927	地質		
1-17	陸地測量部	丹後震災地一・二等水準測量第二回及第三回検測成果比較要図		1928	5	165	丹後	1927	測量		
1-18	C. Tsuboi	An Interpretation of the Results of the Repeated Precise		1929	6	71	丹後	1927	地殻変	測量	
1-19	S. Fujiwhara et al.	On the Mechanism of the Great Sagami Bay Earthquake on		1929	6	149	関原	1923	発機		
1-20	T. Matuzawa	Observation of some Recent Earthquakes and their, Part II		1929	6	177			駁測		襟裳岬(1926) 羽田(1926) 丹後(1927)
1-21	R. Takahasi	A Graphical Determination of the Position of the Hypocentre		1929	6	231	丹後	1927	駁測		
1-22	那須信治	丹後地震の余震観測調査報告(第一報)		1929	6	245	丹後	1927	余震		
1-23	那須信治	丹後地震の余震調査報告(第二報)		1929	7	133	丹後	1927	余震		
1-24	陸地測量部	丹後震災地一・二等三角点移動検測成果第二報告		1929	7	185	丹後	1927	測量		
1-25	陸地測量部	丹後地方震災地復旧一・二等三角測量記事		1929	7	187	丹後	1927	測量		
1-26	T. Terada et al.	Deformation of the Earth Crust in Kwansai Districts and its		1929	7	223	丹後	1927	地殻変		
1-27	陸地測量部	丹後地方震災地復旧二・三等三角測量記事		1929	7	381	丹後	1927	測量		

1-28	陸地測量部	丹後震災地一等水準測量第三回及第四回検測成果比較要図	1929	7	587	丹後	1927	測量
1-29	C. Tsuboi	Investigation on the Deformation of the Earth's Crust, (Part 1)	1930	8	153	丹後	1927	地殻変
1-30	M. Ishimoto	Observations sur les variations de l'inclinaison, (deuxième)	1930	8	222	関原	1927	傾斜
1-31	C. Tsuboi	Investigation on the Deformation of the Earth's Crust, (Part 2)	1930	8	338	丹後	1927	地殻変
1-32		伊豆東海岸に於ける水準測量成果報告	1930	8	375	伊東	1930	測量
1-33	C. Tsuboi	A Note on the Analytical Treatments of the Horizontal.	1930	8	384	関東	1923	地殻変
1-34	H. Tsuya	On the Geologic Structure of Itô District, Idu.	1930	8	409	伊豆	1930	地質
1-35	石本巴四雄・高橋龍太郎	伊東地震と地表傾斜変化の観測	1930	8	427	伊東	1930	傾斜
1-36	今村明恒	北伊豆大地震の計測学的研究	1931	9	36	伊豆	1930	験測
1-37		丹後震災地一等水準測量第四回及第五回検測成果比較	1931	9	107	丹後	1927	測量
1-38		伊豆東海岸に於ける一等水準測量第一回及第二回検測成果比較	1931	9	109	伊東	1930	測量
1-39		伊豆大震調査概要	1931	9	111	伊豆	1930	一般
1-40	C. Tsuboi	A Note on the Results of the Repeated Precise Levellings	1931	9	151	伊東	1930	地殻変
1-41	W. Inouye et al.	On Sound Phenomena of the Idu Earthquake of Nov. 26th,	1931	9	168	伊豆	1930	音響
1-42	武者金吉	昭和5年11月26日伊豆地震に伴ひたる光の現象に就て	1931	9	177	伊豆	1930	発光
1-43	岸上冬彦	昭和5年10月17日加賀南西部の強震調査報告	1931	9	216	加賀南	1930	踏報
1-44	C. Tsuboi	On the Results of Repeated Precise Levellings around Idu	1931	9	271	伊豆	1930	地殻変
1-45	C. Tsuboi	Investigation on the Deformation of the Earth's Crust, (Part 3)	1931	9	423	丹後	1927	地殻変
1-46	R. Takahasi	Results of the Precise Levellings executed in the Tanna	1931	9	435	伊豆	1930	地殻変
1-47	寺田寅彦・宮部直巳	秦野に於ける山崩	1932	10	192	関東	1923	山崩
1-48	Y. Ôtuka	The Geomorphology of the Kano-gawa Alluvial Plain,	1932	10	235	伊豆	1930	地質
1-49	地震研究所	伊豆震災地一二等三角点水平移動成果報告	1932	10	261	伊豆	1930	測量
1-50	C. Tsuboi	Investigation on the Deformation of the Earth's Crust, (Part 4)	1932	10	411	丹後	1927	地殻変
1-51	C. Tsuboi	Investigation on the Deformation of the Earth's Crust in Idu	1932	10	435	伊豆	1930	地殻変
1-52	N. Miyabe	On Different Types of Time-variation in the Rate of Vertical	1932	10	597	関東	1923	昇降
1-53		東京市及其附近と板橋町・富士見村間一等水準線検測成果報告	1933	11	122	西埼玉	1931	測量
1-54	武藤勝彦・川畑幸夫	濃尾震災地及び其他の地方に於ける検測水準測量の調査	1933	11	315	濃尾	1891	測量
1-55	C. Tsuboi	Vertical Crustal Displacement in the Seismic Region of Itô	1933	11	488	伊豆	1930	昇降
1-56	Y. Ôtuka	The Geomorphology and Geology of Northern Idu Peninsula,	1933	11	530	伊豆	1930	地質

番号	著 者 名	題 目	西暦年 卷 号 頁	地震名西暦年	分類	備 考
1-57	鈴木武夫	昭和8年9月21日の能登地震踏査報告	1934 12 44	能登 1933	踏報	
1-58	地震研究所	伊豆東海岸に於ける水準測量成果報告	1934 12 150	伊東 1930	測量	
1-59	地震研究所	富山県氷見郡八代村国見・石川県鹿島郡笠師保村間一水準線検測	1934 12 152	能登 1933	測量	
1-60	福富孝治	昭和9年3月21日南伊豆強震調査報告	1934 12 527	南伊豆 1934	一般	地活
1-61	N. Miyabe	A Statistical Study of the Itô Earthquake Swarms.	1935 13 155	伊東 1930	統計	
1-62	T. Matuzawa	Seismometrische Untersuchungen des Erdbebens vom 2., I	1935 13 171	三陸 1933	験測	
1-63	Y. Otuka	The Oti Graben in Southern Noto Peninsula, Japan. (Part 1)	1935 13 218	能登 1933	地質	
1-64	T. Suzuki	Seiche in the Tôkyô Bay Caused by the Land Upheaval on	1935 13 266	関東 1923	セイシ	
1-65	N. Miyabe	Deformation of the Earth's Crust in the Iwate and Miyagi	1935 13 286	三陸 1933	地殻変	
1-66	T. Matuzawa	Seismometrische Untersuchungen des Erdbebens vom 2., II	1935 13 328	三陸 1933	験測	
1-67	N. Nasu	Supplementary Study on the Stereometrical Distribution	1935 13 335	丹後 1927	余震	験測
1-68	N. Nasu	Recent Seismic Activities in the Idu Peninsula. (Part 2)	1935 13 400	伊豆 1930	地活	
1-69	Y. Otuka	The Oti Graben in Southern Noto Peninsula, Japan. (Part 2)	1935 13 806	能登 1933	地質	
1-70	Y. Otuka	The Oti Graben in Southern Noto Peninsula, Japan. (Part 3)	1935 13 846	能登 1933	地質	
1-71	那須信治・保田柱二	静岡強震に就て	1935 13 942	静岡 1935	一般	
1-72	萩原尊禮	昭和10年7月11日の静岡地震に就て	1935 13 951	静岡 1935	一般	
1-73	金原寿郎・竹村千幹	昭和10年7月11日静岡地震害調査報告	1935 13 966	静岡 1935	踏報	
1-74	齐田時太郎	昭和10年7月11日静岡地震に就て	1935 13 985	静岡 1935	一般	
1-75	H. Matuo	Damages to the Quay Walls of Simizu Harbour due to the	1935 13 999	静岡 1935	土破	
1-76	福富孝治	昭和10年7月11日静岡地震後に於ける水準測量結果報告	1935 13 1010	静岡 1935	測量	地殻変
1-77	T. Matuzawa	Seismometrische Untersuchungen des Erdbebens vom 2., III	1936 14 38	三陸 1933	験測	
1-78	福富孝治	伊豆下田に於ける過去地震津浪の高さ	1936 14 68	関東 1923	津波	東海道(1498) 東南海(1605) 元祿(1703)
1-79	H. Kuno	The Geologic Section along the Tanna Tunnel.	1936 14 92	伊豆 1930	地質	宝永(1707)
1-80	那須信治・萩原尊禮	昭和11年2月21日河内大和強震調査報告	1936 14 285	河内・大1936	一般	〔安政(1854)
1-81	那須信治・萩原尊禮	大阪市内に於ける土地の固有振動の測定	1936 14 290	河内・大1936	地盤	
1-82	宮部直巳	昭和11年2月21日河内大和強震に関する調査報告	1936 14 297	河内・大1936	一般	
1-83	齐田時太郎	昭和11年2月21日河内、大和強震被害の地質及地形的考察	1936 14 307	河内・大1936	地質	被害
1-84	地震研究所	袋井一興津一小田原間及び興津一甲府間の一水準線検測成果報告	1936 14 481	静岡 1935	測量	地殻変



1-85	H. Kuno	On the Displacement of the Tanna Fault since the Pleistocene.	1936	14	619	伊豆	1930	断層	
1-86	高山威雄	昭和11年11月3日金華山沖合地震被害調査報告	1937	15	179	金華沖	1936	被害	
1-87	永田 武	新島地震前後に於ける同地方地磁気伏角測定値の比較	1937	15	497	新島	1936	地電磁	踏報
1-88	萩原尊禮・表 俊一郎	昭和11年12月27日伊豆新島地震余震観測並に踏査報告	1937	15	559	新島	1936	余震	
1-89	N. Miyabe	Supplementary notes to the Study of Crustal Deformation in	1937	15	654	丹後	1927	地震変	
1-90	F. Kishinouye	Frequency-distribution of the Itô Earthquake Swarm of 1930.	1937	15	785	伊東	1930	地活	
1-91	N. Miyabe	Tsunami associated with the Sanriku Earthquake that	1937	15	837	金華沖	1936	津波	
1-92	S. Yamaguti	Deformation of the Earth's Crust in Idu Peninsula in	1937	15	899	伊豆	1930	地震変	
1-93	吉村信吉・山本荘毅	千葉市西北郊登戸の地下水と震害	1938	16	212	関東	1923	地下水	被害
1-94	水上 武	昭和13年1月12日、日ノ御崎沖地震調査報告	1938	16	470	田辺湾	1938	踏報	
1-95	大塚弥之助	昭和13年11月5日塩屋崎沖地震に関する調査報告	1939	17	168	塩屋沖	1938	踏報	
1-96	萩原尊禮	昭和14年5月1日男鹿地震調査概報	1939	17	627	男鹿	1939	踏報	
1-97	宮部直巳・武井柳吉	昭和14年5月1日男鹿島地震の地変に就て	1939	17	638	男鹿	1939	地変	
1-98	大塚弥之助	昭和14年5月男鹿半島地震の地変	1939	17	650	男鹿	1939	地変	
1-99	F. Kishinouye et al.	The Tsunami that accompanied the Oga Earthquake of May	1939	17	733	男鹿	1939	津波	
1-100	T. Hagiwara	The Ogasima Earthquake and Its Aftershocks.	1940	18	252	男鹿	1939	余震	
1-101	宮部直巳	昭和15年8月2日日本海に起つた津浪	1941	19	104	積丹沖	1940	津波	
1-102	岸上冬彦・他	昭和16年7月15日長野地震の統計的調査	1941	19	628	長野	1941	統計	
1-103	金井 清	昭和16年7月15日長野地震の家屋被害に就て	1941	19	647	長野	1941	建設	
1-104	齐田時太郎	善光寺平に於ける民家構造の特異性と震害	1941	19	661	長野	1941	建設	
1-105	陸地測量部	秋田県男鹿半島附近震災地三角点水準点復旧測量記事	1941	19	671	男鹿	1939	測量	
1-106	T. Matuzawa	Seismometrische Untersuchungen des Erdbebens vom 2., IV	1942	20	162	三陸	1933	驗測	
1-107	武井柳吉	長野附近の水準改測	1942	20	237	長野	1941	測量	3月4日 地質
1-108	表 俊一郎	昭和18年3月4日鳥取地震調査報告	1943	21	435	鳥取	1943	一般	
1-109	津屋弘透	鹿野・吉岡断層とその附近の地質	1944	22	1	鳥取	1943	断層	
1-110	表 俊一郎	鳥取地震余震調査概報	1944	22	33	鳥取	1943	余震	
1-111	水上 武	微動計による鳥取余震の観測(概報)	1944	22	42	鳥取	1943	余震	
1-112	宮村撰三	昭和18年9月10日の鳥取地震において現はれた鹿野・吉岡両断層及び	1944	22	49	鳥取	1943	断層	
1-113	松沢武雄	鳥取大地震の時の狛犬の運動	1944	22	60	鳥取	1943	その他	

番号	著者名	題 目	西曆年	卷号	頁	地震名	西曆年	分類	備 考
1-114	萩原尊禮	断層の動きと地表傾斜変化の観測	1944	22	66	鳥取	1943	断層	傾斜
1-115	永田 武	鹿野断層附近に於ける地電位差変化	1944	22	72	鳥取	1943	地電磁	
1-116	陸地測量部	鳥取地方震災復旧一等水準測量成果	1944	22	83	鳥取	1943	測量	
1-117	Matuzawa-Takeo	Zisin ni yoru Torii no Songai.	1944	22	89	鳥取	1943	被害	
1-118	岸上冬彦	昭和18年9月10日鳥取地震の被害	1945	23	97	鳥取	1943	被害	
1-119	水上 武・内堀貞雄	東南海地震に就いて 特に震害と余震の分布	1946	24	19	東南海	1944	余震	被害
1-120	表 俊一郎	昭和19年12月7日東南海大地震に伴った津浪	1946	24	31	東南海	1944	津波	
1-121	津屋弘達	深溝断層 (昭和20年1月13日三河地震の際現れた一地震断層)	1946	24	59	三河	1945	断層	
1-122	表 俊一郎	昭和20年1月13日三河地震余震観測 (序報)	1946	24	77	三河	1945	余震	
1-123	表 俊一郎	東南海地震及び三河地震による地盤危険率の比較	1946	24	87	{東南海1944 三河1945 東南海1944}		地盤	
1-124	富村撰三	東海道地震の震害分布 (その一)	1946	24	99	東南海	1944	被害	
1-125	T. Rikitake et al.	Tsunami in Tsubaki-tomari Bay.	1947	25	21	南海	1946	津波	
1-126	R. Ikegami et al.	A Study on the Overturning of Rectangular Columns in the	1947	25	49	南海	1946	その他	
1-127	N. Nasu and T. Shirai	Local Phenomena of Tsunami (Part 1).	1947	25	81	南海	1946	津波	
1-128	T. Nagata and A. Okada	Land Deformation of the Muroto Point before and after the	1947	25	85	南海	1946	地殻変	
1-129	T. Minakami et al.	The Earthquake-Motions on Various Formations of the, (I)	1948	26	61	南海	1946	地盤	
1-130	S. Sakuma	The Earthquake-Motions on Various Formations of the, (II)	1948	26	67	南海	1946	地盤	
1-131	F. Kishinouye	Monthly Numbers of Earthquakes at Kainan City, Wakayama	1948	26	81	南海	1946	地活	
1-132	Y. Sató	Relation between Seismic Intensity and Epicentral Distance. (I)	1948	26	91	濃尾	1891	通調	鳥取, 古間, 東南海, 三河, 八戸沖, 南海, 福井
1-133	S. Miyamura	Tertrema movado kaj kvalito de grundo ĉirkaŭ la urbeto de	1948	26	101	南海	1946	地盤	
1-134	N. Nasu	Block Movement along the Seismic Fault (1). (Fukui Fault and	1949	27	27	福井	1948	断層	
1-135	S. Omote	Earthquake Damages in Yokohama City Due to the Great	1949	27	57	関東	1923	被害	被害
1-136	S. Omote	The Relation between the Earthquake Damages and the	1949	27	63	関東	1923	地盤	被害
1-137	K. Kanai	Relation between the Earthquake Damage of Non-wooden	1949	27	97	関東	1923	地盤	被害
1-138	R. Ikegami et al.	The Acceleration of Earthquake Motion Deduced from	1950	28	121	今市	1949	その他	
1-139	D. Shimozuru	Change of the Ground-water Level due to the Imaichi	1950	28	129	今市	1949	地下水	
1-140	S. Omote	On the Aftershocks of the Fukui Earthquake. (Part 2)	1950	28	311	福井	1948	余震	
1-141	H. Kawasaki	The Imaichi Earthquake of December 26th, 1949. General	1950	28	355	今市	1949	一般	

1-142	Y. Koshikawa	Seismometrical Study of the Imaichi Earthquake on Dec. 26, 1949	1950	28	369	今市	1949	験測
1-143	R. Morimoto	Geology of Imaichi District with Special Reference to, (I)	1950	28	379	今市	1949	地質
1-144	Earthq. Res. Ins.	Observation of Aftershocks Carried out in Imaichi District,	1950	28	387	今市	1949	余震
1-145	T. Hagiwara et al.	On Aftershocks Accompanied the Imaichi Earthquake, December	1950	28	393	今市	1949	余震
1-146	S. Omote	Aftershocks of Imaichi Earthquake Observed at Nishi-oashi	1950	28	401	今市	1949	余震
1-147	T. Asada and Z. Suzuki	On Micro-earthquakes Observed After the Imaichi Earthquake	1950	28	415	今市	1949	微小地
1-148	宮村撰三・秋間哲夫	今市地震余震の栃木県船生村における観測について	1950	28	421	今市	1949	余震
1-149	T. Hagiwara et al.	Observation of the Deformation of the Earth's Surface in the	1950	28	435	今市	1949	地殻変
1-150	R. Takahashi et al.	Results of Precise Levellings Executed in the Epicentral	1950	28	443	今市	1949	地殻変
1-151	T. Honda	Land Slip in the Imaichi District Revealed from the Breaks	1950	28	449	今市	1949	地
1-152	F. Kishinouye	Instrumental Recording of a Landslide caused by the Imaichi	1950	28	457	今市	1949	地
1-153	K. Kanai and T. Tanaka	On the Damage to Buildings by the Imaichi Earthquake of	1950	28	461	今市	1949	建被
1-154	K. Kanai and T. Suzuki	Experimental Study of Vibrations of Structures Caused by	1950	28	465	今市	1949	建振
1-155	Earthq. Res. Ins.	Seismometrical Data of the Imaichi Earthquake, Dec. 26, 1949.	1950	28	471	今市	1949	験測
1-156	E. Inoue	On the Vertical Displacements Accompanying Imaichi	1951	29	143	今市	1949	昇降
1-157	S. Omote et al.	Relations between the Earthquake Damage and the Structure	1951	29	183	東南海	1944	地盤
1-158	K. Kanai et al.	Relation between the Earthquake Damage of Non-wooden, II	1951	29	209	関東	1923	地盤
1-159	N. Nasu	Block Movement along the Seismic Fault (2).	1951	29	283	濃尾	1891	断層
1-160	Y. Koshikawa	Seismometrical Study of the Imaichi, (The second paper)	1951	29	295	今市	1949	験測
1-161	F. Kishinouye	Time Distribution of Felt Aftershocks of the Imaichi Earthquake	1951	29	301	今市	1949	余震
1-162	R. Morimoto	Geology of Imaichi District with Special Reference to, (II)	1951	29	349	今市	1949	地質
1-163	D. Shimozuru et al.	Reflections on the Tsunami of December 21, 1946.	1952	30	223	南海	1946	津波
1-164	K. Kanai et al.	Relation between the Earthquake Damage and the Nature of	1953	31	57	十勝沖	1952	地盤
1-165	A. Okada and T. Nagata	Land Deformation of the Neighbourhood of Muroto Point	1953	31	169	南海	1946	地殻変
1-166	村井 勇	福井平野周辺地域の地質構造解析	1955	33	121	福井	1948	地質
1-167	Y. Satô	Relation between Seismic Intensity and Epicentral Distance. (2)	1955	33	211	濃尾	1891	通詞

鳥取, 古間,  
東海, 南三河,  
八戸沖, 南海,  
福井, 安芸海,  
今市, 十勝沖,  
大聖寺

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
1-168	K. Kasahara	A Short Discussion on Ripples in Earthquake Shocks.	A Short Discussion on Ripples in Earthquake Shocks.	1955	33	631	房総沖	1953	波動	余震
1-169	S. Omote	Aftershocks that accompanied the Tottori, (The 2nd Paper)	Aftershocks that accompanied the Tottori, (The 2nd Paper)	1955	33	641	鳥取	1943	余震	
1-170	島 嶺三・柴野陸郎	二ツ井地震概説	二ツ井地震概説	1956	34	113	二ツ井	1955	一般	
1-171	宮村撰三・岡田 惇	米代川にそ—部水準路線の測量(第3報)—1955年10月19日二ツ井	米代川にそ—部水準路線の測量(第3報)—1955年10月19日二ツ井	1956	34	373	二ツ井	1955	測量	地盤
1-172	大庭正八	1944年12月7日東南海地震に見られた遠江地方の家屋被害分布と地	1944年12月7日東南海地震に見られた遠江地方の家屋被害分布と地	1957	35	201	東南海	1944	建被	
1-173	R. Morimoto et al.	Geology of Imaichi District with Special Reference to, (III)	Geology of Imaichi District with Special Reference to, (III)	1957	35	359	今市	1949	地質	
1-174	岡田 惇	宮城県白石市附近の地震 (1956年9月30日) と水準測量の結果	宮城県白石市附近の地震 (1956年9月30日) と水準測量の結果	1958	36	65	白石	1956	測量	
1-175	岸上冬彦	1894年の庄内地震の研究	1894年の庄内地震の研究	1958	36	227	庄内	1894	一般	
1-176	松本利松	1959年1月31日北海道弟子屈地震の余震観測報告	1959年1月31日北海道弟子屈地震の余震観測報告	1959	37	531	弟子屈	1959	余震	
1-177	高橋龍太郎・相田 勇	津波スペクトルの研究	津波スペクトルの研究	1961	39	523	チリ	1960	津波	エトロフ (1958)
1-178	岡田 惇	長岡地震における地盤変動	長岡地震における地盤変動	1961	39	537	長岡	1961	地盤	三陸(1960)
1-179	大沢 胖・山木正勝	昭和36年2月2日長岡地震の家屋被害について	昭和36年2月2日長岡地震の家屋被害について	1961	39	549	長岡	1961	建被	其他
1-180	高橋龍太郎・羽鳥徳太郎	1961年2月27日日向灘地震に伴った津波について	1961年2月27日日向灘地震に伴った津波について	1961	39	561	日向灘	1961	津波	
1-181	吉山良一	昭和36年8月19日白山固定公園附近に発生した地震の調査概報	昭和36年8月19日白山固定公園附近に発生した地震の調査概報	1961	39	849	北美濃	1961	一般	
1-182	F. Kishinouye et al.	Field Studies of the Kita Mino Earthquake on August 19,	Field Studies of the Kita Mino Earthquake on August 19,	1961	39	857	北美濃	1961	一般	
1-183	大沢 胖	北美濃地震における家屋の被害について	北美濃地震における家屋の被害について	1961	39	869	北美濃	1961	建被	
3-184	萩原尊禮・茅野一郎	1961年8月19日北美濃地震とその余震観測概説	1961年8月19日北美濃地震とその余震観測概説	1961	39	873	北美濃	1961	余震	
1-185	表 俊一郎・唐鎌郁夫・他	北美濃地震余震観測—勝原および蛭ヶ野における観測	北美濃地震余震観測—勝原および蛭ヶ野における観測	1961	39	881	北美濃	1961	余震	
1-186	宮村撰三・堀 実・他	北美濃地震余震観測—岐阜県八幡町における観測—	北美濃地震余震観測—岐阜県八幡町における観測—	1961	39	895	北美濃	1961	余震	
1-187	村井 勇・津屋弘達	北美濃地方の地質構造に関する2, 3の問題	北美濃地方の地質構造に関する2, 3の問題	1961	39	909	北美濃	1961	地質	
1-188	森本良平・松田時彦	北美濃地震被害地の地質 第1報 福井県打波川上流~岐阜県石徹	北美濃地震被害地の地質 第1報 福井県打波川上流~岐阜県石徹	1961	39	935	北美濃	1961	地質	
1-189	K. Kanai and K. Osada	Seismic Characteristics in Ground of Mountainous Formation.	Seismic Characteristics in Ground of Mountainous Formation.	1961	39	943	北美濃	1961	地盤	
1-190	F. Kishinouye	Oscillations of Water in a Reservoir, Observed in the case of	Oscillations of Water in a Reservoir, Observed in the case of	1962	40	67	北美濃	1961	セイン	
1-191	安芸敏一	Seismometer Arrayによる地震波動の研究 第1報 1961年8月19日	Seismometer Arrayによる地震波動の研究 第1報 1961年8月19日	1962	40	371	北美濃	1961	験測	余震
1-192	佐藤泰夫・松田時彦・他	昭和37年4月30日宮城県北部地震調査報告	昭和37年4月30日宮城県北部地震調査報告	1962	40	591	宮城北	1962	一般	
1-193	菅田 功	1962年4月30日宮城県北部地震調査報告—1900年5月12日陸前北部	1962年4月30日宮城県北部地震調査報告—1900年5月12日陸前北部	1962	40	613	宮城北	1962	一般	
1-194	萩原尊禮・岩田孝行・他	筑波山で観測された1962年4月30日宮城県北部地震の余震	筑波山で観測された1962年4月30日宮城県北部地震の余震	1962	40	625	宮城北	1962	余震	
1-195	大沢 胖・細田良彦	昭和37年4月30日宮城県北部地震の家屋被害について	昭和37年4月30日宮城県北部地震の家屋被害について	1962	40	639	宮城北	1962	建被	

1-196	岡田 惇・井筒屋貞勝	宮城県北部地震による地盤変動	1962	40	645	宮城北	1962	地盤
1-197	奥川 顕・田島広一	宮城県北部地震地域の重力測定	1962	40	649	宮城北	1962	重力
1-198	T. Momoi	The Effects of Coastlines on the Tsunami (1) and some Remarks	1962	40	719	チリ	1960	津波
1-199	T. Momoi	The Effects of Coastlines on the Tsunami (2) and some Remarks	1962	40	733	チリ	1960	津波
1-200	T. Momoi	The Chilean Tsunami of May 24, 1960 at Amami-Oshima.	1963	41	35	チリ	1960	津波
1-201	T. Momoi	The Chilean Tsunami of May 24, 1960 in the Vicinity of	1963	41	45	チリ	1960	津波
1-202	田中貞二・森下利三	長岡地震の被害地域における常時微動の測定結果	1963	41	315	長岡	1961	地盤
1-203	小牧昭三・岸上冬彦	1961年2月27日日向灘地震調査概要	1964	42	245	日向灘	1961	踏報
1-204	田中貞二・森下利三	宮城県北部地震の被害地における常時微動の測定結果	1964	42	397	宮城北	1962	地盤
1-205	T. Hatori et al.	On the Iturup Tsunami of Oct. 13, 1963, as Observed along	1964	42	543	エトフ	1963	津波
1-206	南雲昭三郎	昭和39年5月7日の男鹿北西沖地震踏査報告	1964	42	597	男鹿沖	1964	踏報
1-207	相田 勇・梶浦欣二郎・他	1964年6月16日新潟地震にともなう津波の調査	1964	42	741	新潟	1964	津波
1-208	T. Hatori	On the Tsunami which accompanied the Niigata Earthquake	1965	43	129	新潟	1964	津波
1-209	T. Hatori	On the Tsunami which accompanied the Earthquake off the	1965	43	149	男鹿沖	1964	津波
1-210	S. Yamaguti	On the Changes in the Heights of Mean Sea-levels, Before	1965	43	167	新潟	1964	海況
1-211	F. Kishinouye et al.	On the Changes in the Heights of Mean Sea-levels, Before	1965	43	205	新潟	1964	断層
1-212	T. Hatori	A Submarine Fault Line found near Awashima after the Japan	1965	43	399	アラス	1964	津波
1-213	羽島徳太郎	On the Alaska Tsunami of March 28, 1964, as Observed along	1965	43	607	静岡	1965	津波
1-214	村井 勇	昭和40年4月20日静岡付近の地震による津波発生の判別	1965	43	611	静岡	1964	断層
1-215	松田時彦・柴野睦郎	栗島に発達する節理と断層	1965	43	625	静岡	1965	踏報
1-216	Y. Osawa et al.	昭和40年4月20日静岡・清水付近地震の被害地調査報告—とくに地震	1965	43	819	静岡	1965	建被
1-217	K. Aki	On the Damage to Window Glass in Reinforced Concrete	1966	44	23	新潟	1964	発機
1-218	K. Aki	Generation and Propagation of G Waves from, Part 1	1966	44	73	新潟	1964	発機
1-219	岡田 惇・笠原慶一	Generation and Propagation of G Waves from, Part 2	1966	44	247	新潟	1964	地殻変
1-220	笠原慶一・萩原幸男・他	栗島の余効的変動	1966	44	261	新潟	1964	重力
1-221		栗島およびその周辺海底における重力測定	1966	44	309	松代	1965	一般
1-222	K. Kasahara et al.	Matsushiro Earthquakes Observed with a Temporary, Part 1	1966	44	335	松代	1965	伸縮
1-223	T. Hagiwara et al.	Electro-Optical Measurement of Horizontal Strains, (1)	1966	44	351	松代	1965	傾斜
1-224	T. Rikitake et al.	Observation of Tilting of the Earth's Surface Due to, Part 1	1966	44	363	松代	1965	地電磁
		Geomagnetic and Geoelectric Studies of the Matsushiro, (1)						地活

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
1-225	T. Rikitake et al.	Geomagnetic and Geoelectric Studies of the Matsushiro, (2)	1966	44	409	松代	1965	地電磁	
1-226	Y. Osawa	On the Damage to Buildings and Other Structures during the	1966	44	419	松代	1965	建被	
1-227	森本良平・村井 勇・他	松代群発地震地域とその周辺地方の地質	1966	44	423	松代	1965	地質	
1-228	今村明恒	三陸沿岸に於ける過去の津波に就て	1934	別 1	1			津波	一般
1-229	M. Ishimoto et al.	The Tsunami considered as a Phenomenon of Sea Water	1934	別 1	17	三陸	1933	津波	三陸(1611, 1896, 1897)
1-230	T. Terada	Luminous Phenomena Accompanying Destructive Sea-Waves	1934	別 1	25	三陸	1933	発光	釧路沖(1894)
1-231	S. Yamaguti	Abnormally High Waves, or "Tsunami," on the Coast of	1934	別 1	36	三陸	1933	津波	其他
1-232	H. Matuo	Estimation of Energy of Tsunami and Protection of Coasts.	1934	別 1	55	三陸	1933	津波	
1-233	H. Matuo	Experimental Investigation on Prevention of Damage of	1934	別 1	65	三陸	1933	防災	津波
1-234	井上宇胤	昭和8年3月3日の地震に伴った音響に就いて	1934	別 1	77	三陸	1933	音響	
1-235	K. Musya	On the Luminous Phenomena that accompanied, (Part I)	1934	別 1	87	三陸	1933	発光	
1-236	N. Miyabe	An Investigation of the Sanriku Tsunami Based on Mareogram	1934	別 1	112	三陸	1933	津波	
1-237	大塚弥之助	昭和8年3月3日の津波被害と三陸海岸の地形	1934	別 1	127	三陸	1933	津波	地形
1-238	R. Takahasi	A Model Experiment on the Mechanism of Seismic, Part I	1934	別 1	152	三陸	1933	津波	
1-239	G. Nishimura et al.	The Long Wave in a Bay of Variable Section. (1)	1934	別 1	182	三陸	1933	津波	
1-240	R. Takahasi	Seiches and Surface Waves in Ohunato Bay and two other	1934	別 1	198	三陸	1933	津波	セイシ
1-241	N. Nasu	Heights of Tsunamis and Damage to Structures.	1934	別 1	218	三陸	1933	津波	
1-242	Y. Suyehiro	Some Observations on the Unusual Behaviour of Fishes prior	1934	別 1	228	三陸	1933	前兆	
1-243	G. Nishimura et al.	Experimental Study on the Propagation of Tsunami, Part I	1934	別 1	232	三陸	1933	津波	
1-244	地震研究所	昭和8年三陸地震津波調査報告及資料	1934	別 1	1	三陸	1933	一般	別冊 I
1-245	宮部直巳	台湾に於ける最近の地震活動	1936	別 3	1	台湾	1935	地活	Part II
1-246	河角 廣・木間正作	昭和10年4月21日台湾地震の走時曲線と地殻構造上の一問題(概報)	1936	別 3	10	台湾	1935	験測	
1-247	那須信治	昭和10年4月21日台湾中部地方に起つた地震に伴へる地震断層, 附地	1936	別 3	22	台湾	1935	断層	
1-248	萩原尊禮	昭和10年台湾地震の余震に就いて	1936	別 3	75	台湾	1935	余震	
1-249	宮部直巳・川島正治	出礦坑及び錦水に於ける地電流変化観測報告	1936	別 3	87	台湾	1935	地電磁	
1-250	齊田時太郎	井水位の変化と余震	1936	別 3	93	台湾	1935	余震	地下水
1-251	鈴木武夫	台湾に於ける震害と地盤に就て	1936	別 3	96	台湾	1935	地盤	被害
1-252		土塙造家屋の耐震度	1936	別 3	110	台湾	1935	建被	

1-253	高橋龍太郎	昭和10年4月21日の台湾中部地震の震度分布と土塙造家屋の被害に 土塙の強さ	1936	別 3	120	台湾	1935	建被 その他	地盤 踏報
1-254	宮部直巳・猪俣真三郎	鉄道軌条の波状屈曲	1936	別 3	141	台湾	1935	土被	
1-255	高橋龍太郎	昭和10年4月台湾地震調査報告及資料	1936	別 3	148	台湾	1935	一般	
1-256	地震研究所		1936	別 3	155	台湾	1935		
<b>地震研究所研究速報</b>									
2-1	水上 武	東南海地震ノ震害分布 特ニ地盤トノ関係	1945	4		東南海	1944	被害	
2-2	宮村撰三	昭和19年12月7日東海地方震災調査概報 主トシテ家屋被害ノ分布	1945	4		東南海	1944	建被	
2-3	妻 俊一郎	昭和19年12月7日東南海地震ニヨル地震津浪	1945	4		東南海	1944	津波	
2-4	金井 清	遠州灘地震ニ於ケル工場被害調査概報	1945	4		東南海	1944	被害	
2-5	河角 廣・佐藤泰夫	昭和21年12月21日南海大地震概報	1947	5	1	南海	1946	一般	
2-6	金井 清・田中貞二・他	昭和21年12月21日南海大地震建物被害調査概報	1947	5	36	南海	1946	建被	
2-7	宮村撰三・増田秀夫・他	兵庫県, 特に淡路島における震害	1947	5	82	南海	1946	被害	
2-8	高橋龍太郎	南海地震に因る紀勢西線の被害概報	1947	5	88	南海	1946	土被	
2-9	那須信治・白井俊明・他	昭和21年12月21日南海大地震津浪調査概報 [和歌山県之部]	1947	5	98	南海	1946	津波	
2-10	妻 俊一郎	南海地震により四国南岸に來襲した津浪踏査速報	1947	5	132	南海	1946	津報	
2-11	岸上冬彦・池上良平	和歌山県下に於ける昭和21年12月21日南海地震に伴う津浪について	1947	5	146	南海	1946	津波	
2-12	水上 武・宮村撰三・他	和歌山県御坊町に於ける余震観測 (特に地震動と地盤との関係に就	1947	5	152	南海	1946	余震	
2-13	萩原尊禮・村内必典・他	徳島県富岡町及び高知県室戸町に於ける余震観測	1947	5	164	南海	1946	余震	
2-14	永田 武・岡田 惇	室戸岬近傍の水準再測量—地震発生前及び後に於ける傾斜変動—	1947	5	174	南海	1946	傾斜	
2-15	萩原尊禮・山田重平	室戸岬で行つた水管傾斜計による土地傾斜変化の観測	1947	5	179	南海	1946	傾斜	
2-16	力武常次・山田重平	南海地震後徳島県富岡町に於いて行つた地電流の観測	1947	5	186	南海	1946	地電磁	
2-17	力武常次	南海地震に伴ふ道後温泉の変化	1947	5	189	南海	1946	地下水	
2-18	岸上冬彦・増田秀夫	1946年南海地震の東京木郷における観測結果	1947	5	195	南海	1946	験測	
2-19	河角 廣	昭和39年6月16日新潟地震調査概報 序言	1964	8	i	新潟	1964	一般	
2-20	吉山良一	新潟地震のマグニチュードについて	1964	8	1	新潟	1964	験測	
2-21	地震研究所余震観測班	新潟地震余震観測序報	1964	8	7	新潟	1964	余震	
2-22	宮村撰三・辻浦 賢	新潟地震とその余震の筑波における観測	1964	8	15	新潟	1964	験測	余震
2-23	嶋 悦三・他	新潟地震の余震に依る東経139°線にそつた地下構造の研究 (速報)	1964	8	22	新潟	1964	験測	余震

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
2-24	南雲昭三郎	新潟地震踏査概報	1964	8	27	新潟	1964	踏報	
2-25	山口林造	新潟地震調査概報	1964	8	36	新潟	1964	踏報	
2-26	茂木清夫	新潟地震調査報告一村上一加茂沿岸の地震	1964	8	46	新潟	1964	踏報	地震
2-27	行武毅・萩原幸男・他	新潟地震の際の地磁気変化調査	1964	8	52	新潟	1964	地電磁	
2-28	相田勇・梶浦欣二郎・他	新潟地震による津波	1964	8	58	新潟	1964	津波	
2-29	岡田惇・井筒屋貞勝	新潟県北部の地震変動	1964	8	63	新潟	1964	地震変	
2-30	森本良平・木村敏雄	新潟地震の地質学的背景	1964	8	67	新潟	1964	地質	
2-31	村井勇	新潟平野の構造、特に地震および震害との関係について	1964	8	70	新潟	1964	地質	地震, 被害
2-32	中村一明・笠原慶一・他	新潟地震による粟島の地震	1964	8	73	新潟	1964	地震	
2-33	松田時彦・中村一明・他	粟島の地質—新潟地震との関連	1964	8	91	新潟	1964	地質	
2-34	笠原慶一・佐々木幸一・他	粟島隆起の余効的変動—潮位の連続観測による一	1964	8	101	新潟	1964	海況	昇降
2-35	金井清	新潟地震の強震記録について	1964	8	106	新潟	1964	観測	
2-36	金井清・田中真二・他	新潟市内における余震および常時微動の測定結果(速報)	1964	8	109	新潟	1964	余震	
2-37	大沢胖・村上雅也	新潟地震における建築物被害概報	1964	8	116	新潟	1964	建設	
2-38	小牧昭三	昭和六橋、八千代橋における新潟地震余震の比較観測	1964	8	123	新潟	1964	余震	
2-39	萩原幸男・渡部暉彦・他	新潟県岩船郡神林村塩谷の被害調査報告	1964	8	130	新潟	1964	被害	
地震									
3-1	今村明恒	文化7年の男鹿寒風山地震に就いて	1929	1	187	男鹿	1810	一般	
3-2	河角廣	昭和3年5月21日千葉県下に取りたる地震の走時の研究(特にP波)	1929	1	477	千葉	1928	観測	
3-3	那須	河底変化を伝えられた相模川	1929	1	715	関東	1923	地震	
3-4	岸上冬彦	昭和2年3月7日丹後大地震の外国に於ける観測結果	1929	1	723	丹後	1927	観測	
3-5	今村明恒	大正12年関東大地震震原の多元性と此地震に閃聯せる断層系との関	1929	1	783	関東	1923	断層	発機
3-6	大塚弥之助	延命寺断層の東方延長に就て	1929	1	793	関東	1923	断層	
3-7	今村明恒	昭和4年7月4日紀伊強震の発生機構と地震前の地盤傾斜とに就いて	1930	2	847	奈良南	1929	発機	傾斜
3-8	今村明恒	宝永4年の南海道沖大地震に伴へる地形変動に就いて	1930	2	81	宝永	1707	地殻変	
3-9	今村久	昭和4年11月20日有田川下流地方強震に就いて	1930	2	170	有田川	1929	一般	
3-10	地震研究所今村研究室・他	伊東地震に就て(第1報)	1930	2	215	伊東	1930	一般	



3-11	地震研究所今村研究室・他	伊東地震に就て (第2報)	1930	2	281	伊東	1930	一般	
3-12	那須信治	伊東地震の観測	1930	2	301	伊東	1930	観測	
3-13	岸上冬彦	三崎に於ける伊東地震の観測 (続き)	1930	2	502	伊東	1930	観測	
3-14	小平孝雄	伊豆地震概報	1930	2	745	伊豆	1930	一般	
3-15	今村明恒	北伊豆大地震の計測学的研究	1931	3	1	伊豆	1930	観測	
3-16	今村明恒	関東大地震に伴へる地塊運動と其後の運動経過に就いて	1931	3	71	関東	1923	地殻変	一般
3-17	武者金吉	安政2年江戸大地震の前駆的現象に関する資料 附 同余震回数	1931	3	89	江戸	1855	前兆	
3-18	西村秀作	昭和5年11月駿豆相激震当時, 現はれたる稲妻様の光に関する実見	1931	3	139	伊豆	1930	発光	
3-19	今村明恒	昭和3年5月21日東京強震当時と其以前とに現はれたる地塊運動に	1931	3	141	千葉	1928	地殻変	
3-20	小平孝雄	昭和5年12月20日の広島県北部の強震に就いて	1931	3	155	広島北	1930	一般	
3-21	島谷孝信	昭和6年3月9日東北地方の震災	1931	3	323	青森沖	1931	被害	
3-22	武者金吉	文政2年伊勢近江地震に就て	1931	3	528	近江・伊	1819	一般	美濃(1833)
3-23	今村明恒	大正15年8月3日羽田強震当時並に其以前に現はれたる地形變動に	1931	3	649	羽田	1926	地殻変	
3-24	島谷孝信	昭和6年9月21日北関東地方の地震	1931	3	736	西埼玉	1931	一般	
3-25	那須信治	埼玉地震概説	1931	3	745	西埼玉	1931	一般	
3-26	今村明恒・小平孝雄	地動に因りて誘起せられたる芦の湖のセイシユに就て	1932	4	57	伊豆	1930	セイシ	
3-27	武者金吉	南日向地震に伴ひたる発光現象について	1932	4	210	日向灘	1931	発光	
3-28	芹田時太郎	伊豆地震による耐震補強構造の効果	1932	4	405	伊豆	1930	建破	
3-29	那須信治・高橋龍太郎	昭和8年三陸地震津浪雑報 (第1報)	1933	5	202	三陸	1933	一般	津波
3-30	那須信治	三陸地震津浪雑報 (第2報)	1933	5	341	三陸	1933	一般	津波
3-31	武者金吉	三陸津浪の跡を訪ねて	1933	5	352	三陸	1933	津波	
3-32	大塚弥之助	昭和8年三陸地震津浪雑報 (第3報)	1933	5	465	三陸	1933	一般	
3-33	鈴木武夫	昭和8年9月21日の能登地震踏査概報	1933	5	704	能登	1933	踏報	
3-34	岸上冬彦	昭和8年三陸津浪に關して	1933	5	760	三陸	1933	津波	
3-35	加藤愛雄	地震及び火山活動と地磁気の変化について (統報) 三陸地方強震に	1934	6	764	三陸	1933	地電磁	火山, 地活
3-36	加藤愛雄	地震及び火山活動と地磁気の変化について (統報) 岩手県奥中山地方	1934	6	54	奥中山	1933	地電磁	火山, 地活
3-37	加藤愛雄	地震及び火山活動と地磁気の変化について (統報) 1891年濃尾大地震	1934	6	96	濃尾	1891	地電磁	火山, 地活
3-38	加藤愛雄	地震及び火山活動と地磁気の変化について (統報) 新潟県川口及牛	1934	6	247	十日町	1933	地電磁	火山, 地活
3-39	今村明恒	地震に由る水道鉄管の被害	1934	6	253	三陸	1933	土被	

番号	著者名	題	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
3-40	福富孝治	南伊豆海岸に見られる陸地隆起の跡に就いて(予報)	1934	6	351	東海道	1498	昇降	東南海(1605)
3-41	津屋弘達	昭和5年北伊豆烈震の際現れた所謂加殿断層に就いて	1934	6	369	伊豆	1930	断層	安政(1854)
3-42	河角 廣・吉山良一	昭和6年2月20日日本海北部の地震の調査(第1報)	1934	6	415	日本海	1931	一般	関東(1923)
3-43	加藤愛雄	地震及び火山活動と地磁気の変化について(第11報) 昭和8年三陸	1934	6	529	三陸	1933	地電磁	火山, 地活
3-44	今村明恒	秋田新発田間精密水準測量によりて闡明した文化元年象潟地震明治	1935	7	185	象潟	1804	地殻変	庄内(1894)
3-45	加藤愛雄	地震及び火山活動と地磁気の変化について(第13報) 1930年北伊豆	1935	7	420	伊豆	1930	地電磁	火山, 地活
3-46	今村明恒	静岡地震管見	1935	7	442	静岡	1935	一般	
3-47	加藤愛雄	地震及火山活動と地磁気の変化について(第14報) 昭和8年三陸沖	1935	7	469	三陸	1933	地電磁	火山, 地活
3-48	吉山良一	静岡地震調査記 墓石の傾倒, 移動に就いて	1935	7	511	静岡	1935	被害	
3-49	加藤愛雄	地震及火山活動と地磁気の変化について(第15報) 明治27年酒田地	1935	7	517	庄内	1894	地電磁	火山, 地活
3-50	表 俊一郎	7月11日静岡地震による被害の様々	1935	7	542	静岡	1935	被害	
3-51	松田武雄	静岡地震実地調査報告	1935	7	578	静岡	1935	踏報	
3-52	今村明恒	地震漫談(其の27, 28) 丹後地震に於ける家屋大移動の現象, 地震と	1935	7	582	丹後	1927	一般	建被
3-53	今村明恒	伊豆下田に於ける津浪の高さにつき福富理学士の通信	1935	7	592	宝永	1704	津波	元祿(1703)
3-54	今村明恒	奥羽地震による陸地隆起の跡	1935	7	592	象潟	1804	昇降	安政(1854)
3-55	福富孝治	昭和10年7月11日静岡地震に伴つた南伊豆運台寺温泉水位の異状	1935	7	608	静岡	1935	地下水	関東(1923)
3-56	今村明恒	元祿7年及宝永元年両度の能代地震に伴へる陸地変形に就て	1936	8	51	能代	1694	地殻変	宝永(1704)
3-57	那須信治	昭和10年台湾地震の余震に就いて	1936	8	57	台湾	1935	余震	宝永(1704)
3-58	吉山良一	昭和11年2月21日河内大和の地震調査雑報	1936	8	105	河内・大	1936	一般	
3-59	岸上冬彦	明治38年の伊豆大島地震に就いて	1936	8	116	大島	1905	一般	
3-60	今村明恒	三陸沿岸浪災復興並に予防施設現況	1936	8	233	三陸	1933	津波	
3-61	今村明恒	串本に於ける陸地隆起の真跡	1936	8	309	安永	1854	昇降	
3-62	鈴木武夫	昭和5年11月26日北伊豆地震に伴へる芦ノ湖の静振	1936	8	331	伊豆	1930	セイシン	
3-63	松沢武雄	昭和9年3月18日の地震	1936	8	404		1934	験測	「λ=156°36'E φ=49°06'N 被害
3-64	齊田時太郎	明治42年江濃地震による震害と地盤との関係	1936	8	563	江濃	1909	地盤	
3-65	岸上冬彦	昭和5年伊豆地震前後の地震分布に就いて	1936	8	585	伊豆	1930	地活	
3-66	鈴木武夫	広野氏の「大正12年の関東大地震に依る東京湾の振動に就て」を讀	1937	9	26	関東	1923	セイシン	

3-67	波江野清藏・河角 廣・他	新島強震による簡単な物体の変位	1937	9	45	新島 1936	その他
3-68	中村左衛門太郎・他	昭和11年11月秋田県尾去沢町及び花輪町附近に起つた地震群	1937	9	159	尾去沢 1936	一般
3-69	鈴木武夫	昭和5年北伊豆地震に伴ひたる芦ノ湖静振の解析 (1)	1937	9	205	伊豆 1930	セイシ
3-70	吉山良一	昭和11年2月21日河内大の地震調査報告	1937	9	250	河内・大 1936	一般
3-71	鈴木武夫	昭和5年北伊豆地震に伴ひたる芦ノ湖静振の解析 (2)	1937	9	307	伊豆 1930	セイシ
3-72	津屋弘達	水鳥の地震断層と附近の地質	1937	9	398	濃尾 1891	断層
3-73	福富孝治	伊豆一新島、式根島附近の土地隆起の跡	1938	10	1	元祿 1703	昇降
3-74	河角 廣	1月12日紀州日の御崎沖の強震	1938	10	79	田辺湾 1938	一般
3-75	和歌山県土木課	和歌山県下に於ける宝永安政年度の津浪状況調査	1938	10	236	宝永 1707 安政 1854	津波
3-76	岸上冬彦	昭和13年5月23日の磐城沖に起つた地震の速報	1938	10	260	磐城沖 1938	一般
3-77	飯田波事	昭和13年5月23日の磐城沖地震による福島県猪苗代町及び其の附近	1938	10	277	磐城沖 1938	被害
3-78	津屋弘達	昭和13年5月29日屈斜路地震調査報告	1938	10	285	屈斜路 1938	一般
3-79	加藤愛雄	昭和13年5月29日の北海道屈斜路海岸に於ける強震について	1938	10	321	屈斜路 1938	一般
3-80	今村明恒	昭和13年5月29日の宝永安政年度津浪の高さ	1938	10	394	宝永 1707 安政 1854	津波
3-81	早川・福永	土佐に於ける宝永安政年度津浪の高さ	1938	10	410	磐城沖 1938	被害
3-82	今村明恒	5月23日の磐城沖地震による栃木県大田原町の墓石の被害	1938	10	431	明和 1771	一般
3-83	大塚弥之助	琉球地震帯并に明和大津浪の現況その他	1938	10	469	陸羽 1896	断層
3-84	田中館秀三	明治29年陸羽地震川舟断層の現況その他	1938	10	529	屈斜路 1938	一般
3-85	田中館秀三	昭和13年屈斜路地震 1	1939	11	16	屈斜路 1938	一般
3-86	加藤愛雄	昭和13年屈斜路地震 2	1939	11	70	塩屋沖 1938	一般
3-87	高橋龍太郎・永田 武	昭和13年11月5日の磐城沖の強震について	1939	11	161	大島 1938	地活
3-88	今村明恒	昭和13年6月18日頃大島に頻発した地震群に就いて	1939	11	168		地活
3-89	岸上冬彦・松田武雄・他	奥羽地方に於ける上古の地震活動に就て	1939	11	265	男鹿 1939	踏報
3-90	今村明恒	昭和14年5月1日男鹿地震の踏査	1939	11	278	男鹿 1810	一般
3-91	今村明恒	男鹿地震と真澄紀行	1939	11	290	三陸 1611	津波
3-92	今村明恒	小谷島に於ける津浪の高さ	1939	11	291	三陸 1896	津波
3-93	加藤愛雄	夏井に於ける明治29年津浪の高さ	1939	11	319	男鹿 1939	一般
3-94	武者金吉	昭和14年5月1日の男鹿半島大地震について	1939	11	337	田辺湾 1938	発光
3-95	岸上冬彦・飯田波事	小国地震、日ノ御崎沖地震及び磐城沖地震の発光現象	1939	11	365	男鹿 1939	津波
		昭和14年5月1日男鹿地震の津浪					小国(1931) 磐城沖 (1938)

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
3-96	今村明恒	男鹿地震考		1939	11	372	男鹿	1939	一般	
3-97	今村明恒	男鹿地震と海水及び魚族の異常状況		1939	11	470	男鹿	1939	その他	
3-98	田中鏡秀三	昭和14年5月男鹿半島地震の際に於ける地塊傾動に就きて		1939	11	524	男鹿	1939	傾斜	
3-99	加藤愛雄・伊藤清記	昭和14年9月、鳴子及鬼首地方の地震		1939	11	577	鳴子・鬼首	1939	踏報	験測
3-100	今村明恒	デアナ艦の津浪遭難記		1939	11	588	安政	1854	津波	一般
3-101	萩原尊禮	昭和14年5月男鹿地震の余震分布		1940	12	15	男鹿	1939	余震	
3-102	田中鏡秀三	昭和14年5月男鹿半島地震の際における地塊傾動に就きて(続稿)		1940	12	166	男鹿	1939	傾斜	
3-103	福富孝治	昭和10年7月11日静岡地震前後に起つた南伊豆連台寺温泉(第2報)		1940	12	195	静岡	1935	地下水	
3-104	今村明恒	広村に於ける宝永安政両度津浪の高さ		1940	12	220	{宝永 安政}	1707 1854	津波	
3-105	今村明恒	デアナ艦津浪遭難記註釈		1940	12	347	安政	1854	津波	一般
3-106	今村明恒	昭和15年8月2日、日本海北部の地震津浪(略報)		1940	12	553	船丹沖	1940	津波	
3-107	宮部直巳	白鳳大地震		1941	13	82	白鳳	684	一般	
3-108	今村明恒	昭和14年の男鹿地震に伴へる陸地変形		1941	13	207	男鹿	1939	地殻変	
3-109	今村明恒	能代と地震		1941	13	245	能代	1694	一般	宝永(1704)
3-110	矢橋徳太郎	長野地震と火災		1941	13	255	長野	1941	火災	
3-111	岸上冬彦	昭和16年7月15日長野地方強震調査概報		1941	13	259	長野	1941	踏報	
3-112	今村明恒	昭和16年7月15日長野地震の調査		1941	13	338	長野	1941	一般	
3-113	武井	濃尾大震災の回顧		1941	13	349	濃尾	1891	その他	
3-114	今村明恒	長野附近の水準再測		1941	13	393	長野	1941	測量	
3-115	表俊一郎	奥羽地震論補遺		1942	14	254	天安	857	一般	出羽(830)
3-116	表俊一郎	東京及横浜市内に於ける昭和8年3月3日三陸地震の観測について		1943	15	80	三陸	1933	験測	
3-117	表俊一郎	昭和18年3月4日鳥取地震調査概報		1943	15	101	鳥取	1943	一般	
3-118	今村明恒	古代の比内地震に就て		1943	15	114	天安	857	一般	
3-119	川瀬二郎	嘉義地方烈震に就て		1943	15	135	台湾	1941	一般	嘉義地方
3-120	今村明恒	慶長9年の東海南海両道の地震津浪に就いて		1943	15	150	東南海	1605	一般	津波
3-121	川瀬二郎	嘉義烈震に就て(続き)		1943	15	162	台湾	1941	一般	嘉義地方
3-122	今村明恒	駿遠三地震考		1943	15	203	静岡	1935	一般	
3-123	今村明恒	鳥取地震所感		1943	15	233	鳥取	1943	一般	

3-124	今村明恒	姉川地震の前徴に就いて	1943	15	240	江濃	1909	前兆
3-125	岸上冬彦	昭和18年9月10日鳥取地震の被害概況	1943	15	253	鳥取	1943	被害
3-126	表俊一郎	昭和18年9月10日鳥取地震余震観測速報	1943	15	259	鳥取	1943	余震
3-127	水上武・内堀定市	微動計による鳥取余震の観測(概報)特に地盤の固有振動	1943	15	267	鳥取	1943	余震
3-128	永田武	鹿野断層附近に於ける地電位差の観測	1943	15	272	鳥取	1943	地電磁断層
3-129	萩原尊禮	断層の動きと地表傾斜変化の観測	1943	15	280	鳥取	1943	断層
3-130	菅村撰三	鹿野断層及び吉岡断層をよぎりての水準測量	1943	15	285	鳥取	1943	測量
3-131	小林学	会津地方の地質構造と地震との関係	1943	15	312	田島	1943	地殻変一般(1936XII)
3-132	今村明恒	濃尾大地震の前徴に就いて	1943	15	336	濃尾	1891	前兆
3-133	今村明恒	因伯地方大地震の前表に就いて	1944	16	1	鳥取	1943	前兆
3-134	今村明恒	強首地震の再検討	1944	16	6	羽後山	1914	一般
3-135	今村明恒	因幡地震に伴つた地殻変形	1944	16	12	鳥取	1943	地殻変
3-136	武者金吉	笈埃隨筆所載の石見の津浪	1944	16	181	明和	1771	津波
3-137	武者金吉	宝永7年の因伯作大地震	1944	16	192	因・伯・作	1710	一般
3-138	武者金吉	宝永7年の因伯作大地震と宇野村の尾崎氏邸	1944	16	229	因・伯・作	1710	建設
3-139	武者金吉	旭川上流地域の震害	1944	16	229	鳥取	1943	被害
3-140	今村明恒	遠州沖大地震所感	1944	16	299	東南海	1944	一般
3-141	二見秀雄・坪井善勝・他	愛知、静岡県下震害調査報告	1945	17	1	東南海	1944	被害
3-142	今村明恒	昭和20年1月13日の渥美湾北部烈震の前徴に就て	1945	17	5	三河	1945	前兆
3-143	宮村撰三	昭和19年12月7日の遠州沖地震の災害地踏査にあたり觀察せる二つ	1945	17	8	東南海	1944	地変
3-144	武者金吉	大正12年の関東地震と三朝温泉	1945	17	20	関東	1923	地下水
3-145	今村明恒	嘉祥地震論補遺	1945	18	12	庄内	850	一般
3-146	吉信英二	昭和19年12月7日の地震津浪の伊豆方面に於ける状況	1945	18	30	東南海	1944	一般
3-147	越川善明	東南海地震の計測(その1)(海底地震の研究 第1報)	1948	ii 1	40	東南海	1944	驗測
3-148	北沢五郎	地盤の硬さと震害	1948	ii 1	48	関東	1923	地盤
3-149	佐野渡一	男鹿地震に伴う地殻変動について	1948	ii 1	50	男鹿	1939	地殻変
3-150	村内必典	大地震前後に於ける地震活動性的変化について(第1報)	1949	ii 2	47	南海	1946	地活
3-151	吉山良一	南海道地震とその余震について	1950	ii 3	22	南海	1946	余震
3-152	高木聖	関東大地震の初動分布	1950	ii 3	27	関東	1923	発機

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
3-153	北沢五郎	東京下町の震度分布		1950	ii 3	32	関東	1923	その他	
3-154	吉山良一	福井地震の走時曲線と地殻構造		1951	ii 4	9	福井	1948	験測	
3-155	小林啓美	十勝沖地震に於ける建築物の被害について		1952	ii 5	151	十勝沖	1952	建設	
3-156	宮本貞夫	大地震に伴う発光現象について		1954	ii 7	137	南海	1946	発光	
3-157	宮本貞夫	震央決定のための新しいノモグラフ		1955	ii 8	34	福井	1948	験測	
3-158	宮本貞夫	福井地震前後の地震波速度の異常 (大地震予知の一方法)		1956	ii 9	47	福井	1948	前兆	波動
3-159	神村三郎	顕著地震の発震機構に関する一考察		1957	ii 9	174	福井	1948	発機	
3-160	神村三郎	顕著地震の発震機構に関する一考察 (II)		1957	ii 10	1	丹後	1927	発機	伊豆(1930) 静岡(1935)
3-161	神田 茂	延宝5年10月9日の津波地震と房総沖を震央とする大地震		1962	ii 15	143	延宝	1677	一般	〔十勝沖 (1952)
3-162	村松郁栄	濃尾地震のマグニチュード		1962	ii 15	341	濃尾	1891	験測	
3-163	和田卓彦・古沢 保・他	長周期表面波のスペクトルから求めたチリ―地震の発震機構		1963	ii 16	181	チリ	1960	発機	
3-164	三木晴男・渡辺 晃・他	根尾断層周辺に発生する極微小地震の観測		1965	ii 18	103	濃尾	1891	微小地断層	
3-165	宮本貞夫	南海道大地震の前の井戸水の異常		1965	ii 18	170	南海	1946	地下水	
3-166	三好 寿	「いなむらの火」の史実 (I)―1854年の津波をめぐって―		1966	ii 19	149	安政	1854	津波	一般
3-167	三好 寿	「いなむらの火」の史実 (II)―1854年の津波をめぐって―		1966	ii 19	150	安政	1854	津波	一般
3-168	藤井陽一郎	新潟地震の震域における重力の変化		1966	ii 19	200	新潟	1964	重力	
4-1	佐藤秀雄	関東大震と其の世界各所の記録に就て		1925	1	69	関東	1923	験測	
4-2	石川高見	東京湾及び其の附近の地震について		1925	1	80	関東	1923	一般	
4-3	藤原映平	相模灘大地震の機巧に就て		1925	1	161	関東	1923	発機	
4-4	石川高見	大正14年7月7日岐阜附近の地震		1925	1	170	岐阜北	1925	一般	
4-5	国富信一	大正15年2月4日津軽海峡東方沖合に発現せる地震の考察		1926	2	49	樺葉岬	1926	一般	
4-6	帯広測候所	9月5日 零時半頃帯広測候所管内強震観報		1926	2	201	帯広沖	1926	一般	
4-7	鷺坂清信・佐藤秀雄	大正15年8月3日の東京湾地震に就て		1926	2	217	羽田	1926	一般	
4-8	国富信一	北丹後烈震概説		1928	3	1	丹後	1927	一般	
4-9	国富信一・佐藤秀雄	北丹後地方の地質状態概説		1928	3	7	丹後	1927	地質	
4-10	佐藤秀雄	北丹後烈震の震度・被害分布及地鳴観測		1928	3	9	丹後	1927	一般	

験 震 時 報

4-11	国富信一	北丹後烈震に現はれたる断層	1928	3	43	丹後	1927	断層	発機
4-12	石川高見	北丹後烈震発現の導因たる可き気圧に就て	1928	3	51	丹後	1927	統計	地活
4-13	和達清夫	北丹後烈震と深層地震	1928	3	65	丹後	1927	一般	発機
4-14	国富信一	北丹後烈震の震震学的考察	1928	3	77	丹後	1927	験測	
4-15	鷺坂清信	北丹後烈震余震調査	1928	3	107	丹後	1927	余震	
4-16	藤原咲平・高山威雄	北丹後地震と割れ目の実験	1928	3	125	丹後	1927	地変	
4-17	国富信一・鷺坂清信	北丹後烈震激震区域踏査報告	1928	3	133	丹後	1927	踏報	
4-18	八幡利助・高谷静馬・他	北丹後大地震実地踏査概況第一報告	1928	3	143	丹後	1927	踏報	
4-19	関和男・小野英男・他	北丹後大地震実地踏査概況第二報告	1928	3	169	丹後	1927	踏報	
4-20	室伏万吉・山崎兵次郎	北丹後大地震実地踏査報告第三報告	1928	3	185	丹後	1927	踏報	
4-21	藤原咲平・高山威雄・他	北丹後地震踏査報告	1928	3	191	丹後	1927	踏報	
4-22	国富信一	関東大地震の震震学的考察	1928	3	211	関東	1923	験測	発機
4-23	平野烈介	昭和3年3月23日午前10時21分武蔵飯能附近の地震に就て	1928	3	243	飯能	1928	一般	
4-24	浜島仙次郎	昭和2年8月6日朝石巻の地震	1928	3	291	宮城沖	1927	一般	
4-25	鷺坂清信	阿武隈川河口沖の地震の走時曲線	1928	3	301	宮城沖	1927	験測	
4-26	集田公地	昭和4年5月22日日向灘地震調査報告	1929	3	339	日向灘	1929	一般	
4-27	石川高見	昭和3年6月3日九州天草島附近の地震の調査(地震エネルギ-発)	1929	3	366	瓊島西	1928	発機	験測
4-28	集田公地	昭和4年7月27日相模地震調査報告	1930	4	17	相模	1929	一般	
4-29	横浜測候所	昭和4年7月27日相模地震調査報告	1930	4	44	相模	1929	踏報	
4-30	函館測候所	昭和4年1月21日檜山郡厚沢部村地震概況	1930	4	58	厚沢部	1929	一般	
4-31	室蘭測候所	昭和4年1月20日の地震	1930	4	63	徳舜警	1929	一般	
4-32	長野測候所	昭和4年3月16日2時3分頃の地震	1930	4	65	須坂	1929	一般	
4-33	福岡測候所	昭和4年8月8日福岡県地震報告	1930	4	67	福岡西	1929	一般	
4-34	中央气象台	昭和5年11月26日北伊豆地震報告	1930	4	257	伊豆	1930	一般	
4-35		北伊豆地震踏査写真 自第1図至第96図	1930	4		伊豆	1930	踏報	
4-36	国富信一	北伊豆地震概説	1930	4	257	伊豆	1930	一般	
4-37	国富信一	伊豆半島の地勢及地質	1930	4	261	伊豆	1930	地質	
4-38	中央气象台予報掛	昭和5年11月25日、26日の天候状態	1930	4	269	伊豆	1930	その他	
4-39	淵本 一・鷺坂清信	北伊豆地震回数と気圧変化の速度	1930	4	273	伊豆	1930	地活	統計

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名西暦年	分類	備考
4-40	中央氣象台地震掛	北伊豆地震実験震結果	1930	4	279	伊豆 1930	実験	
4-41	石川高見	地震計記象に現れし変位相	1930	4	293	伊豆 1930	実験	
4-42	石川高見	地震計記象に現れたる傾斜動	1930	4	297	伊豆 1930	傾斜	実験
4-43	石川高見	地震計記象に現れたる長き週期の波動	1930	4	299	伊豆 1930	波動	実験
4-44	国富信一	北伊豆地震の断層概況	1930	4	301	伊豆 1930	断層	
4-45	中央氣象台地震掛	北伊豆地震被害調査	1930	4	305	伊豆 1930	被害	
4-46	国富信一	北伊豆地震と伊東の頻発地震との関係	1930	4	313	伊豆 1930	地活	
4-47	藤原咲平	模型実験との比較	1930	4	321	伊豆 1930	断層	
4-48	国富信一	地震の光に就て	1930	4	331	伊豆 1930	発光	
4-49	藤原咲平	北伊豆地震踏査報告	1930	4	335	伊豆 1930	踏報	
4-50	国富信一・隼田公地	北伊豆地震踏査報告	1930	4	351	伊豆 1930	踏報	
4-51	本多弘吉・淵 秀隆	北伊豆地震地域踏査報告	1930	4	357	伊豆 1930	踏報	
4-52	鷺坂清信・木沢 綏	北伊豆地震踏査報告	1930	4	365	伊豆 1930	踏報	
4-53	石川高見・三浦秀正	北伊豆地震実地踏査報告	1930	4	373	伊豆 1930	踏報	
4-54	藤村郁雄・加藤倫助	北伊豆地震踏査報告	1930	4	397	伊豆 1930	踏報	
4-55	本多弘吉	富山県下地ニり地域踏査報告	1930	4	403	伊豆 1930	踏報	
4-56	中央氣象台	昭和5年11月26日北伊豆地震報告(第2報告)	1931	5	1	伊豆 1930	一般	地質
4-57	国富信一	能登, 相模湾弱線の存在に就て	1931	5	1	伊豆 1930	一般	
4-58	石川高見	本州中部の地震活動と北伊豆地震	1931	5	19	伊豆 1930	地活	
4-59	鷺坂清信	地殻浅層内の震波速度(第1報)	1931	5	55	伊豆 1930	実験	
4-60	鷺坂清信	地殻浅層内の震波速度(第2報)	1931	5	79	伊豆 1930	実験	
4-61	本多弘吉	地震縦波の速度に就て	1931	5	93	伊豆 1930	実験	
4-62	本多弘吉	我が国に於ける地震波伝播速度の異常に就て	1931	5	111	伊豆 1930	実験	
4-63	隼田公地	北伊豆烈震の地震計記象に現れし変位相	1931	5	117	伊豆 1930	実験	
4-64	隼田公地	北伊豆烈震の前震及余震の震央位置	1931	5	123	伊豆 1930	実験	前・余震
4-65	鷺坂清信	北伊豆烈震の前震, 余震と気圧との関係	1931	5	131	伊豆 1930	統計	前・余震
4-66	隼田公地	昭和5年3月22日伊東地方強震に就て	1931	5	155	伊豆 1930	一般	
4-67	国富信一	熱海街道, 田代盆地及浮橋盆地の断層調査	1931	5	171	伊豆 1930	断層	



4-68	国富信一・妹田甚一・他	北伊豆地震踏査報告	1931	5	176	伊豆	1930	踏報
4-69	国富信一・淵木一・他	北伊豆地震踏査報告	1931	5	199	伊豆	1930	踏報
4-70	国富信一	西埼玉強震概説	1931	5	217	西埼玉	1931	一般
4-71	国富信一	西埼玉地震に於ける初動の方向に関する考察	1931	5	223	西埼玉	1931	発機
4-72	木多弘吉	浅い地震の機構と記象型に就て	1931	5	235	西埼玉	1931	発機
4-73	鷺坂清信・石川高見・他	西埼玉強震の験測結果	1931	5	267	西埼玉	1931	験測
4-74	熊谷測候所	西埼玉強震報告	1931	5	277	西埼玉	1931	一般
4-75	本多弘吉・岡四四玄	西埼玉強震地域踏査報告	1931	5	319	西埼玉	1931	踏報
4-76	本多弘吉	西埼玉強震地域踏査報告	1931	5	322	西埼玉	1931	踏報
4-77	加藤倫祐・岡四四玄・他	西埼玉強震地域踏査報告	1931	5	325	西埼玉	1931	踏報
4-78	市川徳一	熊谷町に於ける震災状況	1931	5	329	西埼玉	1931	被害
4-79	植野隆寿・高岸登久寿	秩父町附近被害状況	1931	5	331	西埼玉	1931	被害
4-80	伊丹喜逸・石井徳治	大里郡下深谷町、藤沢村、大寄村震災地踏査報告	1931	5	332	西埼玉	1931	踏報
4-81	市川徳一・伊丹喜逸	大里秩父両郡下の震災地踏査報告	1931	5	338	西埼玉	1931	踏報
4-82	植野隆寿・石井徳治	熊谷町より妻沼町に至る利根川沿岸の震災地踏査報告	1931	5	342	西埼玉	1931	踏報
4-83	大地四郎・市川徳市・他	北足立郡吹上村震災地踏査報告	1931	5	345	西埼玉	1931	踏報
4-84	内田正作	北足立郡吹上村震災地踏査報告	1931	5	351	西埼玉	1931	踏報
4-85	大地四郎・川本弥七	北足立郡本庄町児玉町附近震災地踏査報告	1931	5	354	西埼玉	1931	踏報
4-86	市川徳一	震災地踏査報告	1931	5	358	西埼玉	1931	踏報
4-87	吉本九平	熊谷町より小川町に至る震災状況踏査報告	1931	5	362	西埼玉	1931	踏報
4-88	川本弥七	県北西部利根川南岸震害地踏査報告	1931	5	366	西埼玉	1931	踏報
4-89	大地四郎・植野隆寿	比企郡大河村南城山の亀裂及び腰越の陥没地踏査報告	1931	5	370	西埼玉	1931	踏報
4-90	川本弥七	秩父郡太田村地内八人峠の地這り地踏査報告	1931	5	374	西埼玉	1931	踏報
4-91	市川徳一・内田正作	比企郡岩殿山震災地踏査報告	1931	5	377	西埼玉	1931	踏報
4-92	前橋測候所	西埼玉強震群馬県下踏査報告	1931	5	381	西埼玉	1931	踏報
4-93	鷺坂清信	北伊豆烈震の震源の運動に就いて	1932	6	43	伊豆	1930	験測
4-94	竹花峰夫・平山操・他	道志川地震に就て	1932	6	93	道志川	1931	一般
4-95	北田道男	昭和6年2月17日北海道浦河の地震報告	1932	6	133	浦河沖	1931	一般
4-96	鷺坂清信	北伊豆前震に依る震波速度	1933	7	21	伊豆	1930	験測

被害

地変  
地二

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
4-97	中央气象台	昭和8年3月3日三陸沖強震及津浪報告	1933	7	111	三陸	1933	一般	
4-98	国富信一	三陸沖強震及津浪に就て	1933	7	111	三陸	1933	一般	津波
4-99	本多弘吉	三陸津浪に関する二三の考察	1933	7	155	三陸	1933	津波	
4-100	石川高見	三陸沖強震の習性	1933	7	163	三陸	1933	一般	
4-101	竹花峰夫	三陸沖強震に依る地震縦波の速度に就て	1933	7	167	三陸	1933	験測	
4-102	本多弘吉・竹花峰夫	三陸沖強震の余震	1933	7	171	三陸	1933	余震	
4-103	関口鯉吉・中野狼入	験潮儀に依る三陸津浪の調査報告	1933	7	181	三陸	1933	津波	
4-104	野口篤美	津浪の到達時刻に就いて	1933	7	191	三陸	1933	津波	
4-105	本多弘吉・竹花峰夫	三陸沖強震験測結果	1933	7	197	三陸	1933	験測	
4-106	中央气象台地震掛	三陸津浪に依る被害調査	1933	7	215	三陸	1933	津波	
4-107	中央气象台予報掛	昭和8年3月3日前後の天候状態	1933	7	233	三陸	1933	その他	
4-108	国富信一・竹花峰夫	宮城県下踏査報告	1933	7	237	三陸	1933	津報	
4-109	本多弘吉・田島節夫	岩手県下踏査報告	1933	7	240	三陸	1933	津報	
4-110	鷲坂清信	牡鹿半島沿岸踏査報告	1933	7	246	三陸	1933	津報	
4-111	石川高見	昭和8年3月3日三陸沖強震及津浪踏査報告	1933	7	256	三陸	1933	津報	
4-112	盛岡測候所	三陸沖強震に伴ふ津浪調査報告	1933	7	271	三陸	1933	津報	
4-113	古館金藏	三陸沖強震津浪踏査報告(気仙郡)	1933	7	277	三陸	1933	津報	
4-114	久保田 謙	三陸沖強震津浪気仙郡沿岸踏査概況	1933	7	283	三陸	1933	津報	
4-115	辻 芳彦	三陸沖強震津浪踏査報告	1933	7	286	三陸	1933	津報	
4-116	二宮三郎	山田町田老村方面災害地踏査報告	1933	7	293	三陸	1933	踏報	津波
4-117	関 正二	三陸沖強震津浪踏査報告	1933	7	297	三陸	1933	津報	
4-118	金沢孫次郎	三陸津浪踏査報告	1933	7	299	三陸	1933	津報	
4-119	金沢孫次郎	踏査報告	1933	7	302	三陸	1933	踏報	津波
4-120	盛岡測候所	三陸津浪岩手県下被害報告	1933	7	307	三陸	1933	津報	
4-121	石巻測候所	宮城県下津浪踏査概要報告	1933	7	315	三陸	1933	津報	
4-122	石巻測候所	坂元荒浜閣上方面踏査報告	1933	7	327	三陸	1933	津報	
4-123	青森測候所	昭和8年3月3日地震津浪調査報告(其ノ1)	1933	7	329	三陸	1933	津波	
4-124	青森測候所	昭和8年3月3日地震津浪調査報告(其ノ2)	1933	7	335	三陸	1933	津波	

4-125	北田道男	昭和8年3月3日三陸沖強震並に津浪の北海道徳島岬附近に於ける	1933	7	349	三陸	1933	一般	津波
4-126	水戸測候所	茨城県下に於ける津浪の調査	1933	7	355	三陸	1933	津波	
4-127	筑波山測候所	発光現象報告	1933	7	355	三陸	1933	発光	
4-128	神奈川県測候所	神奈川県下地震被害報告	1933	7	356	三陸	1933	被害	
4-129	神奈川県測候所	稲妻様の光に就ての報告	1933	7	358	三陸	1933	発光	
4-130	大阪商船株式会社	もんてびでお丸よりの海震報告	1933	7	358	三陸	1933	海震	
4-131	唐桑村小学校中井分校	本吉郡唐桑村澁浜に打ち上げられたる巨石	1933	7	359	三陸	1933	津波	
4-132	金子文左衛門	海震に関する報告	1933	7	360	三陸	1933	海震	
4-133	小原永太郎	発光現象に関する報告	1933	7	361	三陸	1933	発光	地下水
4-134	農林省	海嘯前後に於ける井水の変化	1933	7	361	三陸	1933	海震	
4-135	岩手県宮古測候所	海嘯に関するウルップ丸よりの報告	1933	7	363	三陸	1896	津波	
4-136	中央气象台地震掛	明治29年6月15日海嘯概況報告	1933	7	393	能登	1933	一般	
4-137	鷺坂清信・竹田健二	昭和8年9月21日能登強震調査報告	1933	7	398	能登	1933	踏報	
4-138	輪島測候所	能登強震地域踏査報告	1933	7	405	能登	1933	踏報	
4-139	鷺坂清信・竹花峰夫	能登強震地域踏査報告	1933	7	405	能登	1933	踏報	
4-140	木多弘吉・三浦武重	昭和8年3月3日三陸沖強震及び余震の発震機構に就て	1934	8	32	三陸	1933	発機	
4-141	淵本 一・藤田兼吉・他	昭和8年8月18日岐阜県下強震調査報告	1934	8	123	岐阜八	1934	一般	
4-142	中央气象台地震掛	昭和9年8月18日岐阜県下の強震に就て	1934	8	129	岐阜八	1934	一般	
4-143	中央气象台地震掛	昭和9年8月18日静岡強震実験概要	1935	9	65	静岡	1935	験測	
4-144	中央气象台・三島文台	静岡強震に依る被害	1935	9	70	静岡	1935	被害	
4-145	島村 鼎	静岡強震地域踏査報告	1935	9	72	静岡	1935	踏報	
4-146	中央气象台	静岡強震地域踏査報告	1935	9	84	静岡	1935	踏報	
4-147	和達清夫	昭和11年2月21日河内大和強震報告	1936	9	87	河内・大	1936	一般	
4-148	竹花峰夫・森田 稔	昭和11年2月21日河内大和強震概説	1936	9	87	河内・大	1936	一般	
4-149	石川高見	河内大和強震実験結果	1936	9	91	河内・大	1936	験測	
4-150	鷺坂清信	河内大和強震の被害調査	1936	9	105	河内・大	1936	被害	
4-151	和達清夫・竹花峰夫	河内大和強震と前後の地震	1936	9	110	河内・大	1936	一般	
4-152		近畿地方の地震活動	1936	9	123	河内・大	1936	地活	
4-153		河内大和強震地域踏査報告	1936	9	135	河内・大	1936	踏報	

番号	著者名	題	日	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
4-154	棚橋嘉市	河内大和強震地域踏査報告		1936	9	144	河内・大	1936	踏報	
4-155	山下恭助・金家鎮次	河内大和強震地域踏査報告		1936	9	159	河内・大	1936	踏報	
4-156	和達清夫	河内大和強震踏査報告総括論		1936	9	163	河内・大	1936	踏報	
4-157	三浦武重	昭和11年12月27日伊豆一新島強震とその前震及び余震の発震機構		1937	10	65	新島	1936	発機	
4-158	本多弘吉	昭和11年12月27日伊豆一新島強震地域踏査報告		1937	10	147	新島	1936	踏報	
4-159	中央氣象台地震掛	昭和13年1月12日和歌山県田辺湾沖地震踏査報告		1938	10	266	田辺湾	1938	踏報	
4-160	中央氣象台地震掛	昭和13年1月12日和歌山県田辺湾沖地震による被害, 地震其他の現		1938	10	277	田辺湾	1938	踏報	被害, 地震其他
4-161	三宅恒夫・山本武夫	昭和13年1月12日和歌山県田辺湾沖強震地域踏査報告		1938	10	281	田辺湾	1938	踏報	
4-162	竹花峰夫・副田勝利	昭和13年5月23日福島県塩屋崎沖地震踏査報告		1938	10	303	磐城沖	1938	踏報	
4-163	柳谷喜太郎・高木一郎	昭和13年5月23日塩屋崎沖地震被害調査報告		1938	10	310	磐城沖	1938	被害	
4-164	福島測候所会津出張所	昭和13年5月23日福島県塩屋崎沖地震被害調査報告		1938	10	313	磐城沖	1938	被害	
4-165	波佐谷盛孝	昭和8年10月4日新潟県十日町附近の地震		1940	10	510	十日町	1933	一般	
4-166	中央氣象台地震掛	昭和13年11月5日福島県東方沖地震及び同余震調査報告		1940	10	528	塩屋沖	1938	一般	余震
4-167	鷲坂清信・伊藤 博	昭和13年11月福島県東方沖地震津浪の調査		1940	10	546	塩屋沖	1938	津波	
4-168	田嶋節夫・斎藤将一・他	昭和13年11月福島県東方沖地震津浪の調査		1940	10	559	塩屋沖	1938	一般	
4-169	鷲坂清信・小磯 一雄	昭和13年11月5日福島県東方沖地震及津浪地域踏査報告		1940	10	563	塩屋沖	1938	踏報	津報
4-170	鷲坂清信・半沢義男・他	昭和14年5月1日秋田県男鹿半島地震地域踏査報告		1940	10	566	男鹿	1939	踏報	
4-171	中央氣象台地震掛	昭和14年5月1日秋田県男鹿半島地震被害概報		1940	10	585	男鹿	1939	被害	
4-172	門脇関郎	昭和14年12月16日北海道色丹島南東沖の地震		1941	11	512	色丹	1939	一般	
4-173	正務 章	昭和16年7月15日長野強震調査報告		1942	12	153	長野	1941	踏報	
4-174	鷲坂清信・木間 寧・他	昭和16年11月19日日向灘地震地域踏査報告		1942	12	162	日向灘	1941	踏報	
4-175	熊本測候所	昭和16年11月19日日向灘地震の熊本県下の調査報告		1942	12	174	日向灘	1941	踏報	
4-176	岡部龍信	昭和16年11月19日日向灘地震の熊本県下の調査報告		1942	12	176	日向灘	1941	踏報	
4-177	木間 寧	昭和16年11月19日日向灘地震に就て		1942	12	206	日向灘	1941	一般	
4-178	福島測候所	昭和18年8月12日福島県会津地方の強震概報		1943	13	23	田島	1943	一般	
4-179	高木 聖	昭和18年9月10日鳥取地震に伴う鉄道蛇曲現象に就いて		1948	14	2	鳥取	1943	土被	
4-180	高木 聖・野依一郎	昭和18年9月10日鳥取地震の断層		1948	14	3	鳥取	1943	断層	
4-181	西毛品夫・高木 聖・他	昭和18年3月4日及び5日鳥取地震にともなう発光現象		1948	14	2	鳥取	1943	発光	3月4日, 5日

4-182	井上宇胤	昭和19年有珠岳の火山活動に伴った地震並に地変の調査報告	1948	14	2	9	有珠	1944	火山
4-183	井上宇胤	昭和20年1月13日の三河地震について	1950	14	3	49	三河	1945	一般
4-184	金沢茂夫	三河地震の驗測結果報告	1950	14	3	56	三河	1945	驗測
4-185	中央氣象台	昭和23年6月28日福井地震調査概報	1948	14	別	4	福井	1948	一般
4-186	広野卓蔵	福井地震の地震計による驗測結果	1948	14	別	9	福井	1948	驗測
4-187	山口弘次	被害統計總括	1948	14	別	11	福井	1948	被害
4-188	岡野敏雄・中村光雄	福井地震余震總括	1948	14	別	16	福井	1948	余震
4-189	田中康裕・加登幸雄・他	余震の現地觀測	1948	14	別	19	福井	1948	余震
4-190	木多 彪	福井付近の地質・地形概説並びに地変概況	1948	14	別	22	福井	1948	地質
4-191	末広重二・久木壮一・他	福井地震踏査報告(1)	1948	14	別	37	福井	1948	踏報
4-192	矢崎敬三・浜松晋蔵	福井地震踏査報告(2)	1948	14	別	44	福井	1948	踏報
4-193	木多 彪・野口憲男	福井地震踏査報告(3)	1948	14	別	57	福井	1948	踏報
4-194	新潟管区氣象台	福井地震踏査報告(4)	1948	14	別	67	福井	1948	踏報
4-195	田中藤蔵・沢崎 悟・他	福井地震踏査報告(5)	1948	14	別	74	福井	1948	踏報
4-196	登坂清信・山中 丘	福井地震の体験記による調査	1948	14	別	79	福井	1948	一般
4-197	湯村哲男・他	福井地震に関する地球磁気学的調査	1948	14	別	84	福井	1948	地電磁
4-198	吉松隆三郎	福井地震前後に於ける地電位差について	1948	14	別	86	福井	1948	地電磁
4-199	清水良作	琵琶湖の傾斜について	1948	14	別	88	福井	1948	傾斜
4-200	武者金吉	越前地震年表	1950	15	1	1	今市	1949	一般
4-201	中央氣象台	昭和24年12月26日福井地震調査報告	1950	15	1	1	今市	1949	一般
4-202	井上宇胤	昭和24年12月26日の福井地震について	1950	15	1	3	今市	1949	一般
4-203	地震課調査係	地震計に依る驗測結果	1950	15	1	14	今市	1949	驗測
4-204	宇都宮測候所	昭和24年12月26日福井地震	1950	15	1	30	今市	1949	一般
4-205	木多 彪・山口弘次・他	福井地震の踏査報告	1950	15	1	49	今市	1949	踏報
4-206	木多 彪	福井地震震源地附近の地形、地質、地変の概報	1950	15	1	54	今市	1949	地質
4-207	加登幸雄・山口弘次	福井地震震源地附近の地形、地質、地質、地質の概報	1950	15	1	61	今市	1949	通調
4-208	武者金吉	福井地震通信調査	1950	15	1	64	今市	1949	一般
4-209	木田孝雄	今市地震と鬼怒川地震帯	1950	15	1	64	今市	1949	一般
4-210	広野卓蔵・本間正作・他	福井地震報告	1951	15	3	12	三河	1945	踏報

番号	著者名	題	日	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
4-211	石垣島測候所	1947年9月27日石垣島地震について		1951	15	3	26	1947	一般	
4-212	中島甫之・牧野高吉	1950年4月26日熊野川中流域の地震踏査報告		1952	16	2	1	1950	踏報	
4-213	上野観測所	上野市大野木地区西の井池堤防の崩壊について		1952	16	2	6	1950	土被	
4-214	戸松喜一	福井地震の震央について(震央の精密な求め方の一例)		1952	16	2	57	1948	験測	
4-215	中央気象台	昭和27年3月十勝沖地震調査報告		1953	17	1		1952	一般	
4-216	井上宇胤	概観		1953	17	1	1	1952	一般	
4-217	地震課	十勝沖地震の気象官署における観測結果		1953	17	1	3	1952	験測	
4-218	地震課	十勝沖地震余震総括		1953	17	1	12	1952	余震	
4-219	地震課	被害総括		1953	17	1	19	1952	被害	
4-220	網走, 根室測候所	踏査報告 (北海道の部) 網走および根室支庁		1953	17	1	25	1952	踏報	津報
4-221	釧路測候所	踏査報告 (北海道の部) 釧路支庁		1953	17	1	26	1952	踏報	津報
4-222	帯広測候所・他	踏査報告 (北海道の部) 十勝支庁 (浦幌一犬津間)		1953	17	1	35	1952	踏報	津報
4-223	札幌管区気象台	踏査報告 (北海道の部) 十勝支庁 (広尾一犬津間)		1953	17	1	38	1952	踏報	津報
4-224	札幌管区気象台	踏査報告 (北海道の部) 十勝および日高支庁 (広尾一襟裳岬間)		1953	17	1	44	1952	踏報	津報
4-225	浦河測候所・他	踏査報告 (北海道の部) 日高地方 (1) 地震編		1953	17	1	48	1952	踏報	
4-226	浦河測候所	踏査報告 (北海道の部) 日高地方 (2) 津波編		1953	17	1	56	1952	踏報	
4-227	苫小牧, 室蘭測候所	踏査報告 (北海道の部) 苫小牧市一門別村踏査報告		1953	17	1	63	1952	踏報	
4-228	俱知安測候所	踏査報告 (北海道の部) 十勝沖地震による昆布各温泉の変動		1953	17	1	68	1952	踏報	
4-229	山口富子・大野 謙	踏査報告 (北海道の部) 十勝沖地震による阿寒鳴動報告		1953	17	1	69	1952	踏報	
4-230	札幌管区気象台	踏査報告 (北海道の部) 十勝沖地震通信調査報告		1953	17	1	76	1952	踏報	
4-231	仙台管区気象台	踏査報告 (三陸地方の部) 青森県八戸以北		1953	17	1	82	1952	踏報	
4-232	八戸測候所	踏査報告 (三陸地方の部) 八戸一久慈間		1953	17	1	86	1952	踏報	
4-233	盛岡測候所	踏査報告 (三陸地方の部) 久慈港一小木村		1953	17	1	89	1952	踏報	
4-234	宮古測候所	踏査報告 (三陸地方の部) 小木湾一金石湾		1953	17	1	91	1952	踏報	
4-235	仙台管区気象台	踏査報告 (三陸地方の部) 釜石一気仙沼		1953	17	1	93	1952	踏報	
4-236	仙台管区気象台	踏査報告 (三陸地方の部) 気仙沼一雄勝		1953	17	1	98	1952	踏報	
4-237	石巻測候所	踏査報告 (三陸地方の部) 月浜一石巻		1953	17	1	100	1952	踏報	
4-238	仙台管区気象台	踏査報告 (三陸地方の部) 宮城県南部沿岸 (釜釜, 関上, 荒浜)		1953	17	1	105	1952	踏報	

4-239	地震課	津波	1953	17	1	107	十勝沖	1952	津波	
4-240	地震課	津波予報について	1953	17	1	112	十勝沖	1952	津波	
4-241	武者金吉	北海道の地震活動	1953	17	1	123			一般	地活
4-242	地震課	北海道附近の最近の地震活動	1953	17	1	130			一般	地活
4-243	地震課調査係	大聖寺沖地震	1953	17	3	95	大聖寺	1952	一般	
4-244	山下 勇	大聖寺沖地震踏査報告 (1)	1953	17	3	103	大聖寺	1952	踏報	
4-245	中島信之	大聖寺沖地震踏査報告 (2)	1953	17	3	105	大聖寺	1952	踏報	
4-246	塚本 章・中山正喜	大聖寺沖地震踏査報告 (3)	1953	17	3	107	大聖寺	1952	踏報	
4-247	地震課調査係・他	昭和27年7月18日吉野地震概報	1953	17	4	83	吉野	1952	一般	
4-248	中央氣象台	昭和27年11月カムチャッカ地震調査報告	1953	18	1		カムチャ	1952	一般	
4-249	井上宇胤	概観	1953	18	5		カムチャ	1952	一般	
4-250	地震課	氣象官署における観測結果	1953	18	6		カムチャ	1952	観測	
4-251	釧路測候所・他	調査報告	1953	18	13		カムチャ	1952	津波	
4-252	地震課	津波	1953	18	36		カムチャ	1952	津波	
4-253	札幌管区氣象台・他	津波予報について	1953	18	40		カムチャ	1952	津波	
4-254	地震課	米国における津波の状況	1953	18	43		カムチャ	1952	津波	
4-255	地震課	カムチャッカ地震津波観測一覽表	1953	18	45		カムチャ	1952	津波	
4-256	中央氣象台地震課	房総沖地震調査報告	1954	19	42		房総沖	1953	一般	
4-257	井上宇胤	概観	1954	19	42		房総沖	1953	一般	
4-258	地震課	房総沖地震の氣象官署における観測結果	1954	19	43		房総沖	1953	観測	
4-259	地震課	余震	1954	19	50		房総沖	1953	余震	
4-260	地震課・他	地震にともなつた諸現象	1954	19	56		房総沖	1953	津波	発光, 海震
4-261	札幌管区氣象台・他	津波予報について	1954	19	61		房総沖	1953	津波	
4-262	米子測候所	鳥取県西部地震踏査報告	1956	20	165		鳥取西	1955	踏報	
4-263	徳島測候所	昭和30年(1955)7月27日徳島県南部の地震踏査報告	1956	21	21		徳島南	1955	踏報	
4-264	仙台管区氣象台	秋田県米代川下流域地震調査報告	1956	21	27		二ツ井	1955	一般	
4-265	仙台管区氣象台	宮城県阿武隈川下流域(白石市付近)地震調査報告	1957	22	147		白石	1956	一般	
4-266	地震課技術係・他	昭和32年(1957)11月伊豆新島近海の群発地震について	1958	23	15		新島	1957	一般	
4-267	小池亮治	エトロフ島沖地震と浅間山爆発の際における微気圧観測結果について	1959	24	45		エトフ	1958	その他	11月7日

番号	著者名	題	日	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
4-268	鉦路地方気象台	弟子屈付近強震調査		1959	24	47	弟子屈	1959	一般	
4-269	地震課・他	エトロフ沖地震調査報告		1959	24	65	エトロフ	1958	一般	
4-270	札幌管区気象台	弟子屈強震調査報告		1960	25	9	弟子屈	1959	一般	
4-271	安井 豊・田辺 剛	日向灘の外所地震津波調査について		1961	26	33	日向灘	1962	津波	
4-272	新潟地方気象台・他	長岡地震調査報告		1961	26	65	長岡	1961	一般	
4-273	地震課・他	日向灘地震調査報告		1961	26	81	日向灘	1961	一般	2月27日
4-274	久本壮一・村山チエ子	チリ津波の伝搬波面を作曲すること		1962	26	109	チリ	1960	津波	
4-275	箱田頭雄	四国周辺の津波史料について		1962	27	23			津波	一般
4-276	鹿児島地方気象台	鹿児島県吉松町付近一帯に頻発した地震について		1962	27	38	吉松	1961	一般	
4-277	鉦路地方気象台	昭和36年8月12日鉦路沖地震についての状況報告		1962	27	41	鉦路沖	1961	一般	
4-278	地震課・他	昭和36年8月19日北美濃地震調査報告		1962	27	43	北美濃	1961	一般	
4-279	札幌管区気象台・他	昭和37年4月23日広尾沖地震調査報告		1962	27	69	広尾沖	1962	一般	
4-280	仙台管区気象台	昭和37年4月30日宮城県北部地震調査報告		1962	27	79	宮城北	1962	一般	
4-281	敦賀測候所	越前沖地震被害概報		1964	28	105	越前沖	1963	被害	
4-282	根室測候所	養老牛地区の地震調査について		1964	28	107	養老牛	1963	一般	
4-283	長宗留男	1960年5月22日のChile地震による長周期表面波の位相速度		1964	28	111	チリ	1960	観測	
4-284	網走地方気象台・他	羅臼付近にひん発した地震の現地調査報告		1965	29	127	羅臼	1964	踏報	
4-285	鉦路地方気象台	1964年6月23日根室南方沖地震の被害について		1965	29	131	根室沖	1964	被害	
4-286	柴田武男	松代からみた新潟余震の記象型分布		1965	29	133	新潟	1964	余震	発機
4-287	高木 聖	新潟地震の初動分布と地体構造との関係について		1965	29	135	新潟	1964	発機	地質
4-288	井上宇胤	新潟地震前における震央付近および隣接地域の地震活動について		1965	29	139	新潟	1964	地活	
<b>震災予防調査会報告</b>										
5-1	原口 要	東海鉄道線路震害及復旧工事報告書		1893	1	33	濃尾	1891	土被	
5-2	江森臨時委員	明治24年愛知県震災誌		1894	2	8	濃尾	1891	一般	
5-3	福井県	福井県震災景況		1894	2	69	濃尾	1891	被害	
5-4		地震ト地球磁力ノ変動トノ関係ニ付開陳		1894	2	141	濃尾	1891	地電磁	
5-5	玉名三三・吉村兼富	明治26年9月7日鹿児島県知覚地方ニ於ケル地震調査復命書		1894	2	170	知覚	1893	一般	



5-6	佐伯敦崇	岐阜三重岡県土木工事震害及復旧工事報告書	1895	3	9	濃尾	1891	土被
5-7	大森房吉	明治27年3月22日北海道地震概報告	1895	3	27	釧路沖	1894	一般
5-8	大森房吉	北海道地震記録調査	1895	3	37	釧路沖	1894	一般
5-9	石井敬吉	明治27年北海道震災略報	1895	3	47	釧路沖	1894	建被
5-10	大森房吉	明治27年10月22日庄内地震概報告	1895	3	79	庄内	1894	一般
5-11	中村達太郎	庄内震災地巡回報告書	1895	3	107	庄内	1894	踏報
5-12	曾禰達藏	山形県下震害家屋取調報告	1895	3	117	庄内	1894	建被
5-13	田山 実	山形県下震害家屋取調報告	1895	3	131	出羽	830	一般
5-14	北海道庁	古来出羽ニ於ケル大地震記事	1895	3	142	釧路沖	1894	一般
5-15	警視庁・他	北海道地震	1895	3	142	東京	1894	一般
5-16	山形県	東京附近地震	1895	3	171	庄内	1894	一般
5-17	秋田県・他	山形県下地震	1895	3	175	庄内	1894	一般
5-18	中村達太郎・他	秋田県下地震	1895	4	13	東京	1894	建被
5-19	吉見鎮之助	東京附近震災被害建物等調査報告	1895	4	91	東京	1894	土被
5-20	警視庁・他	東京府下橋梁震害調査報告	1895	4	95	利根川	1895	一般
5-21	安永義章・真野文二・他	東京附近地震	1895	5	1	東京	1894	建被
5-22	大学院学生及工科大学	震害工場烟突調査成績	1895	7	4	庄内	1894	建被
5-23	野口孫市	山形県下震災被害建物調査報告	1895	7	15	庄内	1894	被害
5-24	嫁本 靖	明治27年10月22日庄内地震被害調査報告	1895	7	31	東京	1894	建被
5-25	野口孫市	本郷小石川牛込四ツ谷赤阪麻布六区震害報告	1895	7	39	東京	1894	建被
5-26	山崎定信	明治28年1月18日強震被害調査報告	1895	7	45	東京	1894	建被
5-27	小藤次郎	明治28年1月19日東京震災被害家屋調査報告	1895	8	1	庄内	1894	地質
5-28	野口孫市	庄内地震ニ関スル地質学上調査報告	1896	9	4	庄内	1894	建被
5-29	伊木常誠	明治27年山形県地震災後建築視察報告	1896	11	5	三陸	1896	津報
5-30	中村精男	三陸地方津浪災况取調報告	1896	11	35	三陸	1896	地電磁
5-31	岩手県宮古測候所・他	6月15日三陸地方津浪前後地球磁力変動報告	1896	11	41	三陸	1896	津波
5-32	山崎直方	三陸地方津浪彙報	1896	11	50	陸羽	1896	一般
5-33	巨智部忠承	陸羽地震調査概報	1896	11	75	陸羽	1896	被害
5-34	中村達太郎	秋田県震災概査報告	1896	11	84	陸羽	1896	建被
		陸羽震災地巡回報告						

庄内(850)  
三陸(1611)  
延代(1694)  
宝永(1704)  
[象潟(1804)]

山崎直方論文  
集、後編1931

番号	著者名	題	日	西曆年	巻号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
5-35	曾禰達藏	岩手秋田両県下震害家屋調査報告		1896	11	92	陸羽	1896	建設	
5-36	和田雄治	陸羽震災前ニ於ケル地球磁力ノ変動		1896	11	106	陸羽	1896	地電磁	
5-37	中央氣象台・他	陸羽地震彙報		1896	11	109	陸羽	1896	一般	
5-38	木村駿吉	仙台市及附近震災被害調査報告(摘要)		1898	21	51	陸前沖	1897	被害	
5-39	西沢順作	地震彙報		1898	21	71	上高井	1897	一般	
5-40	大森房吉	明治27年6月20日東京激震ノ調査		1899	28	71	東京	1894	一般	
5-41	大森房吉	明治24年10月28日濃尾大地震ニ因スル調査		1899	28	79	濃尾	1891	一般	
5-42	関谷清景・大森房吉	明治27年6月20日東京激震ノ地震計記録図		1899	28	97	東京	1894	驗測	
5-43	伊木常誠	福岡地震調査報告		1899	29	5	福岡	1898	一般	
5-44	大森房吉	東京ニ於ケル福岡地震余波ノ觀測		1899	29	11	福岡	1898	驗測	
5-45	今村明恒	三陸津浪取調報告		1899	29	17	三陸	1896	津波	
5-46	前沢初治	震災ト水位ノ関係		1899	29	81	濃尾	1891	地下水	被害
5-47	大森房吉	明治31年8月福岡激震ニ因スル調査(第2回報告)		1900	32	47	福岡	1898	余震	
5-48	大森房吉	宝永大地震		1900	32	59	宝永	1707	一般	
5-49	大森房吉	明治24年10月28日濃尾大地震ノ調査(第2回報告)		1900	32	67	濃尾	1891	地変	
5-50	曾禰達藏	大阪地方震害調査報告		1900	32	105	紀伊・大	1899	被害	
5-51	大石和三郎	陸前地方ニ発セン強震前ニ於ケル磁力変動調査報告		1900	32	127	陸前	1900	地電磁	前兆
5-52	大森房吉	日本ニ於ケル津浪ニ就キテ		1901	34	5	三陸	1896	津波	一般
5-53	大森房吉	慶長9年12月16日大地震		1901	34	78	東南海	1605	一般	
5-54	近藤虎五郎	三陸大津浪被害地図		1901	34	81	三陸	1896	津波	
5-55	菊池勇治郎	明治33年5月12日陸前地震調査報告		1901	35	85	陸前	1900	一般	
5-56	福岡潤麿所	明治31年8月ノ大震概況		1901	35	121	福岡	1898	一般	
5-57	福地信世	明治33年11月5日豆南諸島ノ地震ニ因スル報文		1902	38	39	三宅島	1900	一般	
5-58	今村明恒	明治38年6月2日去予地震調査報告		1905	53	2	去予	1905	一般	
5-59	塩治次郎	明治38年6月2日午後2時40分頃ノ地震ニ因スル調査		1905	53	23	去予	1905	一般	
5-60	八谷彪一	広島地震ニ就テ		1905	53	29	去予	1905	一般	
5-61	小藤文次郎	去予地震ノ震源地		1905	53	33	去予	1905	地質	
5-62	曾禰達藏	広島愛媛二県下震災地建築物調査報告		1905	53	39	去予	1905	建設	

5-63	田辺朝郎	広島県下ニ於ケル震災調査報告	1905	53	75	芸予	1905	被害
5-64	中央氣象台・他	芸予地震彙報	1905	53	80	芸予	1905	一般
5-65	福地信世	明治38年6月上旬ニ起リタル伊豆大島ノ地震ニ関スル地質學上ノ観	1905	53	87	大島	1905	地質
5-66	東京府・静岡県	伊豆大島地震彙報	1905	53	96	大島	1905	一般
5-67	大森房吉	露国軍艦「ディアナ」号遭難記事	1906	57	82	安政	1854	津被
5-68	大森房吉	本邦大地震概説	1913	68	乙			一般
5-69	小藤文次郎	地質學上ノ見地ニ依ル江濃地震	1910	69	1	江濃	1909	地質
5-70	曾禰達藏	江濃震災地出張報告	1910	69	17	江濃	1909	建設
5-71	田辺朝郎	鐵道ノ震害ニ関スル報告	1910	69	27	江濃	1909	土被
5-72	石黒五十二	滋賀県管内震災実地調査ノ概報	1910	69	29	江濃	1909	被害
5-73	石黒五十二	岐阜県管内震災実地調査ノ概報	1910	69	31	江濃	1909	被害
5-74	今村明恒	明治42年姉川地震調査報告	1910	70	1	江濃	1909	一般
5-75	佐野利器	江州地震調査報告	1910	70	65	江濃	1909	被害
5-76	今村明恒	安政元年夏ノ地震	1913	77	2	安政	1854	一般
5-77	今村明恒	明治5年ノ浜田地震	1913	77	43	浜田	1872	一般
5-78	今村明恒	明治29年ノ陸羽地震	1913	77	78	陸羽	1896	一般
5-79	今村明恒	明治44年ノ喜界島地震	1913	77	88	喜界島	1911	一般
5-80	内田祥三	大正3年鹿兒島地震ニ於ケル建築物被害調査報告	1915	80	1	桜島	1914	建設
5-81	今村明恒	大正3年秋田県仙北郡大地震調査報告	1915	82	1	羽後仙	1914	一般
5-82	碧海康温	大正3年3月15日秋田県仙北郡ニ発シタル地震ニ就キテ	1915	82	31	羽後仙	1914	一般
5-83	大橋良一	大正3年ノ秋田地震ニ就テ	1915	82	37	羽後仙	1914	一般
5-84	今村明恒	大正4年11月上総東部ニ起リタル地震群ト大地震ノ前震トノ比較	1920	92	101	上総	1915	地活
5-85	堀越三郎	大町地方震災後家屋建築及修理ニ関スル注意	1921	94	13	大町	1918	建設
5-86	大森房吉	大正7年信州大町地方激震調査報告	1921	94	16	大町	1918	一般
5-87	今村明恒	奥羽西部ノ地震帯	1921	95	1	大町	1918	一般
5-88	坪井誠太郎	信州大町地震調査概報	1922	98	13	大町	1918	一般
5-89	大森房吉	大正7年信州大町地方激震調査報告(第2回)	1922	98	23	大町	1918	昇降
5-90	大森房吉	島原地震ニ関スル調査輯録	1925	99	1	島原	1922	一般
5-91	今村明恒	大正11年島原地震ニ関聯セル地盤垂直變動調査報告	1925	99	12	島原	1922	昇降

被害  
6月15日

前震

自庄内(850)  
[至渡島  
(1856)]

番号	著者	名	題	目	西曆年	卷号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
5-92	今村明恒		島原地震記念調査報告		1925	99	16	島原	1922	驗測	
5-93	堀越三郎		島原半島地方震災後家屋建築及修理ニ関スル注意		1925	99	19	島原	1922	建被	
5-94	警視庁		大正11年4月26日ノ強震ニ因ル東京市内建築物被害ノ状況		1925	99	22	浦賀海	1922	被害	
5-95	神奈川県警察部		大正11年4月26日ノ地震ニ由ル神奈川県下ニ於ケル被害状況		1925	99	32	浦賀海	1922	被害	
5-96	今村明恒		関東大地震調査報告		1925	100甲	21	関東	1923	一般	
5-97	中村左衛門太郎		関東大地震調査報告		1925	100甲	67	関東	1923	一般	
5-98	小幡彦一		関東大地震山梨埼玉両県下調査報告		1925	100甲	141	関東	1923	踏報	
5-99	松沢武雄		木造建築物ニヨル震害分布調査報告		1925	100甲	163	関東	1923	建被	
5-100	保田住二		関東大地震ノ余震観測結果報告		1925	100甲	261	関東	1923	余震	
5-101	中村常二		伊豆大島ニ於ケル余震記録		1925	100甲	311	関東	1923	余震	
5-102	那須信治		土地ノ震動性能調査報告		1925	100甲	313	関東	1923	地盤	
5-103	阿部良夫		関東大地震特ニ鶴沼海岸別荘地ニ於ケル状況		1925	100甲	333	関東	1923	一般	
5-104			大正13年1月15日神奈川県地震被害調査表		1925	100甲	339	関東	1923	被害	
5-105	加藤武夫		大正12年9月1日関東大地震ノ地質学的考察(第1回報告)		1925	100乙	1	関東	1923	地質	
5-106	山崎直方		関東地震ノ地質学的考察		1925	100乙	11	関東	1923	地質	山崎直方論文集、後編1931
5-107	大村 芥		関東大地震ニ伴ヘル陸地水準変更調査		1925	100乙	55	関東	1923	測量	
5-108	内田虎三郎		関東大地震ニ因ル相模湾底及附近地形ノ変化調査報告		1925	100乙	61	関東	1923	地盤	
5-109	寺田寅彦		相模湾海底変化ノ意義並ニ大地震ノ原因ニ関スル地球物理学的考察		1925	100乙	63	関東	1923	地盤	
5-110	中村常二		伊豆国大島三原火山ノ調査		1925	100乙	73	関東	1923	地質	
5-111	諸戸北郎		地震ト山地ノ崩壊トニ就イテ		1925	100乙	79	関東	1923	山崩	
5-112	松沢武雄		根府川山崩調査報告		1925	100乙	81	関東	1923	山崩	
5-113	今村明恒		根府川方面山津波調査報告		1925	100乙	85	関東	1923	山崩	
5-114	鈴木 醇		東海道西部及ビ紀伊半島東部ノ海岸ノ変動ニ関スル調査概報		1925	100乙	87	関東	1923	昇降	
5-115	今村明恒		房総半島ニ於ケル土地ノ隆起		1925	100乙	91	関東	1923	昇降	
5-116	井上禮之助		関東大地震ニ伴ヘル地変調査予報		1925	100乙	95	関東	1923	地變	
5-117	池田徹郎		伊豆安房方面津浪並ニ初島地變調査報告		1925	100乙	97	関東	1923	津波	地變
5-118	寺田寅彦・山口生知		相模湾カラ起ツタ津浪ノ伝播ニ関スル調査報告		1925	100乙	113	関東	1923	津波	
5-119			各地験潮儀象並ニ潮候異状等通報蒐録		1925	100乙	121	関東	1923	津波	

5-120	北沢五郎	木造被害調査報告	1926	100丙	1	関東	1923	建被	
5-121	佐藤 好	煉瓦造被害調査報告	1926	100丙	55	関東	1923	建被	
5-122	内田祥三・伊子田 貢	煉瓦造数個被害調査報告	1926	100丙	179	関東	1923	建被	
5-123	内藤多仲	鉄骨造被害調査報告	1926	100丙	185	関東	1923	建被	
5-124	永田念郎	鉄筋「コンクリート」ノ被害調査報告	1926	100丙	211	関東	1923	建被	
5-125	土居松市	「コンクリート」ノ被害調査報告	1926	100丙	333	関東	1923	建被	
5-126	田中正義・尾崎久助	建築材料ノ被害調査報告	1926	100丙	343	関東	1923	建被	
5-127	堀越三郎	建築設備被害調査報告	1926	100丙	373	関東	1923	建被	
5-128	田中大作	横浜市ニ於ケル被害建築物調査報告	1926	100丙	379	関東	1923	建被	火災
5-129	物部長穂	土木工事震害調査報告	1926	100丁	1	関東	1923	土被	
5-130	物部長穂	煙突並ニ塔状構造物震害調査報告	1926	100丁	67	関東	1923	建被	
5-131	物部長穂	横浜市内道路橋震害調査報告	1926	100丁	109	関東	1923	土被	
5-132	田辺湖郎	箱根地方ニ於ケル震害ト其復旧報告	1926	100丁	135	関東	1923	被害	
5-133	那波光雄	国有鉄道震害調査報告	1926	100丁	145	関東	1923	土被	
5-134	小川織三	東京市上水道震害調査報告	1926	100丁	215	関東	1923	土被	
5-135	竹中二郎	工場ノ震害ニ就テ	1926	100丁	235	関東	1923	被害	
5-136	狹沢元治	震災ニ因ル電気工作物ノ被害状況	1926	100丁	251	関東	1923	被害	
5-137	稲田三之助	震火災ニ抛ル有線及無線電信電話ノ被害	1926	100丁	289	関東	1923	被害	
5-138	緒方惟一郎	関東大地震ニ因レル東京大火災	1925	100戊	1	関東	1923	火災	
5-139	中村清二	大地震ニヨル東京火災調査報告	1925	100戊	81	関東	1923	火災	
5-140	井上一之	帝都大火災誌	1925	100戊	135	関東	1923	火災	
5-141	寺田寅彦	大正12年9月1日2日ノ旋風ニ就テ	1925	100戊	185	関東	1923	火災	その他火災
5-142	竹内六藏	大正12年9月大震火災ニ因ル死傷者調査報告	1925	100戊	229	関東	1923	火災	
5-143	片山正夫・大島義清	学校研究所等ニ於ケル危険薬品ニ関スル注意	1925	100戊	265	関東	1923	被害	
5-144	諸戸北郎	防火用樹木ニ就テ	1925	100戊	269	関東	1923	火災	防災
5-145	今村明恒	関東大地震ニ因レル各地方火災	1925	100戊	271	関東	1923	火災	
5-146	今村明恒	火災地方ヨリノ飛来落下物景況ニ関シ各地方ヨリノ回答蒐録	1925	100戊	281	関東	1923	火災	
5-147	山崎直方	但馬地震調査報告	1927	101	1	但馬	1925	一般	
5-148		但馬地震ノ震源調査報告	1927	101	31	但馬	1925	断層	

番号	著者名	題 目	西曆年 卷号 頁	地震名西曆年	分類	備 考
5-149	松沢武雄・他	豊岡町震火災調査報告	1927 101	但馬 1925	火災	
5-150	那波光雄	但馬地震鉄道被害調査報告	1927 101	但馬 1925	土被	
5-151	谷口 忠	但馬地震建築物被害調査報告	1927 101	但馬 1925	建被	
5-152		但馬地方震後ノ家屋建築及修理ニ関スル注意	1927 101	但馬 1925	建被	
<b>Bull. Imp. Earthq. Inv. Comm.</b>						
5-153	F. Omori	Comparison of the Faults in the Three Earthquakes	1907 1	濃尾 1891	断層	台湾(1906III 17) San Francisco (1906IV18) 越後(1828) 佐渡(1833)
5-154	F. Omori	On the Destructive Earthquakes in the Shimano-gawa Valley	1908 2	善光寺 1847	一般	
5-155	F. Omori	The After-shocks of the Zenkoji (1847) and the Tenpo (1830)	1908 2	善光寺 1847	余震	
5-156	F. Omori	The Sakura-jima Eruptions and Earthquakes. I. (General	1914 8	桜島 1914	火山	
5-157	F. Omori	The Sakura-jima Eruptions and Earthquakes. VI. (Notes on	1922 8	桜島 1914	火山	
5-158	F. Omori	The Omachi (Shimano) Earthquakes of 1918. I.	1922 10	大町 1918	一般	
5-159	F. Omori	On the Shimabara Earthquake of Dec. 8, 1922.	1928 10	島原 1922	一般	
5-160	A. Imamura	Report on the Changes in the Land-Level in Connection with	1928 10	島原 1922	昇降	
5-161	A. Imamura	Seismographic Study of the Simabara Earthquake.	1928 10	島原 1922	験測	
5-162	A. Imamura	The Tazima Earthquake of 1925.	1928 10	但馬 1925	一般	
5-163	N. Yamasaki	On the Cause of the Tajima Earthquake of 1925.	1928 10	但馬 1925	発機	
5-164	A. Imamura et al.	List of the After-shocks of the Great Kwanto Earthquake.	1928 11	関東 1923	余震	
5-165	S. Yamaguti	On the Change in Water Level of Rivers Observed on the	1928 11	関東 1923	その他	
5-166	T. Terada et al.	On the Fluctuation of Sea Level before and after the Great	1928 11	関東 1923	海況	
5-167	Rikuti Sokuryobu	Re-survey of the Kwantô District after the Great Earthquake	1930 11	関東 1923	測量	
<b>Publ. Earthq. Inv. Comm.</b>						
5-168	S. Tanabe et B. Mano	Cheminées d'usine ayant souffert des secousses de tremblement	1900 3	東京 1894	建被	
5-169	F. Omori	Note on the Great Mino-Owari Earthquake of Oct. 28th 1891.	1900 4	濃尾 1891	一般	

5-170	F. Omori	Note on the Tokyo Earthquake of June 20th 1894.	1900	4	25	東京	1894	一般	
5-171	S. Sekiya et al.	The Diagram of the Semi-destructive Earthquake of June	1900	4	35	東京	1894	験測	
5-172	F. Omori	Note on the After-shocks of the Hokkaido Earthquake of	1900	4	39	釧路沖	1894	余震	
5-173	F. Omori	Note on the After-shocks of the Mino-Owari Earthquake of	1902	7	27	濃尾	1891	余震	
<b>Seismological Notes</b>									
5-174	F. Omori	On the Severe Earthquake of Dec. 8, 1921.	1922	2	1	竜ヶ崎	1921	一般	
5-175	Ch. Yasuda	List of the After-shocks of the Strong Earthquake of Dec. 8,	1922	2	22	竜ヶ崎	1921	余震	
5-176	F. Omori	The Semi-Destructive Earthquake of April 26, 1922.	1922	3	1	浦賀海	1922	一般	
5-177	F. Omori	Tokyo Observation of the Strong Earthquake on Jan. 14, 1923.	1924	4	1	水海道	1923	験測	
5-178	A. Inamura	Preliminary Note on the Great Earthquake of S. E. Japan on	1924	6	1	関東	1923	一般	
<b>防災研究所研究報告</b>									
6-1	棚橋 諒・佐々憲三・他	東海地震及其余震における震害と地盤との関係	1948	1	1	東南海	1944	地盤	
6-2	横尾義貫・馬場善雄・他	鳥取市附近地盤調査	1949	2	6	鳥取	1943	地盤	
6-3	馬場善雄・畑中元弘・他	高知市の地盤調査	1949	2	9	南海	1946	地盤	
6-4	吉川宗治	福井地震の震害と地盤	1949	2	12	福井	1948	地盤	
6-5	横尾義貫・馬場善雄	福井市地盤調査	1949	2	17	福井	1948	地盤	
6-6	林 聡	地震動と地盤	1949	2	19	福井	1948	地盤	
6-7	小川真澄	福井地震の地震動	1949	2	122	福井	1948	験測	
6-8	松田友明	福井地震の被害分布について	1949	2	124	福井	1948	被害	
6-9	一戸時雄	地震後の福井附近における土地変動	1949	2	131	福井	1948	被害	
6-10	若山一夫	福井地方における地球磁気変化	1949	2	133	福井	1948	地磁	
6-11	吉川宗治	新居浜市地盤調査報告	1950	3	1	南海	1946	地盤	
6-12	久保寺 章	和歌山市内の地盤調査	1950	3	3	南海	1946	地盤	
6-13	百瀬寛人	徳島市内地盤調査報告	1950	3	7	南海	1946	地盤	
6-14	百瀬寛人	地震動による沖積層の圧密沈下	1950	3	16	南海	1946	その他	
6-15	成岡昌夫	高知市水準測量	1950	3	21	南海	1946	測量	

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
<b>Bull. Sci. Eng. Res. Lab. Waseda Univ.</b>									
7-1	N. Nasu	Seismological Aspects of the Niigata Earthquake of June 16,	1966	34	5	新潟	1964	一般	
7-2	N. Imai et al.	Geological Aspects of Niigata Earthquake.	1966	34	42	新潟	1964	地質	
7-3	K. Kotofa	Major Aspects of Damage and Ground Condition of Afflicated	1966	34	72	新潟	1964	地盤	被害
7-4	S. Gotō	The Characteristics of the Surface Soil of Niigata.	1966	34	95	新潟	1964	地質	
7-5	A. Mori	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Road.	1966	34	103	新潟	1964	土被	
7-6	M. Numata	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Railway.	1966	34	111	新潟	1964	土被	
7-7	H. Sazima	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Harbours.	1966	34	124	新潟	1964	土被	
7-8	T. Yonemoto	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Riparian	1966	34	133	新潟	1964	土被	
7-9	H. Yoneya	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Electric	1966	34	137	新潟	1964	土被	
7-10	H. Murakami	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Structures	1966	34	142	新潟	1964	土被	
7-11	S. Kamiyama	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Cracking	1966	34	147	新潟	1964	建被	
7-12	K. Horii et al.	Civil Engineering Aspects of the Niigata Earthquake. Bridges	1966	34	151	新潟	1964	土被	
7-13	S. Tani	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Introduction.	1966	34	171	新潟	1964	一般	地盤
7-14	M. Takeuchi et al.	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Analysis of	1966	34	173	新潟	1964	建被	
7-15	Y. Tamura et al.	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Wood	1966	34	181	新潟	1964	建被	
7-16	G. Matsui et al.	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Reinforced	1966	34	187	新潟	1964	建被	
7-17	A. Tsuruta et al.	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Steel	1966	34	203	新潟	1964	建被	
7-18	Y. Tanaka	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Shell	1966	34	212	新潟	1964	建被	
7-19	K. Kimura et al.	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Building	1966	34	215	新潟	1964	建被	
7-20	M. Takeuchi	Architectural Effects of the Niigata Earthquake. Conclusion.	1966	34	229	新潟	1964	被害	
7-21	I. Inoue	Chemical and Safety Engineering Aspects of Niigata	1966	34	230	新潟	1964	被害	
<b>地学雑誌</b>									
8-1	巨智部忠承	明5石見の震災	1889	1	85	浜田	1872	一般	
8-2	巨智部忠承	明5石見震災(第2回)	1889	1	137	浜田	1872	一般	
8-3		本年2月18日の地震	1889	1	321	川崎	1889	一般	
8-4	関東野人	熊本の大地震に就て	1889	1	382	熊本	1889	一般	



8-5	小藤文次郎	熊本地震概察報告	1889	1	399	熊本	1889	一般
8-6	金田稻太郎	熊本地震調査報告	1889	1	410	熊本	1889	一般
8-7		長岡理字士と熊本地震	1889	1	474	熊本	1889	一般
8-8	河野常吉	1月7日信州強震取調報告	1890	2	23	犀川	1890	一般
8-9	河野常吉	1月7日信州強震報告補遺	1890	2	129	犀川	1890	一般
8-10	矢津昌永	熊本の地震	1890	2	174	熊本	1889	一般
8-11		1月7日の地震	1890	2	200	犀川	1890	一般
8-12	矢津昌永	熊本の地震(承前)	1890	2	220	熊本	1889	一般
8-13		三宅島附近の大地震	1890	2	251	三宅島	1890	一般
8-14	沢田白竜	土佐国宝永の震災	1890	2	574	宝永	1707	一般
8-15	巨智部忠承	濃尾越以下震災地概察報告	1891	3	565	濃尾	1891	一般
8-16	比企忠	美濃国根尾谷陥落の略況	1891	3	585	濃尾	1891	断層
8-17	関東野人	去月24日の地震	1892	4	28	濃尾	1891	一般
8-18	金井俊行	寛政4年島原地変記	1892	4	74	島原	1792	一般
8-19	金井俊行	寛政4年島原地変記(承前)	1892	4	118	島原	1792	一般
8-20	金井俊行	寛政4年島原地変記(承前)	1892	4	175	島原	1792	一般
8-21	横山	欧州も亦尾濃大震の余波を被りし乎	1892	4	192	濃尾	1891	一般
8-22		越前今立郡の震害地	1892	4	192	濃尾	1891	被害
8-23	金井俊行	寛政4年島原地変記(承前)	1892	4	226	島原	1792	一般
8-24	金井俊行	寛政4年島原地変記(承前)	1892	4	278	島原	1792	一般
8-25	山之手生	6月3日の地震に就き関東地震の震因所見	1892	4	283	下総	1892	被書
8-26	金井俊行	寛政4年島原地変記(承前)	1892	4	328	島原	1792	発機
8-27		今月7日岐阜の地震	1892	4	434	岐阜	1892	一般
8-28	伊藤ミネ子	濃尾地方13ヶ月間震動回数	1892	4	590	濃尾	1891	地活
8-29	脇水鉄五郎	濃尾大震の震源に就て	1893	5	58	濃尾	1891	発機
8-30	寺石正路	土佐国四大地震記	1893	5	231	白鳳	684	断層
8-31	寺石正路	土佐国四大地震記(続き)	1893	5	286	宝永	1707	一般
8-32	寺石正路	土佐国四大地震記(続き)	1893	5	342	安政	1854	一般
8-33		鹿児島県下の地震	1893	5	467	知覧	1893	一般

東南海(1605)

安政(1854)

番号	著者名	題名	目録	西曆年	巻号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
8-34	寺石正路	土佐四大地震記補遺		1893	5	492	宝永	1707	一般	
8-35		弘化四丁未年信濃国大地震記		1894	6	31	善光寺	1847	一般	
8-36		弘化四丁未年信濃国大地震記(続き)		1894	6	221	善光寺	1847	一般	
8-37		北海道地震		1894	6	234	釧路沖	1894	一般	
8-38		弘化四丁未年信濃国大地震記(承前)		1894	6	285	善光寺	1847	一般	
8-39		根室地震		1894	6	293	釧路沖	1894	一般	
8-40		本月廿日東京四近の烈震		1894	6	357	東京	1894	一般	
8-41		山形県下の大地震		1894	6	641	庄内	1894	一般	
8-42		本月18日の強震		1895	7	56	利根川	1895	一般	
8-43	梅の舎	安政見聞誌の抜書		1895	7	502	江戸	1855	一般	前兆
8-44	相原 修	震災予防調査会報告第8号 1. 荘内地震		1896	8	309	庄内	1894	一般	10月2日
8-45		東北地震		1896	8	482	陸羽	1896	一般	
8-46		再び東北地震に就て		1896	8	539	陸羽	1896	一般	
8-47		陸羽震災前地球磁力の変動		1896	8	540	陸羽	1896	一般	
8-48		三陸海嘯の被害高		1896	8	574	三陸	1896	津波	海嘯
8-49	K. T.	飛驒の大地震		1896	8	612	飛驒	1858	一般	
8-50	巨智部忠承	三陸地方地震津浪ニ附キ地質學上ノ考説		1896	8付	1	三陸	1896	津波	地質
8-51	巨智部忠承	秋田県震災概査報告		1897	9	1	陸羽	1896	一般	
8-52		地震彙報		1897	9	142	陸前沖	1897	一般	
8-53		東北の海嘯		1897	9	391	三陸	1897	津波	海嘯
8-54		地震被害		1898	10	283	陸中	1898	被害	
8-55	今村明恒	大和地方の強震		1899	11	242	紀伊・大	1899	一般	
8-56	今村明恒	三陸津浪に就て		1899	11	801	三陸	1897	津波	
8-57		三陸津浪に就て		1900	12	143	三陸	1897	津波	
8-58		西肥島原大変聞録		1900	12	253	島原	1792	一般	
8-59		西肥島原大変聞録(承前)		1900	12	321	島原	1792	一般	
8-60		西肥島原大変聞録(承前)		1900	12	385	島原	1792	一般	
8-61		西肥島原大変聞録(承前)		1900	12	451	島原	1792	一般	

8-62	池上福吉	陸前地方の強震に就て	1900 12	467	陸前	1900	一般
8-63		西肥島原大変聞録 (承前)	1900 12	513	島原	1792	一般
8-64		西肥島原大変聞録 (承前)	1900 12	579	島原	1792	一般
8-65		西肥島原大変聞録 (承前)	1901 13	69	島原	1792	一般
8-66	大森房吉	宝永大地震	1901 13	156	宝永	1707	一般
8-67		慶長9年12月16日大地震の津浪	1901 13	365	東南海	1605	津波
8-68	池上福吉	八戸地方の強震	1901 13	629	八戸	1901	一般
8-69	池上福吉	八戸の強震 (承前)	1901 13	690	八戸	1901	一般
8-70		西肥島原大変聞録 (承前)	1902 14	269	島原	1792	一般
8-71	小川琢治	濃尾地震後地形変化の測定結果 (万国測地学委員会の報告)	1903 15	857	濃尾	1891	昇降
8-72		関西の大地震	1905 17	681	芸予	1905	一般
8-73		伊豆大島地震	1905 17	751	大島	1905	一般
8-74		伊豆大島の地震	1906 18	280	大島	1905	一般
8-75		38年6月の芸予地震	1906 18	280	芸予	1905	一般
8-76		明治42年8月14日近江地方の地震に就きて	1909 21	651	江濃	1909	一般
8-77	大森房吉	明治42年8月14日江濃激震の余震	1909 21	699	江濃	1909	余震
8-78	大森房吉	明治42年8月29日の沖繩地震	1909 21	721	沖繩	1909	一般
8-79	大森房吉	明治42年8月14日江濃地震の伝播速度	1909 21	761	江濃	1909	験測
8-80	大森房吉	明治42年11月10日の強震	1909 21	846	日向灘	1909	一般
8-81	中村新太郎	江濃地震調査概報	1910 22	18	江濃	1909	一般
8-82	伊木常誠	明治43年7月有珠火山破裂の際に生じたる裂線に就て	1911 23	53	有珠	1910	火山
8-83	D. S.	桜島噴火の地震茨羅巴に感ず	1914 26	396	桜島	1914	一般
8-84	大森房吉	信州大町地方の地震に就きて	1919 31	1	大町	1918	一般
8-85	大森房吉	信州大町地方の地震に就きて (承前)	1919 31	89	大町	1918	一般
8-86	大森房吉	東京の強震	1922 34	285	浦賀海	1922	一般
8-87	井上禎之助	第一回震災調査報告	1923 35	509	関東	1923	一般
8-88	今村明恒	今後の地震の爲め	1923 35	518	関東	1923	一般
8-89	佐藤戈止	東京山の手方面の震災	1923 35	525	関東	1923	被害
8-90	清野信雄	千葉市附近の震災	1923 35	527	関東	1923	被害

地質調査所報告15(1909)

地盤

番号	著者名	題名	目次	西暦年	巻号	頁号	地震名	西暦年	分類	備考
8-91	渡辺久吉	品川台場の震災		1923	35	531	関東	1923	被害	
8-92	藤原咲平	中央氣象台の焼失と氣象の観測		1923	35	535	関東	1923	火災	
8-93	佐藤伝蔵	震災後の熱海間歌噴泉		1923	35	537	関東	1923	地下水	
8-94	石井	片瀬海岸の井戸		1923	35	543	関東	1923	地下水	
8-95	石井	鎌倉郡中和田村中田の震災状況		1923	35	544	関東	1923	被害	
8-96	納富	日本鋼管株式会社川崎工場内に噴出せる砂		1923	35	544	関東	1923	地変	
8-97	中村左衛門太郎	大地震記		1923	35	545	関東	1923	一般	
8-98	渡辺久吉	三浦半島北下浦村の断層		1923	35	592	関東	1923	断層	
8-99	佐藤伝蔵	震災地附近水路測量成果		1924	36	603	関東	1923	昇降	
8-100	小川琢治	地質学上より観たる島原半島の地震		1924	36	1	高原	1922	地質	
8-101	田子勝弥	京都帝国大学地質学教室の「関東地震調査概報」		1924	36	37	関東	1923	踏報	
8-102	早川千尋	震災と漁業		1924	36	89	関東	1923	一般	
8-103	T. O.	埼玉東部地方に於ける地震		1924	36	99	関東	1923	被害	
8-104		1月15日の激震		1924	36	119	丹沢	1924	一般	
8-105		野田醬油工場に於ける煙突の被害		1924	36	119	関東	1923	建被	
8-106	農商務省農務局	房州西岬村浜田の新温泉		1924	36	131	関東	1923	地下水	
8-107	農務局	大震災に於ける農村被害の概要		1924	36	224	関東	1923	被害	
8-108	農務局	大震災区域に於ける郡部の住民及家屋の被害		1924	36	288	関東	1923	建被	
8-109	農務局	大震災区域に於ける鉄道被害概要		1924	36	360	関東	1923	土被	
8-110	寺田黄彦	関東大地震に因る地震被害概要		1924	36	395	関東	1923	一般	
8-111	陸地測量部	大正12年9月1日の地震に就て		1924	36	411	関東	1923	昇降	
8-112		関東地方激震後に於ける震災地一帯水準線路の変動に就て		1924	36	451	関東	1923	被害	
8-113		大震災に因る電気工作物の被害概況並に応急処置		1924	36	511	関東	1923	被害	
8-114		大震災に因る電気工作物の被害概況並に応急処置 (其二)		1924	36	562	関東	1923	被害	
8-115		大震災に因る電気工作物の被害概況並に応急処置 (其三)		1924	36	674	関東	1923	被害	
8-116	小林	関東大地震と富士山の地学的変化		1924	36	674	但馬	1925	地変	
8-117	T. O.	兵庫豊岡町附近の震災		1925	37	368	但馬	1925	被害	
8-118	T. O.	京都府、兵庫下震災後記 地震と火事		1925	37	439	但馬	1925	被害	
8-118				1925	37	440	但馬	1925	火災	地変

頁次	著者	題名	年次	巻	頁	調査時期	調査地	調査種別
8-119		海軍省水路部の震災地方海面の調査	1925	37	488	1925	但馬	海況
8-120	小倉 勉	京都府及兵庫震災地調査報文 (其一)	1926	38	15	1926	但馬	一般
8-121	小倉 勉	京都府及兵庫震災地調査報文 (其二)	1926	38	74	1926	但馬	地変
8-122	田中館秀三	関東大震災と海岸の昇降運動 (其一)	1926	38	130	1926	関東	昇降
8-123	小倉 勉	京都府及兵庫震災地調査報文 (其三)	1926	38	136	1926	但馬	被害
8-124	田中館秀三	関東大震災と海岸の昇降運動 (其二)	1926	38	188	1926	関東	昇降
8-125	田中館秀三	関東大震災と海岸の昇降運動 (其三)	1926	38	324	1926	関東	昇降
8-126	田中館秀三	関東大震災と海岸の昇降運動 (其四)	1926	38	374	1926	関東	昇降
8-127		丹後地震	1927	39	243	1927	丹後	一般
8-128	田中館秀三	奥丹後地震の際海岸の昇降運動 (其一)	1927	39	617	1927	丹後	昇降
8-129	田中館秀三	奥丹後地震の際海岸の昇降運動 (其二)	1927	39	704	1927	丹後	昇降
8-130		丹後震災地水準測量	1927	39	735	1927	丹後	測量
8-131	渡辺久吉・佐藤戈止	丹後震災地の地形及地質	1928	40	399	1928	丹後	地質
8-132	渡辺久吉・佐藤戈止	丹後地震と其地変 (其一)	1928	40	477	1928	丹後	一般
8-133	渡辺久吉・佐藤戈止	丹後地震と其地変 (其二)	1928	40	589	1928	丹後	一般
8-134	渡辺久吉・佐藤戈止	丹後地震と其地変 (其三)	1928	40	662	1928	丹後	一般
8-135	渡辺久吉・佐藤戈止	丹後地震と其地変 (其四)	1928	40	725	1928	丹後	一般
8-136	伊原敬之助・石井清彦	北伊豆地震地域の地形及地質	1931	43	645	1931	伊豆	地質
8-137		関東北西部の激震	1931	43	657	1931	西埼玉	一般
8-138	伊原敬之助・石井清彦	北伊豆地震地域の地変 (其一)	1931	43	705	1931	伊豆	地変
8-139	伊原敬之助・石井清彦	北伊豆地震地域の地変 (其二)	1932	44	77	1932	伊豆	地変
8-140	遠藤六郎	秋田県男鹿半島の地震に就いて (其一)	1939	51	442	1939	男鹿	一般
8-141	遠藤六郎	秋田県男鹿半島の地震に就いて (其二)	1939	51	520	1939	男鹿	一般
8-142	河角 廣	福井地震に就いて	1949	57	93	1948	福井	一般
8-143	小笠原義勝	北四国の地盤沈下—南海地震に伴う地盤運動とその影響—	1949	58	224	1946	南海	地盤
8-144	沢村武雄	南海地震に伴つた四国の地盤変動に対する一考察	1951	60	190	1946	南海	地盤
8-145	江原真伍	南海海溝と四国の地塊運動	1952	61	139	1946	南海	地殻変
8-146	山口弘次	カムチャツカ南東沖地震について	1952	61	166	1952	カムチ	一般
8-147	広野卓蔵	チリ地震について	1961	70	122	1960	チリ	一般

地質調査所報告100(1928)

断層

番号	著者	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
地球											
9-1	小川琢治		関東地方の地勢及び地質構造—関東地震研究 1—		1924	1	1	関東	1923	地質	
9-2	本間不二男		関東大地震の二三の破壊的結果に就いて—関東地震研究 2—		1924	1	56	関東	1923	被害	
9-3	伊藤貞市		相模灘津波の側面—関東地震研究 3—		1924	1	70	関東	1923	津波	
9-4	小川琢治		ジウスよりフムボルトへ地震成因説の新転向—関東地震研究 4—		1924	1	113	関東	1923	発機	
9-5	小川琢治		深発地震の本性 (上)—関東地震研究 5—		1924	1	199	関東	1923	発機	
9-6	井出健六		地震と鉱山—関東地震研究 6—		1924	1	232	関東	1923	その他	
9-7	小川琢治		深発地震の本性 (下)—関東地震研究 7—		1924	1	287	関東	1923	発機	
9-8	本間不二男		丹沢山塊の地質構造概観—関東地震研究 8—		1924	1	323	関東	1923	地質	
9-9	小川琢治		相模湾の所謂隆起と陥没の意義如何—関東地震研究 9—		1924	1	405	関東	1923	昇降	
9-10	上治寅次郎・小出亮		相州地方に於ける9月1日及1月15日の地震に就いて—関東地震研		1924	1	447	関東	1923	一般	丹沢 (1924)
9-11	小出亮		金峯山堂と熊本地震		1924	2	581	熊本	1889	一般	
9-12	小川琢治		但北地震概報		1925	3	658	但馬	1925	一般	
9-13	石川成章・横山次郎・他		但北地震踏査記		1925	4	1	但馬	1925	踏報	
9-14	熊谷直一		但北地震の震源の深さと震源の性質に就いて		1925	4	181	但馬	1925	験測	発機
9-15	西亀正夫		関東大震災と神戸港		1925	4	217	関東	1923	その他	
9-16			丹後但馬震災地方海面調査の結果		1925	4	249	但馬	1925	海況	
9-17	船越素一		若狭湾と北但馬及京都盆地を成す断層線の関係に就きて		1926	5	120	但馬	1925	断層	
9-18	上治寅次郎		泉州界安政大地震並に津波の記録		1926	6	169	安政	1854	一般	津波
9-19	石川成章		大正14年但北大地震に於ける一新事実		1927	7	89	但馬	1925	地震変	
9-20	中村新太郎		丹後峠山地震に關したる起震線と地弱線 (上)		1927	7	260	丹後	1927	断層	
9-21	小川琢治		丹後峠山地震の現象とその解釈		1927	7	421	丹後	1927	一般	
9-22	中村新太郎		丹後峠山地震に關はれたる起震線と地弱線 (下)		1927	7	431	丹後	1927	断層	
9-23	熊谷直一		関東地方の重力偏差 (1)		1927	7	452	関東	1923	重力	
9-24	熊谷直一		関東地方の重力偏差 (2)		1927	8	93	関東	1923	重力	
9-25	中村新太郎		根尾断層に就いて		1927	8	249	濃尾	1891	断層	
9-26	熊谷直一		関東地方の重力偏差 (3)		1927	8	335	関東	1923	重力	「宝永 (1707)
9-27	中村左衛門太郎		安政及宝永大地震の震源に就て (序報)		1928	9	339	安政	1854	その他	一般

9-28	木間不二男	奥丹後地震被害分布図説明書	1928	9	357	丹後	1927	被害	
9-29	下間忠夫	熊本県阿蘇地方地震に就いて	1929	11	421	阿蘇	1929	一般	
9-30	小川琢治	伊豆地震に於ける地盤変動に就いて	1931	15	1	伊豆	1930	地変	
9-31	君塚康治郎	北伊豆地震地踏査記	1931	15	11	伊豆	1930	踏報	
9-32		北伊豆地震に現はれた諸現象	1931	15	160	伊豆	1930	断層	
9-33	船越素一	丹那断層を観る	1931	15	215	伊豆	1930	断層	
9-34	菅谷泰昌	埼玉震災に於て飯能、寄居間被害踏査概報	1931	16	395	西埼玉	1931	被害	
9-35	米倉二郎	三陸海嘯罹災地方に於ける聚落の移転—岩手県気仙郡末崎村に就いて	1934	21	56	三陸	1933	津被	
9-36	嶺山次郎	静岡地震の地質学的見解	1935	24	163	静岡	1935	地質	
9-37	上治寅次郎	伊賀上野に於ける安政地震碑並に当時の地変に就いて	1936	26	101	安政	1854	一般地変	
<b>地理調査所時報</b>									
10-1	小笠原義勝	北四国の地盤変動 塩田地帯の沈下	1948	4	1	南海	1946	地変	
10-2	篠 邦彦	福井地震後の三角測量改測結果に就いて	1949	5	2	福井	1948	測量	
10-3	地理調査所測地研究室	濃尾地方一等水準測量成果について	1949	5	4	濃尾	1891	測量	
10-4	小笠原義勝	福井地震の被害と地変—特に断層について	1949	6	1	福井	1948	被害	
10-5	篠 邦彦	福井地震の災害調査と空中写真	1949	6	2	福井	1948	被害	
10-6	大森又吉	福井震災地—等水準測量改測結果について	1949	6	3	福井	1948	測量	
10-7	山口恵一郎	十勝沖震災地を往く	1952	15	10	十勝沖	1952	一般	
10-8		十勝沖地震—等水準検測結果報告	1953	16	9	十勝沖	1952	測量	
10-9	測量第一部	石川、福井地方における一等三角点の変位概況	1953	16	10	福井	1948	測量	
10-10	測量第一部	Ni 2 による吉野地方水準測量成果について	1953	16	21	吉野	1952	測量	
10-11	測量第一部	十勝沖地震復旧測量概況報告	1956	20	38	十勝沖	1952	測量	
10-12	地理調査所	福井地震の被害と地変 特に地震と断層運動について	1949	特	2	福井	1948	被害断層	
<b>地理学</b>									
11-1	香川幹一	駿河地震紀行	1935	3	1563	静岡	1935	一般	
11-2	田中元之進	静岡地震の体験	1935	3	1567	静岡	1935	一般	
11-3	岸 彰忠	河内地震の特性とその解釈	1936	4	1809	河内・大	1936	一般	

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
11-4	大橋良一	男鹿嶋及び其の附近に発生した地震		1938	6	357	出羽	830	一般	能代(1694)
11-5	高橋幹雄・関喜四郎・他	男鹿地震の被害状況		1939	7	1687	男鹿	1939	被害	男鹿(1810)
11-6	石本巴四雄	イタリア宣教師の見たる桃山地震		1940	8	30	豊後	1596	一般	
<b>地理学評論</b>										
12-1	今村明恒	但馬大地震の観測に就いて		1925	1	511	但馬	1925	観測	兎機
12-2	山崎直方	但馬地震の震源		1925	1	517	但馬	1925	断層	兎機
12-3		丹後但馬震災地方海面の調査		1925	1	733	但馬	1925	海況	水路部報告書
12-4	多田文男	奥丹後地震		1927	3	453	丹後	1927	一般	抜萃
12-5	大橋良一	秋田断層, 即ち天長大地震の震源に就て		1927	3	763	出羽	830	断層	
12-6	多田文男	関東地方の水平移動		1927	3	914	関東	1923	地殻変	
12-7	大橋良一	文化7年の男鹿地震と嶺川断層		1928	4	190	男鹿	1810	一般	断層
12-8	渡辺光	房総半島南部の海岸段丘(予報)		1929	5	119	関東	1923	地質	
12-9	那須信治	丹後地震の余震の立体的配列より推定さるゝ地塊の形状に就いて		1929	5	481	丹後	1927	余震	
12-10	今村明恒	大正12年関東大地震震原の多元性と此地震に關聯せる断層系との關係		1930	6	599	関東	1923	断層	兎機
12-11	大橋良一	関東地方の地体構造に關する一実験		1930	6	611	関東	1923	地質	実験
12-12	多田文男	逆断層による断層崖の一例		1930	6	616	丹後	1927	断層	
12-13	坪井忠二	丹後地方の三角測量改測の結果から見た地塊運動		1930	6	632	丹後	1927	地殻変	測量
12-14	矢部長克	大正12年9月1日の関東地震と烈震区域に於ける地体構造との關係		1930	6	694	関東	1923	地質	
12-15	大塚弥之助	1926年8月3日の羽田地震前後の地殻の変形		1931	7	896	羽田	1926	地殻変	文献紹介
12-16	山口貞夫	関東大震に於ける相模灣の深度変化		1933	9	988	関東	1923	地殻変	文献紹介
12-17	大塚弥之助	故山崎博士の三浦半島武山断層の地質学的考察		1935	11	455	関東	1923	断層	地質
12-18	久野久	最近の地質時代に於ける丹那断層の運動に就いて		1936	12	18	伊豆	1930	断層	
12-19	淡路正三	長野市附近の断層地形		1936	12	384	善光寺	1847	断層	日本地理学会
12-20	大橋良一	秋田市外高清水丘陵に於ける二条の横断断層と天長地震との關係		1936	12	804	出羽	830	断層	講演要旨
12-21	築地明	鳥取地震の活断層に沿ふ Kernbut		1944	20	67	鳥取	1943	断層	地質
12-22	築地明	鳥取県東部海岸の地盤運動		1947	21	6	鳥取	1943	断層	昇降
12-23	築地明	鳥取地震に於ける活断層と地形とに關する若干の觀察		1947	21	239	鳥取	1943	断層	地質



12-24	田山利三郎・他	南海地震地域の測深結果	1947	21	313	南海	1946	地質	学術大会講演要旨
12-25	田山利三郎	紀伊水道沖の測深結果	1947	21	313	南海	1946	地質	学術大会講演要旨
12-26	田山利三郎	四国沖の海底地形に就て	1949	22	120	南海	1946	地質	学術大会講演要旨
12-27	宮本貞夫	福井地震前後における地震波速度の異常について	1950	23	120	福井	1948	験測	学術大会講演要旨
12-28	茂木昭夫・他	新潟地震による粟島付近の海底変動	1965	38	371	新潟	1964	地殻変	発表要旨 日本地理学会 1965年春
<b>地質調査所特別報告</b>									
13-1		関東地震調査報告 第一	1925	1		関東	1923	踏報	
13-2	門倉三能	埼玉県地震調査報告文	1925	1	1	関東	1923	踏報	
13-3	大橋敬男	茨城栃木群馬三県地震調査報告文	1925	1	31	関東	1923	踏報	
13-4	伊原敬之助	東京北東部地震調査報告文	1925	1	77	関東	1923	踏報	
13-5	木村六郎	東京南東部地震調査報告文	1925	1	99	関東	1923	踏報	
13-6	佐藤戈止	東京西部地震調査報告文	1925	1	111	関東	1923	踏報	
13-7	赤木 健	東京最南部地震調査報告文	1925	1	141	関東	1923	踏報	
13-8	佐藤戈止	東京府北部地震調査報告文	1925	1	146	関東	1923	踏報	
13-9	赤木 健	東京府東部地震調査報告文	1925	1	169	関東	1923	踏報	
13-10		関東地震調査報告 第二	1925	2		関東	1923	踏報	
13-11	門倉三能	千葉県安房郡地震調査報告文	1925	2	1	関東	1923	踏報	
13-12	小倉 勉	千葉県上総下総地震調査報告文	1925	2	55	関東	1923	踏報	
13-13	清野信雄	千葉県附近地震調査報告文	1925	2	171	関東	1923	踏報	
13-14	地質調査所新潟地震調	新潟地震調査研究報告	1966	3		新潟	1964	踏報	
13-15	松野久也・西村嘉四郎	新潟地震地域北東部(村上・鶴岡)地区の地質構造	1966	3	3	新潟	1964	地質	
13-16	黒田和男・星野一男・他	新潟地震地域の地質構造図について(中間報告)	1966	3	9	新潟	1964	地質	
13-17	黒田和男	越後山脈のいわゆる古生層について	1966	3	10	新潟	1964	地質	
13-18	村井 勇	村上一鶴岡間の地域の構造解析	1966	3	15	新潟	1964	地質	
13-19	垣見俊弘・平山次郎	裂谷系からみた粟島の地質構造	1966	3	26	新潟	1964	地質	
13-20	鎌田清吉・細野武男・他	音波探査法による新潟地震震央付近海域の地質構造	1966	3	32	新潟	1964	地質	

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
13-21	尾原信彦・渡辺和衛・他	新潟震災地の土木地質		1966	3	43	新潟	1964	地質	
13-22	福田理・阿久津純・他	新潟深層試験井の坑井地質		1966	3	76	新潟	1964	地質	
13-23	佐野俊一・金谷弘	通産省アイントープ地盤沈下観測井に認められた新潟地震の影響		1966	3	84	新潟	1964	地盤	
13-24	瀬谷清・小川健三・他	新潟地震地域の重力および水準測量		1966	3	92	新潟	1964	重力	測量
13-25	黒田和男・鈴木孝・他	新潟地震前後における温泉の変動状況		1966	3	100	新潟	1964	地下水	
13-26	村下敏夫・野間泰二	新潟地震による胎内川下流域の被害および地下水水位の変動		1966	3	111	新潟	1964	被害	地下水
13-27	牧野登喜男	新潟地区における天然ガス坑井の水位変化		1966	3	119	新潟	1964	地下水	
13-28	須貝貞二・佐藤茂・他	新潟地震予察報告		1966	4		新潟	1964	地質	地変・踏報
<b>地質学雑誌</b>										
14-1	大森房吉	濃尾地震概報		1893	1	42	濃尾	1891	その他	踏報
14-2	大森房吉	濃尾地震概報 (つづき)		1893	1	99	濃尾	1891	その他	踏報
14-3	大森房吉	濃尾地震概報 (つづき)		1894	1	153	濃尾	1891	その他	踏報
14-4	大森房吉	濃尾地震概報 (つづき)		1894	1	215	濃尾	1891	その他	踏報
14-5	大森房吉	濃尾地震概報 (つづき)		1894	1	253	濃尾	1891	地変	
14-6	菅谷熊一郎	庄内に於ける文化の大地震		1894	1	293	象潟	1804	一般	
14-7	大森房吉	濃尾地震概報 (つづき)		1894	1	311	濃尾	1891	地変	
14-8		自慶長至安政、津軽地方の地震		1894	1	357			一般	
14-9		宝暦年間八戸大地震並洪水		1894	1	359	八戸	1763	被害	一般
14-10		根室地震景況		1894	1	369	釧路沖	1894	一般	
14-11	大森房吉	濃尾地震概報 (つづき)		1894	1	425	濃尾	1891	地変	断層
14-12	関谷清景	明治27年6月20日午後2時40分地震験測報告		1894	1	501	東京	1894	験測	
14-13	理科大学地震学教室	6月20日強震波線図		1894	1	531	東京	1894	験測	
14-14	大森房吉	明治27年1月10日地震の記		1894	1	571	濃尾	1894	一般	
14-15		両羽大地震		1894	2	73	庄内	1894	一般	
14-16		酒田近傍震災状況の一斑		1894	2	75	庄内	1894	被害	
14-17		酒田地震に於ける種々の現象		1894	2	76	庄内	1894	地変	
14-18	石井八万次郎	烏海山四近地質構造及び両羽地震		1894	2	87	庄内	1894	地質	

14-19	山崎直方	熊本の地震及阿蘇温泉両山の鳴動	1895 2	160	熊本	1889	火山	音響
14-20		陸羽大地震略報	1896 4	14	陸羽	1896	一般	
14-21		明治23年濃美大地震の影響に関する「ダビソン」氏の調査	1896 4	243	濃尾	1891	地活	明治24年濃尾の誤りか
14-22		4月30日長野県下の地震	1897 4	356	上高井	1897	一般	
14-23		長野地震	1897 4	357	上高井	1897	一般	
14-24	今村明恒	8月5日の地震と津浪	1897 4	445	三陸	1896	一般	津波
14-25	大森房吉	明治27年3月22日北海道大地震の余震に就きて	1898 5	465	釧路沖	1894	余震	
14-26	伊木常誠	5月12日の地震に就き仰台地方に於ける観察	1900 7	216	陸前	1900	一般	建被
14-27	福地信世	明治33年11月5日豆南諸島の大震	1901 〇	348	三宅島	1900	一般	
14-28	八谷彪一	明和3年の津軽地方大地震被害表	1902 9	322	津軽	1766	被害	
14-29	小藤文次郎	芸予地震の震源地	1906 13	117	芸予	1905	地質	
14-30	大森房吉	寛政4年温泉嶽の破裂	1908 15	447	島原	1792	火山	
14-31		江濃地震	1909 16	381	江濃	1909	一般	
14-32	駒田玄久雄	寛政4年肥前島原、眉山爆裂前後の状況に就て	1914 20	150	島原	1792	火山	
14-33	大橋良一	大正3年秋田地震の原因は山崩に非るか	1917 24	301	羽後仙	1914	火山	
14-34	大森房吉	寛政4年肥前島原温泉岳前山の崩潰に就きて	1918 25	256	島原	1792	山崩	火山、一般
14-35	T. Kato	Preliminary Notes on the Kwantó Earthquake in Japan, 9月1日に起れる地震の震源地に就きて	1923 30	17	関東	1923	一般	
14-36	柳原明十	The Iwatsuki Seismic Zone as a Factor of the Great Tokyo-根尾断層をめぐる地質構造	1923 30	448	関東	1923	一般	
14-37	B. Kotó	根尾断層をめぐる地質構造	1929 36	250	関東	1923	地質	
14-38	中村新太郎・別所文吉	昭和10年の静岡地震に就いて	1933 40	417	濃尾	1891	地質	日本地質学会 総会講演要旨
14-39	吉井正敏	伊豆新島の地質に就いて	1936 43	417	静岡	1935	一般	日本地質学会 総会講演要旨
14-40	津屋弘達	松山-佐川間の水準路線に沿う地質調査	1937 44	479	新島	1936	地質	日本地質学会 総会講演要旨
14-41	森本良平・湊 正雄・他	今市附近の地震による山地崩壊に就て	1950 56	173	南海	1946	地質	日本地質学会 総会講演要旨
14-42	柳 治一・芥川真知	濃尾平野付近の裂か糸と災害箇所配列との関連性について	1950 56	259	今市	1949	山崩	日本地質学会 第57年総会
14-43	衛藤俊治	地質時代の変位からみた新島地震時の粟島の變動	1962 68	399	濃尾	1891	地変	日本地質学会 第69年総会
14-44	中村一明・松田時彦		1965 71	358	新島	1964	地殻変	日本地質学会 第72年総会

番号	著者名	題名	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
14-45	垣見俊弘・平山次郎	裂罅系より復元した粟島付近の応力場	1965	71	370	新潟	1964	地震変	日本地質学会学術大会講演
14-46	茂木昭夫・金田一夫・他	佐渡北方の海底地形、底質ならびに新潟地震による粟島付近の海底	1965	71	381	新潟	1964	地震変	日本地質学会学術大会講演
14-47	本座栄一・奈須紀幸・他	新潟県粟島周辺の海底地下構造	1965	71	382	新潟	1964	地質	日本地質学会学術大会講演
<b>土木学会誌</b>									
15-1	井上禎之助	東京の地質に就て (講演)	1924	10	201	関東	1923	地質	
15-2	曾山親民	震災による京都市電車の被害並に応急処置 (講演)	1924	10	207	関東	1923	被害	
15-3	加賀山 学	震災による鉄道の被害並に応急処置 (講演)	1924	10	221	関東	1923	土被	
15-4	小川織三	震災による京都市水道の被害並に応急処置 (講演)	1924	10	229	関東	1923	土被	
15-5	竹内季一	震災による京都市道路橋梁の被害並に応急処置 (講演)	1924	10	239	関東	1923	土被	
15-6	安芸杏一	横浜港の震害と復旧工事 (講演)	1924	10	693	関東	1923	土被	
15-7	内務省横浜土木出張所	横浜市内輝突震害調査	1925	11	871	関東	1923	被害	
15-8	長久保俊夫	三陸地方の津浪の被害に就て	1933	19	968	三陸	1933	津被	
15-9	鉄道省工務局保線課	静岡地方国鉄震害概況	1935	21	1175	静岡	1935	土被	
15-10	嶋野貞三	清水港に於ける震害状況報告	1935	21	1177	静岡	1935	土被	
15-11	西 義一・鮫島 茂	静岡地方震害報告	1935	21	1469	静岡	1935	被害	
15-12	高井信一	秋田県下の震災を視察して (講演)	1939	25	1007	男鹿	1939	一般	被害
15-13	松村孫治	秋田県下の震災を視察して (講演)	1939	25	1017	男鹿	1939	一般	被害
15-14		北陸地震災害調査報告	1948	33	4	福井	1948	被害	
15-15	光藤康明	栃木県の震災に関する概報	1950	35	131	今市	1949	被害	
15-16	岡本舜三	栃木地震の時の板荷村役場床板の破壊について	1951	36	306	今市	1949	建被	
15-17		チリ地震津波の被害概況	1960	45	6	チリ	1960	津被	
15-18	岩崎敏夫・堀川清司	チリ地震津波とこれによる三陸地方災害の概況	1960	45	9	チリ	1960	津被	
15-19	大谷東平	津波の碑	1961	46	4	安政	1854	津被	一般
15-20	松尾春雄・松尾 博	日向灘地震による被害	1961	46	8	日向灘	1961	被害	
15-21	加藤勝行・伯野元彦	長岡地震被害調査報告	1961	46	8	長岡	1961	被害	

15-22	土木学会耐震工学委員会	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	52	北美濃	1961	一般	踏報
15-23	岸上冬彦	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	52	北美濃	1961	一般	
15-24	渡辺 亮・宮島圭司・他	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	53	北美濃	1961	山崩	
15-25	山下 宏・駒田敬一	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	55	北美濃	1961	土被	
15-26	池田康平	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	55	北美濃	1961	土被	
15-27	久保隆三郎	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	55	北美濃	1961	土被	
15-28	鶴飼孝造	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	55	北美濃	1961	土被	
15-29	高畑政信	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	58	北美濃	1961	土被	
15-30	野瀬正義	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	58	北美濃	1961	踏測	
15-31	吉田 登	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	59	北美濃	1961	踏測	
15-32	栗原栄一	北美濃地震について—1961年8月19日の地震調査報告より抜萃—	1963	48	10	59	北美濃	1961	踏測	
15-33	河上房義	宮城県北部地震による土木構造物の被害について	1963	48	11	31	宮城北	1962	土被	
15-34		新潟地震—その展望— 座談会	1964	49	8	12	新潟	1964	一般	
15-35	小野一良・喜内 敏・他	越前沖地震調査報告	1964	49	8	65	越前岬	1963	一般	
15-36	伯野元彦・浅田秋江	男鹿沖地震による被害—特に八郎潟干拓堤防について—	1965	50	3	24	男鹿沖	1964	土被	
15-37	土木学会耐震工学委員会	地震と列車の安全—新潟地震時の乗務員の列車停止アンケートより	1965	50	4	56	新潟	1964	その他	
<b>土木技術資料</b>										
16-1	渡 正亮・宮島圭司・他	北美濃地震による山地の崩壊について	1961	3	559		北美濃	1961	山崩	
16-2	多田安夫・松野三朗・他	東北地震被害調査 (I)	1962	4	417		宮城北	1962	被害	
16-3	多田安夫・松野三朗・他	東北地震被害調査報告 (II)	1962	4	460		宮城北	1962	被害	
16-4	建設省土木研究所	新潟地震調査速報	1964	6	301		新潟	1964	一般	土被
16-5	福岡正巳	新潟地震に思う	1964	6	394		新潟	1964	一般	
16-6	大久保忠良	新潟地震に思う—強震計の計画的配置について—	1964	6	396		新潟	1964	一般	
16-7	吉田 巖	新潟地震に思う	1964	6	397		新潟	1964	一般	
16-8	吉中竜之進	地盤と被害の—口話	1964	6	398		新潟	1964	地盤	土被
16-9	岡本隆一	新潟地震の印象	1964	6	399		新潟	1964	一般	
16-10	栗林栄一・岩崎敏男	道路橋における松代群発地震の強震観測結果	1966	8	477		松代	1965	その他	

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
	(建設省) 土木研究所報告									
17-1	建設省土木研究所	昭和23年6月28日北陸震災調査報告		1949	78		福井	1948	被害	
17-2	大久保忠良・他	日向灘地震災害の調査報告		1962	113	91	日向灘	1961	被害	
17-3	福岡正巳	新潟地震調査報告 第1編 総論		1965	125	1	新潟	1964	一般	
17-4	寺島 敦・小島圭二・他	新潟地震調査報告 第2編 新潟地震と地盤の特性		1965	125	5	新潟	1964	地盤	
17-5	吉川秀夫・山村和也・他	新潟地震調査報告 第3編 河川関係の被害		1965	125	83	新潟	1964	土被	
17-6	伊吹山四郎・市原 薫・他	新潟地震調査報告 第4編 道路およびトンネルの被害		1965	125	141	新潟	1964	土被	
17-7	高田孝信・多田安夫・他	新潟地震調査報告 第5編 橋梁関係の被害		1965	125	173	新潟	1964	土被	
17-8	杉本昭典・村上 健	新潟地震調査報告 第6編 下水道関係の被害		1965	125	321	新潟	1964	土被	
	<b>Geophys. Magazine</b>									
18-1	S. I. Kunitomi	Note on the destructive Earthquake of Middle Etigo occurred		1928	1	238	関原	1927	観測	発機
18-2	S. I. Kunitomi	Note on the North Tango Earthquake of March 9, 1927.		1929	2	65	丹後	1927	一般	
18-3	S. I. Kunitomi	Seismometrical Study of the great Kwanto Earthquake		1930	3	149	関東	1923	観測	
18-4	K. Hayata	Seismometrical Study of the Sagami Earthquake of July 26th,		1931	4	39	相模	1929	観測	
18-5	S. I. Kunitomi	Notes on the North Idu Earthquake of Nov. 26, 1930.		1931	4	73	伊豆	1930	一般	
18-6	S. Fujiwhara	On the Mechanism of North Izu Earthquake.		1932	5	171	伊豆	1930	発機	
18-7	Y. Oka	Note on the Lake Tazawa Earthquake of Jan. 9, 1931.		1932	6	213	田沢湖	1931	一般	
18-8	K. Sagisaka	On the Motion of the Seismic Origin of the North Idu		1932	6	223	伊豆	1930	発機	
18-9	K. Hayata	Note on the Destructive Earthquake of Hyūga-nada on Nov.		1932	6	363	日向灘	1931	一般	
	<b>IISSE Earthquake Report</b>									
19-1		The Niigata Earthquake 16 June, 1964 and Resulting Damage		1965	1		新潟	1964	建被	一般
19-2	Omote	The Niigata Earthquake.		1965	1	2	新潟	1964	一般	
19-3	Nakagawa	Accelerograms Obtained by SMAC and DC Strong Motion		1965	1	18	新潟	1964	観測	
19-4	Nakagawa	Extent of Damage.		1965	1	24	新潟	1964	被害	
19-5	Kishida	Topography and Subsoil Condition of Niigata City.		1965	1	35	新潟	1964	地質	地盤
19-6	Omote and Nakajima	Measurement of Microtremors.		1965	1	40	新潟	1964	地盤	

19-7	Nakagawa	Damage to Reinforced Concrete Buildings in Niigata City.	1965	1	44	新潟	1964	建被	
19-8	Kishida et al.	Analytical Considerations on Damage to Reinforced Concrete	1965	1	53	新潟	1964	建被	
<b>Jap. J. Astro. Geophys.</b>									
20-1	K. Shiratori	Notes on the Destructive Earthquake in Sagami Bay on the	1925	2	173	関東	1923	一般	
20-2	A. Imamura	On the Seismic Activity of the Kwantó District.	1928	5	127			地活	
20-3	A. Imamura	On the Seismic Activity of Central Japan.	1928	6	119			地活	
20-4	A. Imamura	On the Chronic and Acute Earth-tiltings in the Southern Part	1930	8	29	安政	1854	傾斜	
20-5	A. Imamura	A Seismometric Study of the North Idu Earthquake of	1931	8	51	伊豆	1930	一般	
20-6	A. Imamura	On the Block Movements that Preceded and Accompanied the	1931	8	177	千葉	1928	地殻変	
20-7	A. Imamura et al.	On the Seiches of Lake Asino-ko with Special Reference to	1932	9	115	伊豆	1930	セイシ	
20-8	Y. Kató	Seismic and Volcanic Activities and Changes in the Earth's	1933	10	249	関東	1923	地電磁	
20-9	M. Ishimoto	Preliminary Notes on the Tunami of March 2, 1933, (G. M. T.)	1933	11	1	三陸	1933	津波	
20-10	T. Matuzawa et al.	Horizontal Movement of Water in the Tunami of March 3,	1933	11	11	三陸	1933	津波	
20-11	A. Imamura et al.	The Sanriku Tunami of 1933.	1933	11	17	三陸	1933	津波	
20-12	A. Imamura	Past Tunamis of the Sanriku Coast.	1934	11	79	三陸	1933	津波	
20-13	A. Imamura	Further Notes on the Northward Movement of Crustal	1934	11	95	西埼玉	1931	地殻変	
20-14	Y. Kató	Seismic and Volcanic Activities and Changes in the, (II)	1934	12	1	濃尾	1891	地電磁	
20-15	Y. Kató	Seismic and Volcanic Activities and Changes in the, (III)	1935	12	237	三陸	1933	地電磁	
20-16	T. Fukutomi	On Crustal Deformations in Southern Idu Peninsula.	1935	12	279	{伊豆 元祿	1930 1703	地殻変	
20-17	A. Imamura	On Past Seismic Activities in Japan.	1938	15	201			地活	
20-18	A. Imamura	On the Seismic Activity of the Mutu-Dewa District in Early	1939	16	79			地活	
<b>科学</b>									
21-1	石川俊夫	5月29日地震後の屈斜路地方見聞	1938	8	409	屈斜路	1938	一般	
21-2	本多弘吉	11月5日福島県東方沖の地震及び同余震に就て(概報)	1938	8	598	塩屋沖	1938	一般	

白鳳(684)  
宝永(1707)  
陸羽(1896)  
上高井(1897)  
芥子(1905)  
伊豆(1930)  
三陸(1933)  
奥中山(1933)  
十日町(1933)  
一般  
余震

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
21-3	島田昌一	地震による苗代の被害	地震による苗代の被害	1939	9	279	男鹿	1939	被害	
21-4	今村学郎	今年7月15日の長野地震とその直前に於ける栃尾又温泉の変化に因	今年7月15日の長野地震とその直前に於ける栃尾又温泉の変化に因	1941	11	372	長野	1941	地下水	
21-5	佐々憲三	鳥取大震前後の土地傾斜変動	鳥取大震前後の土地傾斜変動	1944	14	220	鳥取	1943	傾斜	
21-6	永田 武	昭和21年12月南海大地震の調査研究結果から	昭和21年12月南海大地震の調査研究結果から	1947	17	163	南海	1946	一般	
21-7	藏田延男	地震災害と防災地質	地震災害と防災地質	1964	34	594	新潟	1964	地質	防災
21-8	最上武雄	新潟地震と砂の流動化現象	新潟地震と砂の流動化現象	1965	35	140	新潟	1964	地盤	
科 学 読 売										
22-1		新しい災害—新潟地震の教えるもの— (座談会)	新しい災害—新潟地震の教えるもの— (座談会)	1964	16	7 27	新潟	1964	被害	
22-2		新潟地震の根拠を探る—「よみうり号」の成果— (グラフィック)	新潟地震の根拠を探る—「よみうり号」の成果— (グラフィック)	1964	16	12 5	新潟	1964	その他	
22-3	森本良平	新潟地震の地質調査	新潟地震の地質調査	1964	16	12 21	新潟	1964	地質	
22-4	奈須紀幸・木座栄一・他	震源地付近の海底地下構造	震源地付近の海底地下構造	1964	16	12 27	新潟	1964	地質	
22-5	笠原慶一	重力異常	重力異常	1964	16	12 31	新潟	1964	重力	
22-6	川村文三郎・茂木昭夫	粟島付近海底の地震変動	粟島付近海底の地震変動	1964	16	12 34	新潟	1964	地震	
22-7	谷田尊治	震源地・栗島近くの漁業	震源地・栗島近くの漁業	1964	16	12 37	新潟	1964	その他	被害
22-8		新潟地震海底学術調査の概要	新潟地震海底学術調査の概要	1964	16	12 40	新潟	1964	一般	
22-9	小泉安則	被災建て物 (新潟市) の復旧方法	被災建て物 (新潟市) の復旧方法	1964	16	12 55	新潟	1964	一般	
建 築 研 究 報 告										
23-1		新潟地震による建築物の被害—とくに新潟市における鉄筋コンクリ	新潟地震による建築物の被害—とくに新潟市における鉄筋コンクリ	1965	42		新潟	1964	建設	
23-2	表 俊一郎	新潟地震と地表変動—震源・発震時・地震規模	新潟地震と地表変動—震源・発震時・地震規模	1965	42	3	新潟	1964	験測	
23-3	表 俊一郎	新潟地震と地表変動—震度階分布	新潟地震と地表変動—震度階分布	1965	42	3	新潟	1964	その他	
23-4	表 俊一郎	新潟地震と地表変動—新潟市における地震動	新潟地震と地表変動—新潟市における地震動	1965	42	3	新潟	1964	験測	
23-5	表 俊一郎	新潟地震と地表変動—前震と余震	新潟地震と地表変動—前震と余震	1965	42	7	新潟	1964	地活	前・余震
23-6	表 俊一郎	新潟地震と地表変動—過去の地震との比較	新潟地震と地表変動—過去の地震との比較	1965	42	10	新潟	1964	一般	
23-7	表 俊一郎	新潟地震と地表変動—地震に伴った地震変動	新潟地震と地表変動—地震に伴った地震変動	1965	42	10	新潟	1964	地震	
23-8	吉成元伸	新潟地震と地表変動—地震に伴った地表変動	新潟地震と地表変動—地震に伴った地表変動	1965	42	15	新潟	1964	地震	
23-9	村田政雄	新潟市付近の地形・地質および地盤—地形	新潟市付近の地形・地質および地盤—地形	1965	42	16	新潟	1964	地質	



23-10	大崎順彦	新潟市付近の地形・地質および地盤—地質	1965	42	19	新潟	1964	地質
23-11	大崎順彦・国安桂子	新潟市付近の地形・地質および地盤—地盤	1965	42	19	新潟	1964	地盤
23-12	表 俊一郎・中島直吉	新潟市付近の地形・地質および地盤—地盤の常時微動と卓越周期	1965	42	26	新潟	1964	地盤
23-13	大崎順彦	被害—人的被害	1965	42	37	新潟	1964	被害
23-14	大崎順彦	被害—建物被害	1965	42	37	新潟	1964	被害
23-15	表 俊一郎	被害—一般—津波	1965	42	37	新潟	1964	津波
23-16	表 俊一郎・伊藤幸爾郎	被害—一般—堤防決壊と浸水の区域	1965	42	45	新潟	1964	土被
23-17	上村克郎	被害—一般—木造建築物の被害	1965	42	46	新潟	1964	建被
23-18	木村藏司・川島謙一	被害—一般—コンクリートブロック造, その他特殊構造の被害	1965	42	49	新潟	1964	建被
23-19	牧野 稔	被害—一般—公営住宅の被害	1965	42	57	新潟	1964	建被
23-20	川越邦雄・茶谷正洋	被害—一般—火災の発生状況と延焼	1965	42	61	新潟	1964	火災
23-21	大崎順彦	新潟市およびその周辺における鉄筋コンクリート造建築物の被害—調	1965	42	68	新潟	1964	建被
23-22	中野清司	新潟市およびその周辺における鉄筋コンクリート造建築物の被害—主	1965	42	70	新潟	1964	建被
23-23	大崎順彦	新潟市およびその周辺における鉄筋コンクリート造建築物の被害—被	1965	42	73	新潟	1964	建被
23-24	大崎順彦	新潟市およびその周辺における鉄筋コンクリート造建築物の被害—沈	1965	42	100	新潟	1964	建被
23-25	広沢雅也	新潟市およびその周辺における鉄筋コンクリート造建築物の被害—傾	1965	42	102	新潟	1964	建被
23-26	上村克郎	新潟市およびその周辺における鉄筋コンクリート造建築物の被害—内	1965	42	131	新潟	1964	建被
23-27	広沢雅也	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—建築物の形状と被害	1965	42	137	新潟	1964	建被
23-28	岸田英明	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—基礎スラブと被害	1965	42	143	新潟	1964	建被
23-29	岸田英明・吉成元伸	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—地梁と被害	1965	42	145	新潟	1964	建被
23-30	大崎順彦	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—地盤の特性と被害	1965	42	151	新潟	1964	地盤
23-31	小泉安則	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—地震による地盤の変	1965	42	155	新潟	1964	地盤
23-32	大崎順彦・表 俊一郎・他	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—被害区域に対する考	1965	42	161	新潟	1964	被害
23-33	中川恭次・和泉正哲	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—建築物の地震応答	1965	42	168	新潟	1964	建振
23-34	品川多美二	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—建築物の傾斜の進行に	1965	42	175	新潟	1964	建被
23-35	大崎順彦	鉄筋コンクリート造建築物の被害に対する考察—被害の原因に対する	1965	42	177	新潟	1964	建被
23-36	久田俊彦	新潟市における建物被害の特色	1965	42	178	新潟	1964	建被
23-37	久田俊彦	被害建築物に対する対策について	1965	42	178	新潟	1964	建被

番号	著者名	題名	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
24-1	建築雑誌	先月18日ノ地震	1889	3	20	川崎	1889	建被	
24-2	田中豊輔	震災地実況報告(名古屋第3師団司令部ノ分)	1892	6	7	濃尾	1891	建被	踏報
24-3	滝 大吉	各種建物ニ因シ近來ノ地震ノ結果	1892	6	63	濃尾	1891	建被	1892 92~99
24-4	岐阜測候所	岐阜ノ地震に就テ	1892	6	347	濃尾	1891	一般	" 132~137
24-5		6月20日強震波線図	1894	8	249	東京	1894	験測	
24-6		煉瓦烟突危害予防等調査報告	1894	8	306	東京	1894	被害	
24-7		一昨夜ノ強震	1895	9	47	利根川	1895	験測	被害
24-8		地震学教室地震験測	1895	9	48	利根川	1895	験測	
24-9	塚本 靖	両羽震災被害ノ状況付耐震私見	1895	9	85	庄内	1894	被害	耐震
24-10	中村達太郎	庄内震災地巡廻報告	1895	9	159	庄内	1894	一般	震災予防調査
24-11	曾彌達藏	山形県下震害家屋取調報告	1895	9	167	庄内	1894	建被	会報告第3号
24-12	震災予防調査会	東京震害状況	1895	9	235	東京	1894	被害	
24-13		山形県震災被害之図	1895	9	巻末	庄内	1894	被害	
24-14	野口孫市	庄内地震被害調査報告	1896	10	1	庄内	1894	被害	震災予防調査
24-15	塚本 靖・他	1月の東京地震報告	1896	10	36	利根川	1895	一般	会報告第7号
24-16		地震被害	1896	10	241	庄内	1894	被害	
24-17		地震被害	1896	10	242	庄内	1894	被害	
24-18	石井敬吉	岩手秋田二県建物震災概報	1896	10	245	庄内	1894	建被	
24-19	伊藤為吉	海嘯被害建築物の調査に就テ	1896	10	301	三陸	1896	津被	海嘯
24-20	中村達太郎	陸羽震災地巡廻報告	1897	11	1	庄内	1894	一般	
24-21	曾彌達藏	岩手秋田両県下震災家屋調査報告	1897	11	74	庄内	1894	建被	
24-22	武田五一	近江震災所感	1909	23	415	江濃	1909	一般	
24-23	今村明恒	最近ノ近江地震に就テ	1909	23	502	江濃	1909	一般	
24-24	木村調吉	江濃震災地巡見記	1909	23	521	江濃	1909	一般	
24-25	保岡勝也	江濃震災地視察談の一節	1909	23	541	江濃	1909	一般	
24-26		東京の震災	1911	25	609	東京湾	1911	一般	
24-27	内田祥三	鹿児島市に於ける建築物の構造と其被害 (I), (II), (III)	1915	29	23, 90, 137	桜島	1914	建被	

24-28	堀越三郎	長野県大町地方震災調査報告	1919	33	231	大町	1918	建被
24-29	田中大作	大正11年4月26日の地震に依る神奈川県下に於ける震災被害調査報告	1922	36	42	浦賀海	1922	被害
24-30	内藤多仲・伊部貞吉・他	大正11年4月26日ノ地震ニ依ル東京ニ於ケル震災被害調査報告	1922	36	46	浦賀海	1922	被害
24-31	今村明恒	今回の地震に就て	1923	37	401	関東	1923	一般
24-32	永田念郎	建物の震動	1923	37	412	浦賀海	1922	建振
24-33	井上禎之助	地質と震害	1923	37	414	関東	1923	地質
24-34	田中正義	震災火災の跡	1923	37	429	関東	1923	火災
24-35	山下寿郎	鉄骨煉瓦造鉄筋コンクリート造の震害に就て	1923	37	442	関東	1923	建被
24-36		関東大震災	1923	37	451	関東	1923	一般
24-37		大震災被害建築物(附図)	1923	37	卷末	関東	1923	建被
24-38	関野貞	建築史上より見たる古社寺の災害	1924	38	129	関東	1923	建被
24-39	尾崎久助	震災及びそれに伴へる火災に依る建築物被害の統計	1924	38	319	関東	1923	建被
24-40	田中大作	横浜市ニ於ケル建物被害統計	1924	38	327	関東	1923	建被
24-41	松井宗一	文部省所管建築物の被害調査一般	1924	38	335	関東	1923	建被
24-42	塚本靖	埋立地と震害	1924	38	449	518	1923	地盤
24-43	佐藤好	煉瓦建築の震害	1924	38	449	525	1923	建被
24-44	竹中二郎	工場の震害	1924	38	449	550	1923	被害
24-45	高木源之助	工場の震害	1924	38	449	558	1923	被害
24-46	土居松市	震害とコンクリート	1924	38	449	562	1923	その他
24-47	薬師寺主計	建築物の災害	1924	38	449	570	1923	建被
24-48	内藤多仲	鉄骨構造災害	1924	38	449	574	1923	建被
24-49	大熊喜邦	安政の地震火事と大正震災	1924	38	449	581	1854	火災
24-50	井上一之	東京市の火災	1924	38	449	591	1923	火災
24-51	北沢五郎	東京市に於ける一般災害の概況	1924	38	449	595	1923	被害
24-52	薬師寺主計	陸軍建造物の震害に就て	1924	38	633	関東	1923	建被
24-53	井上一之	帝都大火災誌	1924	38	759	関東	1923	火災
24-54	永沢毅一	平塚海軍火薬廠に於ける震害	1924	38	839	関東	1923	被害
24-55	三輪幸左衛門	横須賀地方に於ける震災被害建築物に就て	1924	38	848	関東	1923	建被
24-56	大島三郎・上浪朗	大正12年9月大震災に於ける通信省所管建築物の震災被害報告	1926	40	813	関東	1923	建被

38卷卷末

関東(1923)

番号	著者	題名	目次	西暦年	巻号	頁	地名	西暦年	分類	備考
24-57	石井英爾	奥丹後震災地に於ける工兵隊の活動		1927	41	288	丹後	1927	その他	
24-58	永田愈郎	鉄筋混凝土造建築物被害調査報告		1927	41	325	関東	1923	建被	
24-59	今村明恒	丹後の大地震		1927	41	591	丹後	1927	一般	
24-60	永田愈郎	丹後地方の震災に就て		1927	41	602	丹後	1927	被害	
24-61	尾崎久助	震災地調査所感		1927	41	628	丹後	1927	建被	
24-62	北沢五郎	木造被害調査報告		1927	41	1409	関東	1923	建被	
24-63	尾崎久助	大正12年の大震災に於ける各種建築構造の火害について		1927	41	1460	関東	1923	火災	建被
24-64	吉田宏彦・井村次一郎	昭和5年10月17日の北陸地方の地震に就て		1930	44	2191	加賀南	1930	一般	踏報
24-65	田辺平学・武藤清・他	昭和5年11月26日豆相地方建築物の震害に就て		1931	45	97	伊豆	1930	建被	
24-66	谷口忠	豆相地方学校建築の震害に就て		1931	45	173	伊豆	1930	建被	
24-67	田辺平学・二見秀雄・他	昭和6年9月21日北関東地方建築物の震害に就て		1931	45	1469	西埼玉	1931	建被	
24-68	菅哲夫	伊豆農家耐震性の統計的研究		1933	47	29	伊豆	1930	建被	耐震
24-69	浜田稔・桑田貞一郎・他	三陸津浪に於ける家屋被害について		1933	47	833	三陸	1933	津被	
24-70	大村巳代治・他	静岡地方建築物の震害に就て		1935	49	1296	静岡	1935	建被	
24-71	武藤清・井坂富士雄	昭和10年7月11日静岡地方地震に於ける単一物の被害並びに住家の		1935	49	1337	静岡	1935	被害	
24-72	河野輝夫・高敷良二・他	昭和14年5月1日男鹿半島地震に於ける建築物の被害に就て		1939	53	1022	男鹿	1939	建被	
24-73	建築学会震災調査隊	鳥取県震災調査報告		1944	58	79	鳥取	1943	被害	
24-74	日本建築学会・他	北陸震災調査概報		1948	63	744	福井	1948	被害	
24-75	十勝沖地震調査委員会	十勝沖地震調査概報 第1部 北海道		1952	67	787	十勝沖	1952	被害	
24-76	東北大学工学部建築工学	十勝沖地震調査概報 第2部 東北地方		1952	67	787	十勝沖	1952	一般	
24-77	坂部保治	福井地震の体験		1960	75	353	福井	1948	一般	
24-78	広野卓蔵	チリ地震の概要		1960	75	601	チリ	1960	一般	
24-79	梅村魁	チリ地震について		1960	75	607	チリ	1960	一般	
24-80		チリ地震災害		1960	75	613	チリ	1960	津被	写真集
24-81		チリ地震津波災害調査報告		1960	75	617	チリ	1960	津被	
24-82	大沢胖	長岡地震津波災害調査報告		1961	76	301	長岡	1961	被害	
24-83	福島正人・立川正夫・他	日向灘地震災害調査報告		1961	76	305	日向灘	1961	被害	
24-84		長岡地震災害写真		1961	76	317	長岡	1961	被害	

24-85									日向灘	1961	76	319	日向灘	1961	被害
24-86	日本建築学会東北支部	日向灘地震災害写真	宮城県北部地震被害概報	新潟の災害に思う	新潟地震と日本建築学会の責任	新潟地震概況	東北県下の一般建築物の被害	新潟県下の一般建築物の被害	鉄筋コンクリート建築物の被害と地盤の異状現象について	1962	77	497	宮城北	1962	被害
24-87	磯村英一									1964	79	527	新潟	1964	被害
24-88	浜田 稔									1964	79	529	新潟	1964	その他
24-89	広野卓蔵									1964	79	530	新潟	1964	一般
24-90	志賀敏男									1964	79	533	新潟	1964	建設
24-91	大沢 胖									1964	79	536	新潟	1964	建設
24-92	大崎順彦									1964	79	538	新潟	1964	建設
24-93	入沢 恒									1964	79	543	新潟	1964	被害
24-94										1964	79	547	新潟	1964	被害
24-95	永井久雄									1964	79	605	新潟	1964	耐震
24-96	大沢 胖・森下利三・他									1965	80	535	静岡	1965	建設
気象集誌															
25-1										1882	3	32	高知	1882	一般
25-2										1889	8	554	熊本	1889	一般
25-3										1889	8	626	大隅	1889	一般
25-4										1890	9	63	熊本	1889	一般
25-5	あ, け,									1890	9	171	犀川	1890	一般
25-6										1890	9	455	鬼怒川	1890	一般
25-7	湯沢中頼									1890	9	617	宇都宮	1888	地活
25-8										1891	10	51	熊本	1889	余震
25-9										1891	10	57		1891	一般
25-10	和田雄治									1891	10	597	濃尾	1891	津波
25-11	馬場信倫									1891	10	601	濃尾	1891	海況
25-12	前田直吉									1891	10	621	濃尾	1891	一般
25-13	前田直吉									1892	11	30	濃尾	1891	一般
25-14										1892	11	80	濃尾	1891	その他
25-15	岐阜測候所									1892	11	406	濃尾	1891	地活

p. 678  
1891 XI 7  
1891 XI 17

番号	著者	著者名	題	日	西曆年	卷号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
25-16	陳株次郎		濃尾地震概況		1894	13	37	濃尾	1891	一般	
25-17	井口龍太郎		大震後岐阜東濃ノ地ハ殊ニ擾乱セル哉		1894	13	70	濃尾	1891	余震	
25-18	浅野 修		名古屋地震回数		1894	13	92	濃尾	1891	余震	
25-19	浅野 修		愛知ノ地震回数		1894	13	144	濃尾	1891	余震	p. 209
25-20			6月20日関東ノ強震		1894	13	325	東京	1894	一般	
25-21	浅野 修		濃尾ノ余震		1895	14	145	濃尾	1891	余震	
25-22	前田直吉		多度津ノ地震		1895	14	495	瀬戸内	1895	一般	
25-23			明和8年八重山群島ノ海嘯		1896	15	262	明和	1771	津波	
25-24			三陸ノ海嘯		1896	15	289	三陸	1896	津波	
25-25			謹テ巨智部博士ノ高教ヲ仰ク		1896	15	370	三陸	1896	津波	
25-26			東北海嘯ノ余波		1896	15	418	三陸	1896	津波	
25-27			陸羽震災前地球磁力ノ変動		1896	15	460	陸羽	1896	津報	
25-28			陸羽大震ノ影響(?)		1896	15	557	陸羽	1896	地電磁	
25-29	大森房吉		明治27年3月22日北海道大地震ノ余震ニ就テ		1898	17	411	釧路沖	1894	余震	
25-30	池上福吉		陸前地方ノ強震ニ就テ		1900	19	347	陸前	1900	一般	
25-31	無名氏		内海中部ノ強震概況		1905	24	223	芸予	1905	一般	
25-32	水也生		東京湾内の強震 本年2月24日		1906	25	117	東京湾	1906	一般	踏報
25-33			江濃地方ノ烈震		1909	28	301	江濃	1909	一般	
25-34	池上福吉		近江地震ニ就テ		1909	28	307	江濃	1909	一般	
25-35			日向遠洋ノ地震		1909	28	407	日向灘	1909	一般	
25-36	大森房吉		明治44年6月15日北部琉球の激震		1911	30	282	喜界島	1911	一般	
25-37	芝野 彊		奄美大島附近に発したる大震の波動に就て		1912	31	61	喜界島	1911	一般	
25-38	大森房吉		大正元年8月17日夜の上田強震に就きて		1912	31	322	上田	1912	一般	
25-39			大正2年6月29日及30日の鹿兒島附近の地震		1913	32	300	鹿兒島	1913	一般	
25-40	鹿兒島測候所		桜島山の爆發噴火		1914	33	59	桜島	1914	火山	
25-41	長谷川 謙		秋田県下の地震概況		1914	33	181	羽後仙	1914	一般	
25-42	大森房吉		桜島強震及び秋田地震の震原地の測定		1914	33	186	桜島	1914	一般	
25-43	石田雅生		出雲東部の強震に就て		1915	34	61	出雲	1914	一般	羽後仙(1914)

25-44	佐々木鶴藏	大正3年11月15日高田強震に就て	1916 35	147	高田	1914	一般
25-45	長谷川 謙	大正4年11月1日三陸沖に發現せし小津浪の速度	1916 35	220	石巻沖	1915	津波
25-46		大正5年11月26日神戸附近の地震	1917 36	26	明石	1916	一般
25-47	K. Haesgawa	The Earthquake of Ensyû on May 18, 1917.	1917 36	64	静岡	1917	一般
25-48		大正6年5月18日遠州の地震	1917 36	276	静岡	1917	一般
25-49	中村左衛門太郎	大町附近の地震に就きて(第一報)	1918 37	390	大町	1918	一般
25-50	重富剛策	大正7年11月8日父島二見港内に起れる津浪	1918 37	404	エトロ	1918	津波
25-51	中村左衛門太郎	大町附近の地震に就きて(第二報)	1919 38	41	大町	1918	一般
25-52	中村左衛門太郎	大町附近の地震に就きて(第三報)	1919 38	147	大町	1918	一般
25-53	中村左衛門太郎・他	備後三次附近の地震に就て(第一報)	1919 38	395	三次	1919	一般
25-54	中村左衛門太郎・他	備後三次附近の地震に就て(第二報)	1920 39	134	三次	1919	一般
25-55	牛山高見	12月8日夜千葉県印旛沼附近の小破壊的地震に就きて	1922 41	4	竜ヶ崎	1921	一般
25-56	中村左衛門太郎	4月26日の東京附近の地震に就て	1922 41	139	浦賀海	1922	一般
25-57	中村左衛門太郎	千々石灘地震に就て	1923 ii	1	島原	1922	一般
25-58	中村左衛門太郎	大地震の観測	1923 ii	153	関東	1923	一般
25-59	萩原 寿	9月1日横浜の烈震	1923 ii	156	関東	1923	一般
25-60	平野烈介	大正12年9月日誌	1923 ii	159	関東	1923	その他
25-61		震災ト中央气象台 大震に依る予報係の被害と応急処置	1923 ii	169	関東	1923	その他
25-62	中央气象台予報係藤原	大震当時の気象観測	1923 ii	177	関東	1923	その他
25-63	中央气象台測候掛	大震災後の予報及警報実況	1924 ii	2	6	6	発機
25-64	梶岡百樹	地形の渦巻と相模灘大地震	1924 ii	2	77	77	余震
25-65	藤原咲平	関東地方大地震の余震研究(熊谷にて)	1924 ii	2	88	88	海況
25-66	平野烈介	大震当日の午後銚子海岸に於ける波浪の状況及潮候に関する報告	1924 ii	2	91	91	セイシ
25-67	銚子測候所	9月1日の大震と中禅寺湖水の変位	1924 ii	2	116	116	験測
25-68	坂本豹二	関東大地震の初動伝播速度と震源域	1924 ii	2	199	199	統計
25-69	平野烈介	関東大地震後の地震と気圧及潮位	1925 ii	3	201	201	験測
25-70	中村左衛門太郎	但馬地震に於けるモホロビチツク波に就いて	1926 ii	4	301	301	験測
25-71	和達清夫	大正15年8月3日の東京湾地震に就いて					
25-72	鷺坂清信・佐藤秀雄						

その他  
被害

番号	著者名	題	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
25-73	国富信一	3月7日の北丹後地震	1927	ii 5	43	丹後	1927	一般	
25-74	国富信一	3月7日の北丹後地震の験震学的考察	1927	ii 5	173	丹後	1927	験測	
25-75	国富信一	昭和2年10月27日の中越地震調査報告 (中央気象台彙報)	1928	ii 6	59	関原	1927	一般	
25-76	齋坂清信	余震のエネルギー	1928	ii 6	284	丹後	1927	余震	
25-77	齋坂清信	昭和3年5月21日東京湾地震調査 (中央気象台彙報) (付, 地震記)	1928	ii 6	326	千葉	1928	一般	
25-78	藤原咲平・高山威雄	関東大地震の機巧について	1929	ii 7	35	関東	1923	発機	
25-79	本多弘吉	北伊豆及び伊東地震の初動並に記象型に就て (中央気象台彙報)	1931	ii 9	293	伊豆	1930	発機	
25-80	武田京一・藤原咲平	相模湾底の仮想断層について	1932	ii 10	713	関東	1923	断層	中央気象台彙報
25-81	藤重一彦	静岡強震の被害分布に就いて	1936	ii 14	197	静岡	1935	被害	
25-82	藤原咲平・正野重方・他	静岡強震の被害分布に因する一考察	1936	ii 14	200	静岡	1935	被害	
25-83	広野卓蔵	大正12年の関東大地震に依る東京湾の振動に就て	1936	ii 14	525	関東	1923	被害	
25-84	吉松隆三郎	昭和11年12月27日伊豆新島強震及び同年10月26日安房野島崎沖頭著	1937	ii 15	158	新島	1936	地震	「X 26」野島崎(1936)
25-85	吉松隆三郎	昭和13年1月12日紀伊水道強震と地電位差の異常	1938	ii 16	295	田辺湾	1938	地震	中央気象台彙報15(1938)
京都大学防災研究所年報									
26- 1	小沢泉夫	チリ津波による土地のひずみの観測	1961	4	36	チリ	1960	伸縮	傾斜伸縮
26- 2	田中 豊・田中寅夫	チリ地震津波による土地の傾斜及び伸縮変化	1961	4	45	チリ	1960	傾斜	
26- 3	吉川宗治・島 通保・他	新潟地震被災地における弾性波探査	1965	8	11	新潟	1964	地盤	
26- 4	吉川宗治・島 通保・他	新潟地震被災地における人為加振による地盤調査	1965	8	19	新潟	1964	地盤	
26- 5	吉川宗治・古沢 保・他	新潟地震余震観測	1965	8	27	新潟	1964	余震	
26- 6	若國吉一・安藤直次郎	新潟地震における産業災害調査報告	1965	8	177	新潟	1964	被害	
新潟応用地質研究誌									
27- 1		新潟地震の概要	1964	10	1	新潟	1964	一般	
27- 2	西田彰一・茅原一也	新潟地震の地盤災害について	1964	10	7	新潟	1964	被害	天然ガス
27- 3	百武松見・石橋輝樹	新潟地震による県下各地の被害について	1964	10	17	新潟	1964	被害	
27- 4	百武松見・藤間昭夫	新潟市周辺の土地地盤調査報告	1964	10	27	新潟	1964	地盤	
27- 5	長谷川和夫・佐藤 宏・他	新潟地震時に地盤沈下観測井にあらわれた記録について	1964	10	35	新潟	1964	地下水	



27-6	岩永 伸	新潟地震の地すべりにあたえた影響について—農地局指定地区にお	1964	10	43	新潟	1964	地ニ	
27-7	高橋文一	県営山ノ下工業用水震害復旧の概要—主として地下埋設管の被害に	1964	10	51	新潟	1964	被害	
日本建築学会論文報告集									
28-1	吉野 栄	弟子屈地震によるブロック建築の被害について	1959	63 I	493	弟子屈	1959	建被	
28-2	志賀敏男・小川淳二	チリ—地震津波の大船渡市海岸等における勢力について	1961	69 I	417	チリ	1960	津波	
28-3	金多 潔・竹内吉弘・他	新潟地震による建築物被害の第1次調査報告	1964	103	133	新潟	1964	建被	
28-4	森井 孝・田沢光弥	新潟地震による新潟鉄道病院の被害とその復旧工事	1965	118	1	新潟	1964	建被	
28-5	大沢 胖・森下利三・他	昭和40年4月20日の駿河湾の地震による鉄筋コンクリートビル窓が	1966	121	72	静岡	1965	建被	
28-6	竹内盛雄・高橋 徹・他	地震動に対する高層建築物の振動性状に関する基礎的研究（新潟地	1965	号外	137	新潟	1964	建振	
28-7	横尾義貫・桑原 徹・他	名古屋付近の地盤と震害に関する研究（その1. とくに濃尾大地震	1965	号外	166	濃尾	1891	地盤	
28-8	横尾義貫・桑原 徹・他	名古屋付近の地盤と震害に関する研究（その2. 南部極軟弱層と東	1965	号外	167	東南海	1944	地盤	
28-9	木村栄一・佐藤敬吾・他	松代地震 SMAC 観測記録（長野市外電話局）	1966	号外	167	松代	1965	験測	
28-10	渡辺清治・角田智彦	松代地方の常時微動と地震動	1966	号外	168	松代	1965	地盤	
28-11	横尾義貫・桑原 徹・他	名古屋付近の地盤と震害に関する研究（その5. 南部地区の地盤条	1966	号外	378	東南海	1944	地盤	
農業土木試験場技報									
29-1	金子 良	新潟地震調査報告	1965	F1		新潟	1964	一般	
29-2	根岸久雄	農地災害の特質	1965	F1	1	新潟	1964	被害	
29-3	中川昭一郎	被災地のボーリング調査および水田土層の被害	1965	F1	17	新潟	1964	地盤	
29-4	田野直哉	用排水機能障害の事例	1965	F1	43	新潟	1964	土被	
29-5	三品直樹・佐藤瑞夫	農地施設の被害とその復旧	1965	F1	47	新潟	1964	土被	
29-6	山下 進	農土木構造物の震害と地盤性状	1965	F1	51	新潟	1964	土被	
29-7	大平成人	アースダムの被害	1965	F1	59	新潟	1964	土被	
29-8		農地地すべりに及ぼした影響	1965	F1	87	新潟	1964	地ニ	
Proc. Imp. Acad. Japan									
30-1	A. Imamura	Analytic Investigation of the Great Kwantó Earthquake.	1926	2	401	関東	1923	験測	
30-2	N. Yamasaki et al.	The Faults of the Tango Earthquake of 1927.	1927	3	223	丹後	1927	断層	

東北大学建築  
学報(1963)

番号	著者名	題	西曆年	卷号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
30-3	A. Imamura et al.	On the Destructive Tango Earthquake of March 7, 1927:	1927	3	227	丹後	1927	驗測	
30-4	B. Kotô	The Tazima Earthquake of 1925.	1927	3	232	但馬	1925	一般	
30-5	T. Terada	On the Vertical Displacement of the Sea Bottom in Sagami	1928	4	45	関東	1923	昇降	
30-6	T. Terada et al.	On the Horizontal Displacements of the Primary	1928	4	49	関東	1923	地殻変	
30-7	T. Terada	On the Geophysical Significance of the Crustal Movement	1928	4	53	関東	1923	地殻変	
30-8	A. Imamura	A Note on the Result of Precise Levelling in the Littoral	1928	4	56	上高井	1897	地殻変	測量 関原(1927)
30-9	A. Imamura	Supplementary Note on the Result of Precise Levelling in	1928	4	109	上高井	1897	地殻変	測量 関原(1927)
30-10	A. Imamura et al.	On the Horizontal Shift of the Dislocations accompanying	1928	4	112	関東	1923	断層	丹後(1927)
30-11	A. Imamura	On the Tiltings of the Earth preceding the Kwantô Earthquake	1928	4	148	関東	1923	傾斜	前兆
30-12	T. Terada et al.	On the Horizontal Displacements of Earth Crust Produced by	1928	4	211	丹後	1927	地殻変	
30-13	T. Terada et al.	Relation between Horizontal Deformation and Postseismic	1928	4	215	丹後	1927	地殻変	
30-14	T. Terada et al.	Postseismic Slow Vertical Displacement of Earth Crust and	1928	4	218	丹後	1927	昇降	
30-15	T. Terada et al.	Vertical Displacements of Sea Bed off the Coast of the Tango	1928	4	296	丹後	1927	昇降	
30-16	T. Terada et al.	On a Characteristic Mode of Deformation of Sea Bed.	1928	4	364	関東	1923	地殻変	丹後(1927)
30-17	A. Imamura	On the Topographical Changes preceding and following the	1928	4	371	江濃	1909	地殻変	
30-18	A. Imamura	On the Seismic Activity of Central Japan with Special	1928	4	374	濃尾	1891	地活	
30-19	N. Nasu	Further Note on the Stereometrical Study of the Origins of	1928	4	378	丹後	1927	驗測	余震
30-20	A. Imamura	Further Note on the Seismic Activity of the Northern Part	1928	4	485	濃尾	1891	地活	
30-21	C. Tsuboi	On the Postseismic Block Movements in the Tango	1928	4	529	丹後	1927	地殻変	
30-22	B. Kotô	The Iwatsuki Seismic Zone as a Factor of the Great Tokyo	1929	5	130	関東	1923	地質	
30-23	N. Nasu	On the Crustal Block that Played an Important Rôle in the	1929	5	164	丹後	1927	断層	
30-24	T. Terada et al.	Deformation of the Earth Crust and Topographical Features.	1929	5	322	丹後	1927	地殻変	
30-25	A. Imamura	On the Multiple Source of Origin of the Great Kwantô	1929	5	330	関東	1923	断層	発機
30-26	A. Imamura et al.	On the Pre-seismic Earth-tilting and Mechanism of Occurrence	1929	5	460	奈良南	1929	発機	前兆, 傾斜
30-27	T. Terada et al.	Crustal Disturbance in Kwantô Districts.	1930	6	49	関東	1923	地殻変	
30-28	C. Tsuboi	A Characteristic Mode of Displacements of Triangulation	1930	6	56	丹後	1927	地殻変	「白鳳(684)
30-29	A. Imamura	On Changes of Topography, both Chronic and Acute, in the	1930	6	101	宝永	1707	地殻変	安政(1854)

30-30	H. Yabe	The Great Kwantó Earthquake of September 1, 1923, and the	1930	6	105	関東	1923	地質
30-31	A. Imamura et al.	On the Recent Itó Earthquakes.	1930	6	190	伊東	1930	一般
30-32	C. Tsuboi	Geophysical Significance of the Areal Deformation of the Base	1930	6	367	関東	1923	地殻変
30-33	Earthq. Res. Inst.	The Result of the Precise Levelling carried out along the	1930	6	399	伊豆	1930	測量
30-34	N. Miyabe	On the Vertical Earth Movement in Kwantó District.	1930	6	405	関東	1923	昇降
30-35	N. Miyabe	On the Relation Between Horizontal and Vertical Movements	1930	6	409	関東	1923	地殻変
30-36	A. Imamura	On the Block Movement accompanying and following the	1930	6	415	関東	1923	地殻変
30-37	A. Imamura	On the Recent Destructive Idu Earthquake of 1930.	1930	6	419	伊豆	1930	一般
30-38	A. Imamura	On the Block Movements that Preceded and Accompanied the	1931	7	1	千葉	1928	地殻変
30-39	N. Miyabe	On Block Movements of the Earth's Crust.	1931	7	150	関東	1923	地殻変
30-40	C. Tsuboi	A Note on the Results of the Repeated Precise Levellings	1931	7	153	伊豆	1930	地殻変
30-41	C. Tsuboi	Supplementary Note on the Areal Deformation of the Base	1931	7	155	関東	1923	地殻変
30-42	C. Tsuboi	Independent Relative Vertical Movements of Land Blocks as	1931	7	158	伊豆	1930	昇降
30-43	C. Tsuboi	On the Results of Fifth Precise Levellings in the Tango	1931	7	234	丹後	1927	地殻変
30-44	A. Imamura	On the Crustal Deformations that Preceded and Accompanied	1931	7	271	羽田	1926	地殻変
30-45	N. Miyabe	Post-Seismic Crustal Movements in Bósó Peninsula.	1931	7	275	関東	1923	地殻変
30-46	A. Imamura	On the Northward Movement of Crustal Deformation along	1931	7	315	伊豆	1930	地殻変
30-47	A. Imamura	On the Tunamis of N.-E. Japan, of March 2, 1933.	1933	9	174	三陸	1933	津波
30-48	C. Tsuboi	Vertical Crustal Displacement in the Seismic Region of Iro,	1933	9	258	伊東	1930	昇降
30-49	S. T. Nakamura et al.	Anomalous Secular Variation of Magnetic Dip in the Epicentral	1934	10	456	伊豆	1930	地電磁
30-50	A. Imamura	Crustal Deformations Associated with the Dewa Earthquakes	1935	11	51	象潟	1804	地殻変
30-51	A. Imamura	On Land Deformations accompanied by the Nosiro Earthquakes	1936	12	7	能代	1694	地殻変
30-52	Y. Kató	Magnetic Disturbance in the Seismic Area of the Semi-	1936	12	91	静岡	1935	地電磁
30-53	T. Ogawa	On a Seismogenic Line in Kin-ki Provinces, Southwest, Part I	1936	12	96	丹後	1927	地質
30-54	A. Imamura	Crustal Deformations Associated with the Tugaru Earthquakes	1937	13	208	津軽	1766	地殻変
30-55	A. Imamura	Land Deformations and Seismic Activity in the Mutu-Dewa	1939	15	78	丹後	1927	地殻変
30-56	A. Imamura	Later Crustal Deformations in the Tango District.	1940	16	113	丹後	1927	地殻変
30-57	A. Imamura	Land Deformations Associated with the Oga Earthquake of	1941	17	191	男鹿	1939	地殻変
30-58	A. Imamura et al.	Land Deformations as Revealed Through the Revisions of	1942	18	662	庄内	1894	地殻変

他  
 伊豆(1930)  
 庄内(1894)  
 宝永(1704)  
 津輕(1766)  
 鱒ヶ沢(1793)  
 男鹿(1810)

番号	著者名	題	目	西曆年	卷号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
30-59	A. Imamura	The Historical Hinai Earthquake, With Special Reference to		1943	19	29	天安	857	一般	
30-60	A. Imamura	Land Deformations in the South-eastern Part of Tōtōmi.		1943	19	407	宝永	1707	地殻変	安政(1854)
30-61	T. Nagata	Measurement of Earth-Current in the Vicinity of Sikano		1944	20	81	鳥取	1943	地電磁	
30-62	A. Imamura	On the Great Mino Earthquake of 1833.		1944	20	465	美濃	1833	一般	
30-63	A. Imamura	Land Deformations associated with the Recent Tōkaidō		1945	21	193	東南海	1944	地殻変	
30-64	A. Imamura	On the Great Depression Earthquakes of 701 in Tango and		1946	22	143	丹後	701	昇降	豊後(1596)
30-65	A. Imamura	Past Destructive Earthquakes Originated in the Depressed		1947	23	4	丹後	701	地殻変	近江, 伊勢 (1819)
30-66	A. Imamura	On the Great Tūkusi Earthquake of 679.		1947	23	13	筑紫	679	一般	日向灘(1662)
30-67	T. Yagi	On Land Deformations Associated with and Following the		1947	23	74	善光寺	1847	地殻変	他
齋藤報恩会学術研究報告										
31-1	中村左衛門太郎	城崎地震に関する調査		1925	1		但馬	1925	一般	
31-2	中村左衛門太郎	奥丹後地震報告		1928	5		丹後	1927	一般	
31-3	田山利三郎	丹後但馬地震地域の地体構造と最近地史に就て		1928	6		但馬	1925	地質	丹後(1927)
31-4	青木廉二郎・田山利三郎	関東構造盆地特に其の西辺部の地形及び地質に就て		1930	8		関東	1923	地質	
31-5	田山利三郎	房総半島の地形特に侵蝕面の対比に就て		1930	9		関東	1923	地質	
31-6	田山利三郎	昭和5年11月26日の北伊豆地震と地質構造との関係		1931	11		伊豆	1930	地質	
31-7	田山利三郎	昭和6年11月4日の小国(岩手県)地震及びその震域地方の地形地		1932	16		小国	1931	一般	地質
齋藤報恩会事業年報										
32-1	矢部長克・青木廉二郎	大正12年9月1日の関東大震と地質構造との関係		1925	1	86	関東	1923	地質	
32-2	矢部長克・青木廉二郎	大正12年9月1日の関東大震と地質構造との関係(第2報)		1926	2	42	関東	1923	地質	
32-3	矢部長克	大正12年9月1日の関東大震と地質構造との関係(第3報)		1928	3	61	関東	1923	地質	
32-4	矢部長克	大正12年9月1日の関東大震と地質構造との関係(第4報)		1929	4	56	関東	1923	地質	
32-5	中村左衛門太郎・他	磁力伏角観測		1931	7	237	伊豆	1930	地電磁	
32-6	中村左衛門太郎・他	北伊豆地震に伴ふ地電圧の変化		1931	7	240	伊豆	1930	地電磁	
32-7	中村左衛門太郎・他	北伊豆地震地方磁力観測の成果(追報)		1932	8	158	伊豆	1930	地電磁	
32-8	中村左衛門太郎・他	地磁気及地電気に関する研究		1934	10	245	三陸	1933	地電磁	

Sci. Rep. Tôhoku Imp. Univ.							
33-1	S. Nakamura	On the Earthquake of the 7th March, 1927 in Tango, Japan.	1929	I 18 419	丹後	1927	一般
33-2	Y. Katô et al.	Magnetic Disturbance in the Seismic Area of the Earthquake	1932	I 21 96	伊豆	1930	地電磁
33-3	Y. Katô	Investigation of the Changes in the Earth's, 2nd Report	1941	I 29 315	屈斜路	1938	地電磁
33-4	Y. Katô	Investigation of the Changes in the Earth's, 3rd Report	1941	I 29 329	塩屋沖	1938	地電磁
33-5	Y. Kato et al.	On the Changes of the Terrestrial Magnetic Field	1949	V 1 40	南海	1946	地電磁
33-6	Y. Kato et al.	On the Changes of the Earth-Current and the Earth's Magnetic	1950	V 2 53	福井	1948	地電磁
33-7	Y. Kato et al.	On the Changes of the Terrestrial Magnetic Field	1950	V 2 149	今市	1949	地電磁
33-8	Z. Suzuki et al.	On the Tunami in Sanriku District accompanying the Tokachi	1953	V 4 134	十勝沖	1952	津波
33-9	Z. Suzuki et al.	On the Heights of the Tunami on March 4, 1952, in the District	1953	V 4 139	十勝沖	1952	津波
33-10	Y. Kato et al.	Report of Tunami in Shizugawa Harbour accompanying	1953	V 4 143	十勝沖	1952	津波
33-11	Y. Kato et al.	On the Change of the Earths' Magnetic Field accompanying	1953	V 4 146	十勝沖	1952	地電磁
33-12	Y. Katô et al.	The Chile Tsunami of 1960 Observed along the Sanriku Coast	1961	V13 107	チリ	1960	津波
<b>水路要報</b>							
34-1	田山利三郎	渥美湾海底変化の地形学的地質学的吟味	1949	12	39	1945	地質
34-2	東洋汽船 K. K. 民洋丸	十勝沖地震の津波に関する船舶からの報告	1952	31	138	1952	津波
34-3	第一管区海上保安本部	十勝沖地震による釧路港と附近の変化	1952	32	195	1952	地殻変
34-4	山口生知	昭和27年11月5日のカムチャツカ沖地震に伴つた津波について	1953	39	286	1952	津波
34-5	茂木昭夫	関東大地震における相模湾の海底変動について—新精密測量資料に	1959	60	52	1923	地殻変
34-6	水路部	昭和21年南海大地震報告 津波篇	1948	増		1946	津波
34-7	小向良七	昭和21年南海大地震調査報告 地変及び被害編	1948	増		1946	被害
34-8	千野純彦	昭和21年南海大地震調査報告 海底地形編	1948	増		1946	地質
34-9	中山瑠璃夫	昭和20年三河地震調査報告 三河湾の海底変化	1948	増		1945	地殻変
34-10	田宮美弥・中村信夫	十勝沖地震に伴う津波について	1953	増10	10	1952	津波
<b>鉄道土木</b>							
35-1	施設局土木課	新潟地震における震害調査 被害概況	1964	6	492	1964	被害
35-2	大橋勝弘	新潟地震における震害調査 橋りより被害で感じたこと	1964	6	493	1964	土被

地変

番号	著者名	題	日	西曆年	卷号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
35-3	池田俊雄	新潟地震における震害調査	地盤状況と被害の關係	1964	6	494	新潟	1964	地盤	被害
35-4	池田康平・田村浩一	新潟地震における震害調査	建造物の被害	1964	6	496	新潟	1964	土被	
35-5	山田剛二	新潟地震における震害調査	盛土, 切取, ずい道の被害	1964	6	499	新潟	1964	土被	
35-6		新潟地震国鉄の被害 (グラフ)		1964	6		新潟	1964	被害	
<b>鉄道技術研究報告</b>										
36-1		新潟地震調査報告		1964	448		新潟	1964	一般	
36-2	藤原俊郎	地震の発生・規模		1964	448	3	新潟	1964	験測	
36-3	松波哲夫・上田周明	被害		1964	448	4	新潟	1964	被害	
36-4	佐藤吉彦	軌道の被害		1964	448	12	新潟	1964	土被	
36-5	斎藤迪孝・室町忠彦・他	土木構造物および基礎の被害		1964	448	15	新潟	1964	土被	
36-6	松波哲夫	橋梁の被害		1964	448	27	新潟	1964	土被	
36-7	小林芳正	ずい道の被害		1964	448	29	新潟	1964	土被	
36-8	井原道継・上田周明	建築物の被害		1964	448	31	新潟	1964	建被	
36-9	松哲波夫	その他の被害		1964	448	44	新潟	1964	被害	
36-10	藤原俊郎	地震の観測		1964	448	44	新潟	1964	験測	
36-11	斎藤迪孝	流砂現象について		1964	448	52	新潟	1964	地変	
36-12	多田美朝	新潟地震の特徴と教訓		1964	448	57	新潟	1964	一般	
36-13		被害写真		1964	448	59	新潟	1964	被害	
<b>鉄道省大臣官房研究所業務研究資料</b>										
37-1	大森房吉	地震動の強さ及震害に就て		1922	10	153	竜ヶ崎	1921	被害	その他
37-2		関東大地震に因る鉄道被害概要		1923	11	1543	関東	1923	土被	
37-3	鈴木益広	大正12年の関東大地震について		1923	11	1555	関東	1923	一般	
37-4	監督局業務課	地方鉄道及軌道震災図 (大正12年12月調査)		1924	12	87	関東	1923	土被	
37-5	鉄道省官房研究所	関東大地震の掘抜井戸に及ぼせる影響		1924	12	865	関東	1923	地下水	
37-6		豊岡城崎地方地震に因る鉄道被害報告		1925	13	1005	但馬	1925	土被	

東北研究	昭和35年5月24日のチリ地震津波の特異性と問題点—特に三陸沿岸東北近海に見られる海の波動	1960 10 5 7	チリ	1960	津波	津波, セイン
38-1	渡辺偉夫	1960 10 5 13	チリ	1960	津波	津波
38-2	宇野木早苗	1960 10 5 19	チリ	1960	津波	津波
38-3	加藤愛雄	1960 10 5 23	チリ	1960	津波	津波
38-4	岩崎敏夫	1960 10 5 40	チリ	1960	津波	津波
38-5	菅野 一	1960 10 5 45	チリ	1960	津波	津波
38-6	浪瀬信義・長崎 明・他	1960 10 6 15	チリ	1960	津波	津波
38-7	伊藤嘉一	1960 10 6 19	チリ	1960	津波	津波
38-8	二宮三郎	1960 10 6 26	チリ	1960	津波	津波
38-9	浪瀬信義・長崎 明・他					史料吟味
東洋学芸雑誌 (39巻487号~40巻504号の誌名「学芸」)						
39-1	関谷清景	1891 8 579	濃尾	1891	一般	天平~安政
39-2	小藤文次郎	1891 8 645	濃尾	1891	被害	
39-3	関谷清景	1892 9 147	熊木	1891	断層	
39-4	田中館愛橋・他	1892 9 346	濃尾	1889	発機	
39-5	羽柴雄輔	1892 9 360	象潟	1891	地震	
39-6	大森房吉	1892 9 370	東京	1804	一般	
39-7	大森房吉	1894 11 379	東京	1894	余震	
39-8	石井敬吉	1894 11 382	東京	1894	被害	
39-9		1894 11 385	東京	1894	被害	
39-10		1894 11 635	釧路沖	1894	耐震	
39-11		1896 13 333	三陸	1896	津波	
39-12		1896 13 335	三陸	1896	津波	
39-13		1896 13 336	三陸	1896	津波	
39-14		1896 13 451	陸羽	1896	地震	
39-15	岩崎春二郎・他	1896 13 508	陸羽	1896	一般	
39-16		1897 14 534	陸中	1897	一般	
39-17	大森房吉	1900 17 61	濃尾	1891	余震	

番号	著者名	題名	目次	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考	
39-18	小藤文次郎	根尾谷断層両端ノ地震		1900	17	310	濃尾	1891	断層		
39-19	大森房吉	烟突の地震		1907	24	261	東京	1894	被害		
39-20	大森房吉	安政2年ノ江戸大地震		1907	24	315	江戸	1855	一般		
39-21	大森房吉	明治42年8月14日近江地方の地震に就きて		1909	26	470	江濃	1909	一般		
39-22	大森房吉	明治42年8月29日の沖繩地震		1909	26	535	沖繩	1909	一般		
39-23	大森房吉	明治42年8月14日江濃激震ノ余震		1909	26	566	江濃	1909	余震		
39-24	大森房吉	明治42年8月14日江濃地震ノ伝播速度		1909	26	574	江濃	1909	験測		
39-25	小藤文次郎	地質学上ノ見地ニ依ル江濃地震		1909	26	587	江濃	1909	地質		
39-26	大森房吉	明治42年11月10日の強震		1909	26	636	日向灘	1909	一般		
39-27	多度津一等測候所	多度津強震報告		1909	26	639	日向灘	1909	一般		
39-28	多度津一等測候所	強震報告		1910	27	52	日向灘	1909	一般		
39-29	大森房吉	弘化4年善光寺ノ大地震		1910	27	549	善光寺	1847	一般		
39-30	大森房吉	桜島強震及び秋田地震の震原地の測定		1914	31	193	桜島	1914	験測	羽後仙(1914)	
39-31	内田祥三	大正3年秋田県の地震に於ける木造耐震構造の效果		1914	31	303	羽後仙	1914	建被		
39-32		浅間山附近に發せる強震に関する件		1916	33	284	浅間山	1916	一般		
39-33	大森房吉	大正6年5月18日朝静岡県下の激震		1917	34	418	静岡	1917	一般		
39-34	大森房吉	本年5月18日静岡地方地震の原因に就きて		1917	34	689	静岡	1917	發機		
39-35	函館測候所	北海道得無島沖に發せる地震		1918	35	676	ウルフ	1918	一般		
39-36	大森房吉	大町附近の強震、大町地震概報		1918	35	730	大町	1918	一般		
39-37	大森房吉	信州大町地方ノ地震ニ就キテ		1919	36	24	大町	1918	一般		
39-38		大正7年9月8日得無島海嘯に関する件		1919	36	70	ウルフ	1918	津報		
39-39	大森房吉	信州大町地方ノ地震ニ就キテ(承前)		1919	36	82	大町	1918	一般	大町(1714)	
39-40		得無島地震津浪の件		1919	36	191	ウルフ	1918	津波		
39-41	大森房吉	大正7年大町激震ニ件ヘル地盤垂直変動		1921	38	145	大町	1918	昇降		
39-42	大森房吉	大正10年12月8日夜の東京強震に関する件		1922	39	484	竜ヶ崎	1921	一般		
39-43	保田	大正10年12月8日夜強震の余震		1922	39	484	竜ヶ崎	1921	余震		
39-44	大森房吉	東京にて感じたる激震強震の強震計記録図		1922	39	489	2	東京	1894	験測	浦賀海(1922)
39-45	大森房吉	大正11年4月26日強震に関する件		1922	39	489	152	浦賀海	1922	一般	



39-46	安房国北条に於ける大正11年4月26日強震の損害	1922 39 489 153	浦賀海	1922	被害
39-47	温泉岳と島原町	1923 40 496 124	島原	1792	火山
39-48	肥前島原温泉岳の活動	1923 40 496 126	島原	1792	火山
39-49	肥前島原地方地震に因する件	1923 40 496 139	島原	1922	一般
39-50	肥前島原地方地震に因する件	1923 40 497 138	島原	1922	験測
39-51	大正11年12月8日午前2時島原半島の震原地	1923 40 498 100	島原	1922	一般
39-52	肥前島原半島の地震(其の1)	1923 40 499 118	島原	1922	一般
39-53	肥前島原半島の地震(其の2)	1923 40 504 134	種子島	1923	一般
39-54	鹿児島県下種ヶ島地方強震に因する件	1925 41 329	但馬	1925	地質
39-55	鹿児島県下種ヶ島地方強震に就いて	1927 43 297	丹後	1927	発機
39-56	北丹後地震成因概説	1930 46 470	伊豆	1930	地質
39-57	伊豆半島の地質	1930 46 484	伊豆	1930	一般
39-57	伊豆地震—觀察せる事実と重大な問題—				
<b>海と空</b>					
40-1	島原地震の概観(1)	1923 3 2	島原	1922	地質
40-2	島原地震の概観(2)	1923 3 14	島原	1922	験測
40-3	遠地より見たる相模灘地震	1923 3 120	関東	1923	験測
40-4	实地踏査より見たる相模灘地震(1)	1923 3 138	関東	1923	踏報
40-5	实地踏査より見たる相模灘地震(2)	1923 3 154	関東	1923	踏報
40-6	实地踏査より見たる相模灘地震(3)	1923 3 177	関東	1923	踏報
40-7	相模地震に因する地震研究上の諸問題(1)	1924 4 31	関東	1923	一般
40-8	相模地震に因する地震研究上の諸問題(2)	1924 4 70	関東	1923	一般
40-9	大正13年8月13日紀伊半島南部の強震に就て	1924 4 199	紀伊	1924	一般
40-10	北但地震略報	1925 5 123	但馬	1925	一般
40-11	昭和4年7月4日紀伊半島中部の地震に就て(1)	1929 9 197	奈良南	1929	験測
40-12	昭和4年7月4日紀伊半島中部の地震に就て(2)	1930 10 13	奈良南	1929	一般
40-13	昭和4年11月20日和歌山県有田川下流附近の地震に就て	1930 10 212	有田川	1929	験測
40-14	北伊豆地震実地調査概況	1930 10 441	伊豆	1930	踏報
40-15	北伊豆地震調査報告(海洋気象台彙報)	1931 11 49	伊豆	1930	一般

発機  
発機、津波

発機、地殻変  
地下水

昭和4年7月4日紀伊半島中部の地震に就て(1)  
昭和4年7月4日紀伊半島中部の地震に就て(2)  
昭和4年11月20日和歌山県有田川下流附近の地震に就て  
北伊豆地震実地調査概況  
北伊豆地震調査報告(海洋気象台彙報)

棚橋嘉市  
川崎英男・棚橋嘉市

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
40-16	松平康男	濃美地震余聞		1933	13	249	濃尾	1891	一般	
40-17	棚橋嘉市	昭和8年7月29日、紀伊由良町附近の地震に就て		1934	14	207	紀伊水	1933	一般	
40-18	棚橋嘉市	河内、大和、強震見聞記		1936	16	120	河内・大	1936	一般	
40-19	棚橋嘉市	墓石の転倒より見たる河内、大和強震の震度について		1936	16	231	河内・大	1936	その他	
40-20	渡辺偉夫	1960年5月24日のチリ地震津波の伝播と収斂について		1961	37	11	チリ	1960	津波	
<b>山形建築士だより—新潟地震災害特集</b>										
41-1	酒井正四郎	新潟地震の鶴岡地区に残した爪跡		1964	55	4	新潟	1964	被害	
41-2	松橋徳蔵	震災の現場をみて		1964	55	19	新潟	1964	建設	
41-3	佐藤昭雄	新潟地震の爪跡を追う—酒田、遊佐地区の被害について—		1964	55	25	新潟	1964	建設	建設
41-4	矢萩貞三郎	新潟地震による山形地域の場合について		1964	55	36	新潟	1964	建設	
41-5	酒井正四郎	両羽地震と新潟地震との被害状況の比較について		1964	55	64	新潟	1964	被害	
41-6	神保 恵	酒田市における災害地調査報告書		1964	55	68	新潟	1964	被害	
<b>秋田大学鉱山学部地下資源開発研究所報告</b>										
42-1	加納 博・香沢 新	新潟地震による秋田市における被害とその地質的考察		1965	31	37	新潟	1964	被害	地質
42-2	香沢 新	新潟地震による秋田県由利海岸の震害		1965	31	46	新潟	1964	被害	
<b>Ann. Geofis.</b>										
43-1	A. Girlanda	Il Terremoto dello Hokkaido del 4 Marzo 1952.		1953	6	173	十勝沖	1952	一般	
<b>Annual Rep. of the Work, Saito Ho-on Kai</b>										
44-1	H. Yabe et al.	The Great Kwantô Earthquake of September 1, 1923,		1926	1	70	関東	1923	地質	
44-2	H. Yabe	The Great Kwantô Earthquake of September 1, 1923, II		1927	2	33	関東	1923	地質	
<b>Bull. Centr. Meteor. Obs. Japan</b>										
45-1	K. Sano et al.	On the Wave Produced by the Sudden Depression of a Small		1916	2	1	三陸	1896	津波	

<b>Bull. Geogr. Surv. Inst.</b>									
46- 1	K. Muto et al.	The Land Deformation Accompanying the Fukui Earthquake	1950	2	27	福井	1948	地殻変	
46- 2	T. Okuda	On the Mode of the Vertical Land-Deformation Accompanying	1950	2	37	南海	1946	昇降	
46- 3	E. Inoue et al.	The Horizontal Displacements Accompanying the Great Kwanto	1950	2	61	関東	1923	地殻変	
46- 4	T. Okuda	On the Change of Local Geoid in the Southwestern Part of	1951	2	239	南海	1946	重力	
46- 5	Geogr. Surv. Inst.	Re-survey of the South-western Part of Japan after the, No. 1	1952	3	31	南海	1946	測量	
<b>Bull. Seism. Soc. Amer.</b>									
47- 1	E. A. Hodgson	The P-Curve and the S-Curve Resulting from a Study of	1932	22	38	丹後	1927	験測	
47- 2	E. A. Hodgson	Epicentral Time and Surface Structure Determined for the	1932	22	270	丹後	1927	験測	
<b>Bull. Tokyo Gakugei Univ.</b>									
48- 1	R. Ikegami	On Aftershocks of Imaichi Earthquake Observed at Kanuma	1953	4	3	今市	1949	余震	
物理探 鉢									被害
49- 1	表 俊一郎・神田祐太郎	名古屋市に於て行はれた地震探鉢による地盤調査結果と震害との関	1949	2	33	東南海	1944	地盤	
地球物理									
50- 1	依田和四郎	島原半島眉山周囲に於ける地磁気異常に就いて	1939	3	26	島原	1922	地電磁	
地球科学									
51- 1	吉村尚久・林 等・他	新潟地震 (1964年6月16日13時2分) (写真図版)	1964	73	I, II	新潟	1964	その他	
地理 (大塚地理学会)									
52- 1	小笠原義勝	男鹿地震の地変	1940	3	256	男鹿	1939	地変	
地理 (古今書院)									
53- 1	渡辺一夫	新潟地震と新潟市の災害	1964	9	8	新潟	1964	被害	
53- 2	渡辺一夫	新潟地震補遺	1964	9	9	新潟	1964	被害	

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
54-1	平井正武	安政地震の新資料と震源移動	1939	30	1130	安政	1854	一般	
<b>地理教育</b>									
<b>地質調査所月報</b>									
55-1	飯田汲事・早川正巳・他	今市地震後の重力測定	1950	1	136	今市	1949	重力	
55-2	早川正巳・猪木幸男	北海道十勝沖地震調査概報	1953	4	321	十勝沖	1952	一般	
<b>地質調査所報告</b>									
56-1	中村新太郎	江濃地震調査概報	1909	15	1	江濃	1909	一般	
56-2	小倉勉	京都府及兵庫県震災地調査報文	1925	93	1	但馬	1925	踏報	
56-3	渡辺久吉・佐藤戈止	丹後震災地調査報文	1928	100		丹後	1927	一般	
56-4	伊原敬之助・石井清彦	北伊豆震災地調査報文	1932	112		伊豆	1930	一般	
<b>地質工学</b>									
57-1		チリ地震津波体験記	1962	2	103	チリ	1960	津波	
<b>地質ニュース</b>									
58-1	須貝貫二・佐藤茂・他	新潟地震を予察して	1964	120	1	新潟	1964	一般	
58-2	早川正巳・鎌田清吉・他	新潟地震の震央付近における音波探査	1965	129	1	新潟	1964	地質	地殻変
58-3	沢村孝之助・巨見俊弘	松代群発地震地域をさぐる	1967	149	1	松代	1965	一般	
58-4	相原奎二	松代群発地震地域をさぐる 地震の経過	1967	149	12	松代	1965	一般	
58-5	瀬谷清	松代群発地震地域をさぐる 物理探査の結果について	1967	149	17	松代	1965	地質	重力
58-6	中村久由・山田隆基・他	松代群発地震地域をさぐる 温泉と地すべり	1967	149	28	松代	1965	地下水	地二
58-7	伊藤司郎・永田松三	松代群発地震地域をさぐる 地化学探査	1967	149	32	松代	1965	地質	
58-8	高橋博	松代群発地震地域をさぐる 試験調査・観測	1967	149	36	松代	1965	地質	地電磁, 傾斜 他
59-1	調査月報 (新潟市議会事務局)	新潟地震写真特集	1964	6	1	新潟	1964	その他	

59-2	新潟地震の資料特集	1964	10	1	新潟	1964	その他	
	中央気象台研究時報 60-1  渡辺偉夫	三陸沿岸津波の研究 (第1報) 十勝沖地震による津波の若干の解析						
	Coastal Eng. in Japan	Tsunami Caused by Chile Earthquake in May, 1960 and Some Additional Remarks on the Chilean-Earthquake						
61-1	T. Iwasaki et al.	1960	3	33	チリ	1960	津波	
61-2	K. Horikawa	1960	3	49	チリ	1960	津波	
	Collected Papers, Dept. Civil Eng. Univ. Tokyo	Niigata Earthquake—Feature of the Damage and Related						
62-1	T. Watanabe	1965	3		新潟	1964	被害	
	C. R. Séances Conf. Gén. Ass. Géod. Int.	Soulèvements et abaissements du sol, causés par la grand						
63-1	M. Sugiyama	1904	14	138	濃尾	1891	昇降	
	電気学会雑誌	震災に因る電気工作物の被害概況並応急処置						
64-1	沢沢元治	1923	43	42, 925	関東	1923	被害	
	電気試験所調査報告	北丹後地震による電気工作物被害調査						
65-1	内山武俊・高林丑弥	1927	41		丹後	1927	被害	
	電波時報	新潟地震報告						
66-1	信越電波監理局	1964	19	8	39	新潟	1964	一般
66-2	谷池 宏・他	1964	19	9	2	新潟	1964	被害
	電力	新潟地震による送電ケーブルの事故とその教訓について						
67-1	梶 周四郎・岩泉 泰・他	1965	49	3	21	新潟	1964	被害

その他

番号	著者名	題	目	西曆年	巻号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
	<b>Disaster Prevention Res. Inst. Bull.</b>									
68-1	M. Takada		On the Crustal Strain Accompanied by a Great Earthquake.	1959	27	29	吉野	1952	地殻変	
	<b>土木技術</b>									
69-1		新潟地震の惨状 (口絵写真)		1964	19	8	新潟	1964	被害	
69-2	大久保忠良・他	新潟地震災害調査報告		1964	19	8	新潟	1964	被害	
	<b>土木研究所資料</b>									
70-1	建設省土木研究所	松代地震強震記録 (第一報)		1966	163		松代	1965	験測	
70-2	建設省土木研究所	松代地震強震記録 (第二報)		1966	194		松代	1965	験測	
	(内務省) 土木試験所報告									
71-1	松尾春雄	三陸津浪調査報告		1933	24	83	三陸	1933	津波	
71-2	松尾春雄	三陸津浪調査報告 (追加)		1934	27	93	三陸	1933	津波	
	<b>土木試験所震報 (北海道開発局)</b>									
72-1	北海道開発局土木試験所	十勝沖地震調査報告		1952	4	1	十勝沖	1952	一般	
	<b>沿岸海洋研究ノ一ト</b>									
73-1	渡辺偉夫	新潟地震による津波の Generation Mechanism—津波の Source		1964	3	31	新潟	1964	津波	
	<b>学生会月報</b>									
74-1	長岡半太郎	熊本地震		1889	19	16	熊本	1889	一般	
74-2	小藤文次郎	濃尾越大地震ノ原因		1893	67	20	濃尾	1891	発機	断層
	<b>Gerlands Beitr. Geophys.</b>									
75-1	B. Kotó	The Tazima Earthquake of 1925.		1927	17	428	但馬	1925	一般	
75-2	B. Kotó	The Twin Earthquake of Tango in 1927.		1928	20	308	丹後	1927	一般	

岐阜大学学芸学部研究報告 自然科学 76-1 村松郁栄	震害分布と地盤の性質との関係について一特に濃尾地方について一	1961	2	559	濃尾	1891	地盤	被害 江濃(1909) 東南海(1944)
76-2 村松郁栄	濃尾地震激震域の震度分布および地殻変動	1963	3	202	濃尾	1891	地殻変動	その他
76-3 村松郁栄・梶田澄雄・他	水島断層の構造	1964	3	308	濃尾	1891	断層	
北海道大学地球物理学研究報告								
77-1 福富孝治・田畑忠司・他	墓石の転倒、移動等から推定した昭和27年十勝沖大地震における北	1953	3	1	十勝沖	1952	その他	地変
77-2 清野政明・岡田 広	石本式地震計による弟子屈強震の余震観測	1960	7	71	弟子屈	1959	余震	
77-3 北海道大学余震観測班	新瀉地震余震観測報告	1966	16	21	新瀉	1964	余震	
北海道気象要報								
78-1 斎藤博英	北海道西岸を襲ひし津浪	1941	1	107	積丹沖	1940	津波	
78-2 高富 保	昭和15年8月2日天塩沿岸を襲ひたる地震津浪詳報	1941	1	127	積丹沖	1940	津波	
北陸気象管区研究報告								
79-1 新潟管区气象台	新潟県中頸城郡粟立山麓地震調査報告	1947	1	38	新潟西	1947	一般	
Jap. J. Geol. Geogr.								
80-1 T. Ogawa	On the Great Earthquake of Kwanto in Central Japan,	1924	3	1	関東	1923	一般	
80-2 I. Komada	Geological Considerations of the Shimabara Earthquakes of	1924	3	91	島原	1922	地質	
J. Coll. of Sci. Imp. Univ. Tokyo								
81-1 A. Tanakadate et al.	The Disturbance of Isomagnetism attending the Mino-Owari	1892	5	149	濃尾	1891	地電磁	
81-2 B. Kotô	On the Cause of the Great Earthquake in Central Japan,	1893	5	295	濃尾	1891	発震	
81-3 S. Sekiya et al.	The Diagram of the Semi-destructive Earthquake of June	1895	7	289	東京	1894	験測	
J. Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo Sect. 2								
82-1 N. Yamasaki	Physiographical Studies of the Southeastern Part of Boso	1925	1	35	関東	1923	地質	

番号	著者名	題	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
82-2	B. Kotó	The Tazima Earthquake of 1925.	1926	2	1		但馬 1925	一般	
82-3	N. Yamasaki	Physiographical Studies of the Great Earthquake of the	1926	2	77		関東 1923	一般	地質
82-4	B. Kotó	The Intersecting Twin Earthquake of Tango Hinterland in	1926	2	265		丹後 1927	一般	
82-5	B. Kotó	The Iwatsuki Seismic Zone as a Factor of the Habitual	1929	3	1		関東 1923	地質	東京(1894)
82-6	N. Nasu	A Stereometrical Study of the Aftershocks of the Great	1929	3	29		丹後 1927	余震	
<b>J. Geol.</b>									
83-1	F. P. Shepard	Depth Changes in Sagami Bay during the Great Japanese	1933	41	527		関東 1923	地殻変	地変
<b>J. Phys. Earth</b>									
84-1	K. Hosoyama	Characteristic Tilt of the Ground that Preceded the	1952	1	75		大聖寺 1952	前兆	傾斜
84-2	S. Miyamura et al.	Geografía Distribuo de Tretremaj Domagoj kun Speciala	1952	1	83		南海 1946	地盤	
84-3	K. Kasahara	Fault Origin Model of Earthquakes, with Special Reference	1958	6	15		丹後 1927	発機	
84-4	I. Muramatu et al.	Observation of Microearthquakes in Mino District in Gifu	1963	11	35		北美濃 1961	微小地	
<b>科学朝日</b>									
85-1	中川恭次・大崎順彦	新潟地震がのこした問題—振動による地層の液化現象—	1964	24	8 31		新潟 1964	その他	地盤
85-2	力武常次	松代地震その後	1966	26 12 31			松代 1965	一般	
<b>海象と気象</b>									
86-1	尾崎康一	昭和26年2月15日温泉岳地震調査報告(第1報)	1951	5	45		島原 1951	一般	
<b>柿岡地磁気観測所要報</b>									
87-1	吉松隆三郎	昭和18年9月10日鳥取地震と地電位差の変化	1943	5	1 66		鳥取 1943	地電磁	
87-2	K. Yanagihara	Abnormal Variations of Earth-Currents Accompanied with	1956	7	2 19		房総沖 1953	地電磁	
<b>火力発電</b>									
88-1	古賀孝	新潟地震における火力発電所の被害と対策	1964	15	916		新潟 1964	被害	



88-2	下田祥平	新潟地震における北越製紙火力発電所の被害	1965	16	104	新潟	1964	被害	
<b>建築</b>									
89-1	早稲田大学地震災害学生	砂上都市新潟の被害を見る	1964	48	8 99	新潟	1964	被害	
90-1	電々公社建築局標準設計	新潟地震災害調査報告	1964	15	1	新潟	1964	被害	
<b>建築界</b>									
91-1	桜井謙爾	新潟地震新潟市災害調査に参加して	1964	13	8 69	新潟	1964	被害	
91-2	日本経済新聞	沈下ビルの跡始末に弱る新潟	1964	13	8 76	新潟	1964	建被	
91-3	酒井 勉	新潟市における旧河川地域と中層剛性建築物の震害 (1)	1964	13	10 59	新潟	1964	建被	
91-4	酒井 勉	新潟市における旧河川地域と中層剛性建築物の震害 (2)	1964	13	12 31	新潟	1964	建被	
91-5	上野喜義	新潟の異常地震について (2)	1965	14	2 55	新潟	1964	一般	
<b>建設院第一技術研究所概報</b>									
92-1	建設院第一技術研究所	昭和21年12月21日南海地震調査報告	1948	16		南海	1946	一般	
<b>建設者</b>									
93-1	山海道編集部	日本中を震わせた新潟地震 (グラフィア)	1964	2	8 49	新潟	1964	その他	
93-2		新潟地震の教訓 (座談会)	1964	2	8 57	新潟	1964	その他	
<b>気象</b>									
94-1	三浦武直	昭和35年3月21日の三陸沖地震	1960	36	4	三陸	1960	一般	
94-2		チリの地震津波日本をおそう	1960	38	1	チリ	1960	津波	
94-3		チリ地震津波—被害特報	1960	38	11	チリ	1960	津波	
94-4	中原秀生	この目で見たチリ地震津波	1960	42	4	チリ	1960	津波	
94-5	三崎三雄	昭和37年4月30日宮城県北部地震	1962	62	5	宮城北	1962	一般	
94-6		新潟を襲った強震	1964	88	2	新潟	1964	一般	

写真集

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
	気象庁技術報告								
95-1		昭和35年5月24日チリ地震津波調査報告	1961	8		チリ	1960	津波	
95-2		The Report on the Tsunami of the Chilean Earthquake, 1960.	1963	26		チリ	1960	津波	
95-3	気象庁	昭和39年6月16日新潟地震調査報告	1965	43		新潟	1964	一般	
	気象雑纂								
96-1	中村左衛門太郎	得撫島の地震津波に就きて	1918	1	265	ウルブ	1918	津波	
	神戸海洋気象台叢報								
97-1	柳橋嘉市	北伊豆地震調査報告	1931	39		伊豆	1930	一般	
97-2	杉浦次郎・黒沼新一・他	チリ地震津波調査報告補遺	1965	174	21	チリ	1960	津波	
	鉱物と地質								
98-1	吉沢善次郎	南海道地震概報	1947	1	154	南海	1946	一般	
98-2	沢村武雄	南海大地震雑感	1947	1	158	南海	1946	一般	
	高知大学研究報告 自然科学								
99-1	沢村武雄	南海大地震と地殻運動	1951	1	2 20	南海	1946	地殻変	
	高知大学学術研究報告								
100-1	沢村武雄	西南日本外側地震帯の活動と四国およびその附近の地質, 地殻運動	1953	2	15	南海	1946	地活	地質, 地殻変
100-2	沢村武雄	続, 西南日本外側地震帯の活動と四国およびその附近の地質, 地殻	1954	3	19	南海	1946	地活	地質, 地殻変
	工業用水								
101-1	中町弘伸	新潟地震と工業用水道	1964	74	15	新潟	1964	土被	
	国土地理院時報								
102-1	大矢雅彦	チリ一地震津波と海岸地形 (I)	1961	26	6	チリ	1960	津波	地質

102-2	大矢雅彦	チリー地震津波と海岸地形 (II)	1962 27	12	チリ	1960	津波	地質	
102-3	小林基夫・馬籠弘志	新潟地震調査報告 新潟地震の被害と土地条件調査	1965 30	1	新潟	1964	地盤	被害	
港 湾									
103-1	春田精二	新潟地震による新潟港の被害	1964 41	8 29	新潟	1964	土被		
構 造 物 設 計 資 料									
104-1	池田俊雄	新潟震害と設計の問題について	1964 1	3	新潟	1964	被害	防災	
空 気 調 和 ・ 衛 生 工 学									
105-1	新潟地震による被害調査	新潟地震による設備被害 (調査報告)	1964 38	925	新潟	1964	被害		
郷 土 新 潟									
106-1		新潟地震を語る座談会要旨	1964 5	2	新潟	1964	その他		
106-2	波 济 健	瀬波温泉における新潟地震の被害	1964 5	10	新潟	1964	地下水津波	地変	
九 州 大 学 理 学 部 研 究 報 告									
107-1	種子田定勝	地質学之部 チリー津波の沖繩での状況	1961 5	165	チリ	1960	津波		
マ ン ス リ ー エ コ ン									
108-1		建築基礎と地盤—新潟地震の記録—	1964 43	2	新潟	1964	地盤	建被	
名 城 大 学 理 工 学 部 研 究 報 告									
109-1	河内脛雄・桑原 徹・他	新潟市の地盤地質と新潟地震による被害	1965 6	131	新潟	1964	地盤	被害	
Mem. Coll. Sci. Kyoto Imp. Univ. Ser. B									
110-1	T. Ogawa	Notes on the Volcanic and Seismic Phenomena in the Volcanic	1924 1	201	島原	1922	地質	一般	

番号	著者名	題	目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
	<b>Mem. Fac. Eng. Hokkaido Univ.</b>									
111-1	Y. Mizoguchi	On Experiment of a "Tsunami".		1953	9	377	十勝沖	1952	津波	
	<b>Mem. Fac. Eng. Nagoya Univ.</b>									
112-1	M. Ichihara et al.	Studies on the Niigata Earthquake.		1965	17	1	新潟	1964	一般	
	<b>Mem. Imp. Marine Obs., Kobe</b>									
113-1	K. Suda	On the Great Japanese Earthquake of September 1st, 1923.		1924	1	137	関東	1923	一般	
	<b>木材工業</b>									
114-1	杉山英男	新潟地震と木造建築		1964	19	502	新潟	1964	建被	
114-2	山井良三郎・他	新潟地震における木造建物の調査		1964	19	511	新潟	1964	建被	
114-3	三井木材工業株式会社	集成材と新潟地震		1964	19	516	新潟	1964	被害	
	<b>新潟県気象月報</b>									
115-1	新潟地方気象台	新潟地震, 津波		1964	6	17	新潟	1964	一般	津波
	<b>日本地震学会報告</b>									
116-1	J. Miline	明治13年2月日本地震ノ記		1884	1	65	横浜	1880	一般	
	<b>日本海洋学会誌</b>									
117-1	K. Yoshida et al.	On the Tsunami of March 4, 1952.		1953	8	99	十勝沖	1952	津波	Geophysical Notes 6(2) (1953)
117-2	三好 寿	チリ地震津波をめぐって		1960	16	152	チリ	1960	津波	
117-3	三好 寿	チリ地震津波をめぐって II		1960	16	198	チリ	1960	津波	
117-4	三好 寿	チリ地震津波をめぐって III		1961	17	91	チリ	1960	津波	
117-5	三好 寿	チリ地震津波をめぐって IV		1961	17	153	チリ	1960	津波	

日本建築学会研究報告 118-1   北海道工学部建築工	十勝沖地震調査概報	1952 18 269	十勝沖	1952	一般
日本建築学会東北支部研究報告集					
119-1   志賀敏男・小川淳二・他	新潟地震により振動的被害のあつた建物の固有周期について—鶴岡	1964 5	新潟	1964	建被
119-2   志賀敏男・高橋 浩	新潟地震における酒田・鶴岡市の震害と地盤についての考察	1964 5	新潟	1964	地盤被害
農業技術					
120-1   橋本良材	新潟地震と農業災害	1964 19 430	新潟	1964	被害
大阪測候所年報 地震之部					
121-1   大森大吉	8月14日江濃激震の余震	1909 98	江濃	1909	余震
121-2   大森房吉	江濃地震の伝播速度	1909 101	江濃	1909	験測
応用地質					
122-1   安藤高明	新潟地震時における浅層変動の土木地質的解釈 スエーデン式サウ	1965 6 182	新潟	1964	地質
122-2   相原輝雄・小畑桂一	新潟地震時における浅層変動の土木地質的解釈 二重管式コーンベ	1965 6 182	新潟	1964	地盤
122-3   金井孝夫	新潟地震時における浅層変動の土木地質的解釈 新潟浅層地盤にお	1965 6 183	新潟	1964	地盤
122-4   陶山国男・大矢 晁・他	新潟市およびその周辺の地盤と震害について	1965 6 184	新潟	1964	地盤
122-5   山田剛二	新潟地震の鉄道構造物に対する災害	1965 6 185	新潟	1964	土被
Papers in Meteor. and Geophys.					
123-1   S. Suyehiro	Aftershock Sequence of the Izu Earthquake of August, 1956—	1959 9 193	伊豆	1956	余震
Proc. Tokyo Math.-Phys. Soc.					
124-1   F. Omori	Comparison of the Faults in the Three Earthquakes of Mino-	1907 ii 4 30	濃尾	1891	断層
					Formosa (1906) San Fran- cisco (1906)

番号	著者名	題	日	西曆年	巻号	頁	地震名	西曆年	分類	備考
124-2	F. Omori	Note on the Destructive Earthquakes in the Shinano-gawa		1908	ii	4 288	善光寺	1847	一般	越後(1828) 羽前佐波 (1833)
<b>Pub. Bureau Centr. Seism. Int. U. G. G. I. Ser. A.</b>										
125-1	M. Matsuyama	Notes on the Nature of the Kwanto Earthquake, Japan, on		1925	2	1	関東	1923	一般	
<b>Saito Ho-on Kai Museum Res. Bull.</b>										
126-1	S. Nomura et al.	Catalogue of the Shell-bearing Mollusca collected from the		1935	5	1	三陸	1933	その他	
<b>生産研究</b>										
127-1	福田武雄	橋と地震—下部構造に弱点—		1949	1	15	福井	1948	土被	
127-2	久保慶三郎	新潟地震における土木構造物の被害		1964	16	272	新潟	1964	土被	
127-3	坪井善勝・田中尚・他	新潟地震の特性と建築物の被害		1964	16	280	新潟	1964	建被	
127-4	生産技術研究所工場防災	新潟地震における工場施設の被害について		1964	16	284	新潟	1964	防災	被害
127-5	丸安隆和・西尾元充	航空写真による新潟地震の調査		1964	16	306	新潟	1964	その他	
127-6	佐藤寿芳・鈴木浩平・他	松代地震の高域振動数特性性について		1966	18	280	松代	1965	験測	
<b>Seism. Jour. Japan</b>										
128-1	J. Milne	A Note on the Great Earthquake of October 28th, 1891.		1893	17	127	濃尾	1891	一般	
128-2	J. Conder	An Architect's Notes on the Great Earthquake of October,		1893	18	1	濃尾	1891	建被	
<b>石油技術協会誌</b>										
129-1	筒浦明	十勝沖地震によって変動した石油ガス性の“泥火山”日高新山の研		1952	17	295	十勝沖	1952	地変	昇降
<b>戦災復興院技術研究所要報</b>										
130-1	亀井勇	昭和21年12月21日南海道地震被害調査報告		1947	17		南海	1946	被害	
130-2	横井鎮男	和歌山県下に於ける震災と建築物の被害について		1947	17	1	南海	1946	津被	
130-3	鯉田和男	和歌山県津浪被害状況調査報告		1947	17	25	南海	1946	津被	
130-4	広井正路	岡山県及び香川県に於ける震害調査報告		1947	17	30	南海	1946	被害	
130-5	佐藤寿芳	高知県に於ける震害調査報告		1947	17	35	南海	1946	被害	

資源科学研究所彙報 131-1 大矢雅彦	紀伊半島の海岸地形とチリ—地震津波	1962 56	62	チリ	1960	津波	地質
新建築 132-1 竹山謙三郎	新潟地震と耐震構造への反省	1964 39	8 187	新潟	1964	建被	耐震
132-2 早稲田大学新潟地震災害	新潟地震建築被害写真	1964 39	8 189	新潟	1964	建被	
132-3 柴田徳衛	新潟地震で考えること、新産都市の弱点	1964 39	8 193	新潟	1964	一般	
新都市 133-1 具島文彦	新潟地震と下水道	1964 18	8 32	新潟	1964	土被	
自然 134-1 三好 寿	チリ地震津波の実態	1960 15	8 11	チリ	1960	津波	
134-2 森本良平	松代地震の1年	1966 21	10 32	松代	1965	一般	
測候時報 135-1 本多弘吉	地震津波に関する話	1933 4	139	三陸	1933	津波	
測地学会誌 136-1 地理調査所	十勝沖地震復旧測量報告	1956 2	79	十勝沖	1952	測量	
136-2 I. Tsubokawa et al.	Crustal Movements before and after the Niigata Earthquake	1964 10	165	新潟	1964	地殻変	
136-3 K. Nakamura et al.	Tilting and Uplift of an Island, Awashima, near the Epicentre	1964 10	172	新潟	1964	傾斜	昇降
136-4 A. Mogi et al.	Submarine Crustal Movement due to the Niigata Earthquake	1964 10	180	新潟	1964	地殻変	
136-5 S. Yamaguti	On the Changes in the Height of Mean Sea-Level before	1964 10	187	新潟	1964	海況	
136-6 藤田尚美	新潟地震に伴なう地磁気の変動	1965 11	8	新潟	1964	地電磁	
136-7 檀原 毅	松代地震に関連した地殻の上下変動	1966 12	18	松代	1965	昇降	
測量 137-1 中野尊正	軟弱地盤と震災—新潟地震の教えるもの—	1964 14	8 26	新潟	1964	地盤	被害

番号	著者名	題	日	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
137-2	黒田和男	新潟地震災害とその地質学上の問題点		1964	14	29	新潟	1964	地質	
137-3		新潟地震防災総合研究計画		1964	14	32	新潟	1964	防災	
137-4	武田裕幸	航空写真による新潟地震調査の一例		1964	14	33	新潟	1964	その他	
<b>Special Contributions Geophys. Inst. Kyoto Univ.</b>										
138-1	H. Higuchi	On the Behavior of Chilean Tsunami in the Seto Inland Sea.		1963	1	21	チリ	1960	津波	
<b>水道協会雑誌</b>										
139-1	金子善生	新潟地震と水道の応急対策について		1964	361	36	新潟	1964	土被	
<b>水路部彙報</b>										
140-1	水路部・他	昭和21年南海地震災害状況(港湾関係)		1947	2	39	南海	1946	土被	
<b>水路部研究報告</b>										
141-1	松崎卓一	新潟地震に伴う地磁気の変化について		1966	1	11	新潟	1964	地電磁	
<b>帝国学士院紀事</b>										
142-1	今村明恒	古代の比内地震,特に埋設家屋中より発見せる一器具によりて推定		1943	2	329	天安	857	一般	
142-2	今村明恒	大宝元年及び慶長元年の陥没性 本邦大地震に就て		1946	4	369	丹後	701	一般	豊後(1596)
142-3	八木貞助	弘化4年の善光寺大地震に随伴し継続したる陸地変形に就て		1947	5	180	善光寺	1847	地殻変	一般
<b>天文学及地球物理学邦文輯報</b>										
143-1	宮部直巳	昭和15年8月2日,日本海に起つた地震津浪の調査報告		1941	1	2	13	1940	津波	
143-2	中村左衛門太郎	昭和14年5月1日男鹿半島地震と震央附近に於ける地磁気変化		1941	1	3	55	1939	地電磁	一般
<b>鉄道技術研究所速報</b>										
144-1	山田剛二・田中寿男・他	災害盛土土質調査 宮城県北部地震による		1962		327	宮城北	1962	地質	



東北地理 145-1 福井英夫・渡辺良雄・他 145-2 今野円蔵・北村 信・他 145-3 田辺健一・長谷川典夫 145-4 中村三郎	三陸海岸中南部地域におけるチリ地震津波について チリ地震津波による侵蝕と堆積について一とくに、岩手県三陸海岸 新潟地震災害調査速報 新潟地震によつて地すべり地域に発生した2, 3の現象	1960 12 80 1960 12 120 1964 16 140 1964 16 179	チリ 1960 チリ 1960 新潟 1964 新潟 1964	津波 津波 被害 地下水地変, 地
東北大学建築学報 146-1 吉岡 丹・志賀敏男 146-2 志賀敏男・佐藤淑子 146-3 吉岡 丹・石神武男・他 146-4 志賀敏男・小川淳二 146-5 志賀敏男・小川淳二	十勝沖地震被害調査報告 宮城県北部地震による地上円筒型深水槽の流出について 宮城県北部地震によるコンクリートプロック造の被害例について 宮城県北部地震により破損した建物の固有振動周期について チリ一地震津波のさいの大船渡市大船渡地区における最高設水高分	1952 1 1 1963 9 9 1963 9 9 1963 9 9 1963 9 9	十勝沖 1952 宮城北 1962 宮城北 1962 宮城北 1962 チリ 1960	被害 土波 建波 建波 津波
东北大学理学部地質学古生物学教室研究邦文報告 147-1 今野円蔵・岩井淳一・他	チリ地震津波による三陸沿岸被災地の地質学的調査報告	1961 52	チリ 1960	津波 地質
東京物理学校雑誌 148-1 148-2 148-3 148-4	6月20日強震波線図 出羽大震 大津嘯前後地球磁力ノ変動 陸羽震災前ニ於ケル地球磁力ノ変動	1894 3 27 269 1894 4 37 27 1896 5 260 1896 5 320	東京 1894 庄内 1894 陸羽 1896	験測 一般 地電磁 地電磁前兆
東京地学協会報告 149-1 巨智部忠承	尾濃越三国震災地視察の結果	1891 13 7 3	濃尾 1891	踏報
東京大学工学部土木工学科論文集録 150-1 渡辺 隆	新潟地震におけるパイロプロローテーションの効果	No. 1965 2 6501	新潟 1964	被害 土と基礎 13(2)

番号	著者名	題目	西暦年	巻号	頁	地震名	西暦年	分類	備考
<b>東京大学理学部地球物理学教室研究报告</b>									
151-1	吉田耕造・山際民郎・他	南海地震津波調査報告 (和歌山県及徳島県下実地踏査速報 I)		1	10	南海	1946	津報	
151-2	吉田耕造	南海地震津波調査報告 II (主として高知及徳島県下踏査速報)		1	17	南海	1946	津報	
151-3	平尾邦雄	南海地震後の地電流変化について (I)	1947	1	29	南海	1946	地電磁	
151-4	鈴木次郎・浅田 敏	南海地震の余震について I 余震の統計的な記述	1947	1	32	南海	1946	余震	
151-5	鈴木次郎・浅田 敏	南海地震の余震について II 地震動の周期	1947	1	33	南海	1946	余震	
151-6	浅田 敏・鈴木次郎	南海地震の余震について III 地震動の分析	1948	1	34	南海	1946	余震	
151-7	T. Asada et al.	On Microearthquakes Having Accompanied Aftershocks of	1949	2	16	福井	1948	微小地震	
<b>Trans. Amer. Geophys. Union</b>									
152-1	T. Nagata	Summary of the Geophysical Investigations on the Great	1950	31	1	南海	1946	一般	
152-2	E. Nishimura et al.	On Tilting Motion of Ground Observed before and after the	1953	34	597	大聖寺	1952	傾斜	
<b>Trans. Asiatic Soc. Japan</b>									
153-1	I. Hattori	Destructive Earthquakes in Japan.	1878	6	249			地活	
<b>Trans. Seism. Soc. Japan</b>									
154-1	J. Milne	The Earthquake in Japan of February 22nd, 1880.	1880	1	2	1	横浜	1880	一般
154-2	T. Dan	Notes on the Earthquake at Atami, in the Province of Idzu,	1883	5	95	熱海	1882	一般	9月29日
154-3	S. Sekiya	The Severe Japan Earthquake of the 15th of January, 1887.	1887	11	79	横浜	1887	一般	被害
154-4	N. Otsuka	The Kumamoto Earthquake of July 28th, 1889.	1890	15	47	熊本	1889	一般	
<b>土と基礎</b>									
155-1	最上武雄	新潟地震と土質工学の課題	1964	12	8	1	新潟	1964	防災
155-2	大崎順彦・他	新潟地震速報	1964	12	8	3	新潟	1964	一般
155-3	加納 博	秋田市の震害と軟弱地盤	1964	12	8	21	新潟	1964	被害
155-4	小寺重郎	地盤、基礎の震害が橋に及ぼす影響—新潟地震に関連して—	1964	12	8	27	新潟	1964	土被
155-5	小泉安則	新潟地震における砂の密度変化	1965	13	2	12	新潟	1964	その他

155-6	北後 寿	新潟地震における施工中のペデスタルグイの挙動	1965 13 2 20	新潟	1964	その他
155-7	市原松平・田畑和男・他	新潟地震前後における山の下岸壁のタイロッド張力ならびに土圧の	1966 14 3 13	新潟	1964	その他
155-8	高瀬国雄・天野 允・他	地震によるアースダム被害	1966 14 10 3	新潟	1964	土被
<b>早稲田建築学報 大正13年特別号</b>						
156-1	内藤多伸	震火災調査報告 架構建築と震害	1924	関東	1923	建被
156-2	岡田信一郎	震火災調査報告 震災と日本建築	1924	関東	1923	建被
156-3	尾崎久助	震火災調査報告 コンクリートブロックの耐震火価値	1924	関東	1923	建被 火災
156-4	早稲田大学理工学部建築	震火災調査報告 調査報告	1924	関東	1923	建被 火災 被害
<b>山形大学紀要 自然科学</b>						
157-1	原口九万・山形 理	新潟地震による酒田市の噴砂現象について	1964 6 207	新潟	1964	地変

番号	著者名	題	日	発行所	西暦年	西暦巻頁	地震名西暦年	分類	備考
<b>江濃地震報告</b>									
A-1	今村明恒	最近の近江地震に就て		岐阜測候所	1910	80	江濃 1909	一般	
A-2	大森房吉	明治42年8月14日近江地方の地震に就きて 地質学上ノ見地ニ依ル江濃地震		岐阜測候所	1910	95	江濃 1909	一般	
A-3	小藤文次郎	明治42年8月14日江濃地震ノ伝播速度		岐阜測候所	1910	97	江濃 1909	地質	
A-4	大森房吉	江濃地震ニ関スル地質上ノ説		岐阜測候所	1910	105	江濃 1909	験測	
A-5	小川琢治	地質学上ヨリ見タル江濃地震		岐阜測候所	1910	106	江濃 1909	地質	
A-6	中村新太郎	明治42年8月14日江濃地震ノ余震		岐阜測候所	1910	107	江濃 1909	地質	
A-7	大森房吉	建築上ヨリ見タル江濃ノ地震		岐阜測候所	1910	114	江濃 1909	余震	地質調査所報告 15(1909)
A-8	佐野利器	江濃震災地巡見記		岐阜測候所	1910	117	江濃 1909	建被	耐震
A-9	木村調吉	地質学上ヨリ観タル江濃ノ地震		岐阜測候所	1910	118	江濃 1909	一般	
A-10	巨智部忠承	耐震家屋ニ就テ 江濃震災地視察談		岐阜測候所	1910	127	江濃 1909	地質	岐阜日日新聞 より転載 方朝報より転載
A-11	保岡勝也			岐阜測候所	1910	130	江濃 1909	建被	
<b>大正大震火災誌</b>									
A-12	今村明恒	関東大地震並に余震概説		改造社	1924		関東 1923	余震	地震火災誌 P. 3~14
A-13	中村左衛門太郎	関東大地震の源因と結果		改造社	1924		関東 1923	一般	地震火災誌 D. 15~23
A-14	井上禰之助	地質学上から觀察した関東大地震		改造社	1924		関東 1923	地殻変	地震火災誌 P. 24~27
A-15		1月15日の地震と災害		改造社	1924		関東 1923	被害	地震火災誌 P. 89~90
A-16	永田秀次郎	東京市の災害		改造社	1924		関東 1923	被害	災害誌 D. 3~13
A-17	渡辺勝三郎	横浜市の被害状況		改造社	1924		関東 1923	被害	災害誌 P. 14~15
A-18	西坂勝人	横浜市及神奈川県下の震災状況		改造社	1924		関東 1923	被害	災害誌 P. 16~22
A-19	鶴見祐輔	鉄道と震災		改造社	1924		関東 1923	土被	災害誌 D. 31~38
A-20	樺島正義	橋梁の被害と其将来		改造社	1924		関東 1923	土被	災害誌 P. 39~48
A-21	伊東忠大	特別保護建造物の被害		改造社	1924		関東 1923	建被	災害誌 p. 120~123

A-22	中川忠順	湘南地方に於ける社寺の震災被害	改造社	1924	関東	1923	建被	災害誌 p. 124~133	
A-23		漁港と漁場の被害	改造社	1924	関東	1923	被害	災害誌 p. 139	
A-24	内田祥三	建築物の耐震火構造	改造社	1924	関東	1923	建被	震災の影響 p. 3~44	
<b>東京府 大正 震災誌</b>									
A-25	今村明恒	大正12年関東地方大地震について	東京府	1925	関東	1923	一般		
A-26	中村左衛門太郎	大正12年関東大地震	東京府	1925	関東	1923	一般		
A-27	藤原映平	大正12年大震火災当時の天候状態	東京府	1925	関東	1923	その他		
A-28	中村清二	大正大地震と火災	東京府	1925	関東	1923	火災		
A-29	佐野利器	大震災と建築	東京府	1925	関東	1923	建被		
A-30	井上壽之助	地震による地変	東京府	1925	関東	1923	地変		
A-31	今村明恒	東京を襲へる歴史地震	東京府	1925	関東	1923	一般		
<b>北 但 震災誌</b>									
A-32	海洋氣象台神戸測候所	大正14年5月23日北但地震調査略報	兵庫	1926	但馬	1925	一般		
A-33	中村左衛門太郎	坂崎の地震に対する調査	兵庫	1926	但馬	1925	一般	斎藤報恩会学 術報告 1巻7号	
A-34	今村明恒	但馬大地震の観測に就て	兵庫	1926	但馬	1925	験測	評論 1巻7号	
A-35	山崎直方	但馬地震の震源	兵庫	1926	但馬	1925	地質	地理学評論 1巻7号	
A-36	山崎直方 (神戸測候所)	但馬地震と気象台状態	兵庫	1926	但馬	1925	その他		
A-37	石川成章・梶山次郎・他	北但地震踏査記	兵庫	1926	但馬	1925	踏報	地球4巻1号	
<b>昭和5年11月26日 豆相地震報告</b>									
A-38	志賀徹二	驗震概況	神奈・測候所	1931	伊豆	1930	験測		
A-39	川名徳一	箱根方面被害踏査報告	神奈・測候所	1931	伊豆	1930	踏報	被害	
A-40	高木 健	震災地踏査概要	神奈・測候所	1931	伊豆	1930	踏報		
A-41	志賀徹二	豆相震災状況視察ノタメ箱根町及静岡県三島町ニ出張報	神奈・測候所	1931	伊豆	1930	踏報		
A-42	志賀徹二・東海慶三郎	震災地精査調査書	神奈・測候所	1931	伊豆	1930	踏報		

番号	著者名	題	目	発行所	西暦年	西暦年	頁	地震名	西暦年	分類	備考
A-43	高木 健・木下鎮藏	箱根火山被害地踏査報告	箱根火山被害地踏査報告	神奈・測候所	1931	1931	36	伊豆	1930	踏報	
A-44	西村秀雄	昭和5年11月豆相激震当時現レタル稲妻嶽ノ光ニ因スル	昭和5年11月豆相激震当時現レタル稲妻嶽ノ光ニ因スル	神奈・測候所	1931	1931	51	伊豆	1930	発光	
A-45	川名徳一・庄山俊治	豆相地震ニヨル箱根外輸山方面被害踏査復命書	豆相地震ニヨル箱根外輸山方面被害踏査復命書	神奈・測候所	1931	1931	53	伊豆	1930	踏報	
A-46	高木 健	蘆ノ湖水位ノ変動	蘆ノ湖水位ノ変動	神奈・測候所	1931	1931	54	伊豆	1930	セイシ	
A-47	神奈川県社会課	豆相地震ニヨル被害家屋調	豆相地震ニヨル被害家屋調	神奈・測候所	1931	1931	59	伊豆	1930	建被	
A-48	高木 健	概括	概括	神奈・測候所	1931	1931	64	伊豆	1930	一般	
A-49	高木 健	今回ノ地震ハ予想シ得タリ	今回ノ地震ハ予想シ得タリ	神奈・測候所	1931	1931	66	伊豆	1930	その他	
<b>三陸沖強震及津波概報</b>											
A-50	国富信一・竹花孝夫	昭和8年3月3日三陸沖強震及津波概説	昭和8年3月3日三陸沖強震及津波概説	中央気象台	1933	1933	1	三陸	1933	一般	津波
A-51	齋坂清信	三陸沖強震験測結果	三陸沖強震験測結果	中央気象台	1933	1933	25	三陸	1933	験測	
A-52	石川高見	三陸沖強震の震度分布	三陸沖強震の震度分布	中央気象台	1933	1933	37	三陸	1933	その他	
A-53	石川高見	既往の三陸津波及今回の強震の前震	既往の三陸津波及今回の強震の前震	中央気象台	1933	1933	39	三陸	1933	一般	津波, 前震
A-54	中央気象台地震掛	三陸津波による被害調査報告	三陸津波による被害調査報告	中央気象台	1933	1933	49	三陸	1933	津波	
A-55	関口鯉吉	候潮儀に依る津波の調査報告	候潮儀に依る津波の調査報告	中央気象台	1933	1933	55	三陸	1933	津波	
A-56	本多弘吉・田島節夫	岩手県下踏査報告	岩手県下踏査報告	中央気象台	1933	1933	61	三陸	1933	踏報	
<b>昭和19年12月7日東南海大地震調査概報</b>											
A-57	藤原咲平	地震調査私見	地震調査私見	中央気象台	1945	1945	1	東南海	1944	一般	
A-58	本間 寧	昭和19年12月7日の東南海大地震に就て	昭和19年12月7日の東南海大地震に就て	中央気象台	1945	1945	4	東南海	1944	一般	
A-59	井上宇流	静岡県下震災地踏査報告	静岡県下震災地踏査報告	中央気象台	1945	1945	11	東南海	1944	踏報	
A-60	御前崎測候所	昭和19年12月7日東南海地震調査報告	昭和19年12月7日東南海地震調査報告	中央気象台	1945	1945	26	東南海	1944	一般	
A-61	本間正作・斎藤光太郎・他	昭和19年12月7日東南海地震実地踏査概報(遠州灘沿岸)	昭和19年12月7日東南海地震実地踏査概報(遠州灘沿岸)	中央気象台	1945	1945	28	東南海	1944	踏報	
A-62	高木 健・山之上昭和・他	昭和19年12月7日東南海地震踏査報告	昭和19年12月7日東南海地震踏査報告	中央気象台	1945	1945	53	東南海	1944	踏報	
A-63	齋坂清信・黒沼新一	昭和19年12月7日東南海地震の三重・和歌山両県下実地	昭和19年12月7日東南海地震の三重・和歌山両県下実地	中央気象台	1945	1945	58	東南海	1944	踏報	
A-64	酒井乙彦	昭和19年12月7日13時36分頃の遠州灘地震被害踏査報告	昭和19年12月7日13時36分頃の遠州灘地震被害踏査報告	中央気象台	1945	1945	68	東南海	1944	踏報	被害
A-65	武者金吉	外側地震帯中部より発する大地震	外側地震帯中部より発する大地震	中央気象台	1945	1945	84	東南海	1944	一般	

昭和21年12月21日南海道大地震調査概報

A-66	和達清夫	概況	中央氣象台	1947	4	南海	1946	一般
A-67	地震課	南海道大地震験測概況	中央氣象台	1947	6	南海	1946	験測
A-68	竹花峯夫・清水良作・他	津浪の状況	中央氣象台	1947	12	南海	1946	津波
A-69	地震課	地震及び津浪による被害	中央氣象台	1947	16	南海	1946	被害
A-70	地震課	地盤の隆起沈下	中央氣象台	1947	18	南海	1946	昇降
A-71	吉松隆三郎	南海道地震前後に於ける地電流の変化	中央氣象台	1947	18	南海	1946	地電磁
A-72	高木 聖	南海道地震の前後に於ける特殊磁力計(高木式)による	中央氣象台	1947	21	南海	1946	験測
A-73	鷲坂清信・末広重二・他	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 和歌山県	中央氣象台	1947	22	南海	1946	踏報
A-74	大阪管区氣象台・他	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 大阪府	中央氣象台	1947	32	南海	1946	踏報
A-75	井上宇胤・関口字一郎	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 徳島県下	中央氣象台	1947	40	南海	1946	踏報
A-76	徳島測候所	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 徳島県下	中央氣象台	1947	46	南海	1946	踏報
A-77	武石 武・長宗留男	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 香川県及	中央氣象台	1947	48	南海	1946	踏報
A-78	清水良作・末広重二	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 中村町調	中央氣象台	1947	52	南海	1946	踏報
A-79	高松管区氣象台・他	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 四国地方	中央氣象台	1947	54	南海	1946	踏報
A-80	中央氣象台・他	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 中国地方	中央氣象台	1947	57	南海	1946	踏報
A-81	広島管区氣象台・他	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 九州地方	中央氣象台	1947	63	南海	1946	踏報
A-82	本多 彪・岩井保彦	昭和21年12月21日南海道地震災害地踏査報告 九州各県	中央氣象台	1947	65	南海	1946	踏報
A-83	森田 稔	津浪の来襲と住民の退避状況について	中央氣象台	1947	72	南海	1946	踏報
A-84		海震報告	中央氣象台	1947	76	南海	1946	津波
A-85			中央氣象台	1947	84	南海	1946	海震
南海大震災誌								
A-86	金井 清・田中貞二・他	高知県に於ける南海地震の建物被害調査報告	高 知 県	1949 付	1	南海	1946	建被
A-87	河角 広・佐藤泰夫	南海地震による地変、津浪、震度と震害特に南海地震の	高 知 県	1949 付	18	南海	1946	一般
A-88	水上 武・佐久間修三・他	余震の地震動から観た高知市内の地盤の震動性能	高 知 県	1949 付	53	南海	1946	地盤
A-89	萩原尊禮・村内必典・他	南海地震の余震観測報告	高 知 県	1949 付	65	南海	1946	余震
A-90	宮村棋三・貝塚爽平・他	高知県に於ける南海地震の震害と地盤について	高 知 県	1949 付	76	南海	1946	地盤
A-91	岸上冬彦	土佐において大地震に伴つた土地の隆起沈降の復旧につ	高 知 県	1949 付	95	南海	1946	昇降

「津波」  
被災、被害、  
余震  
被害

番号	著者	名	題	発行所	西暦年	巻頁	地震名	西暦年	分類	備考
A-92	金井 清・田中貞二・他		高知県中村町において弾性波地下探査結果	高知	1949	付 98	南海	1946	地盤	地質
A-93	森本良平		高知県地質図	高知	1949	付 106	南海	1946	地質	
A-94	高橋龍太郎・他		高知県須崎町及新宇佐町の津浪調査報告	高知	1949	付 114	南海	1946	津波	
A-95	那須信治・白井俊明		高知県種崎及久礼に於ける津浪調査報告	高知	1949	付 130	南海	1946	津波	
A-96	河角 廣		南海大地震の調査より見たる震度と震害	高知	1949	付 138	南海	1946	被害	その他
A-97	金井 清		耐震構造について	高知	1949	付 153	南海	1946	耐震	
A-98	中央氣象台地震課		南海道大地震調査概報	高知	1949	付 161	南海	1946	一般	
A-99	建設省地理調査所		高知地方一等水準換測実施報告	高知	1949	付 165	南海	1946	測量	
A-100	山口生知		地震予知の問題に就て	高知	1949	付 168	南海	1946	前兆	
A-101	高知県商工会議所		大震災と本県産業	高知	1949	付 170	南海	1946	被害	
A-102	永田 武		高知県室戸町及び高知市における地震観測の結果中間報告	高知	1949	付 177	南海	1946	地電磁	余震
A-103	平尾邦雄		南海地震の余震観測中間報告	高知	1949	付 184	南海	1946	余震	
A-104			南海大震災誌	高知	1949	1	南海	1946	一般	
<p><b>四国地方地盤変動調査報告書</b> (四国地方経済復興開発委員会地盤変動調査専門委員会)</p>										
A-105	鷲坂清信		歴史時代における四国地方の地盤変動について(第一報)	地・変・調・専・委	1949	1	南海	1946	地盤変	
A-106	松田 啓		新居浜港附近地盤沈下調査報告	地・変・調・専・委	1949	1	南海	1946	昇降	
A-107	佐々憲三		徳島県下塩害地調査概報	地・変・調・専・委	1949	2	南海	1946	被害	
A-108	百瀬寛人		徳島県東海岸に於ける水田の塩害	地・変・調・専・委	1949	2	南海	1946	被害	
A-109	速水頌一郎		徳島県板野郡川内村塩害調査報告	地・変・調・専・委	1949	2	南海	1946	被害	
A-110	西村英一		四国地盤変動の地下深所に於ける観測(第一報)	地・変・調・専・委	1949	2	南海	1946	地盤変	
A-111	吉川宗治		新居浜市地盤調査報告	地・変・調・専・委	1949	2	南海	1946	地盤	
A-112	河角 廣・表 俊一郎・他		驗潮記録より知らるる四国地方の地盤変動(中間報告)	地・変・調・専・委	1949	3	南海	1946	海況	地盤変
A-113	岸上冬彦・池上良平		四国地方地盤変動調査 高知県第一次調査中間報告	地・変・調・専・委	1949	3	南海	1946	地盤変	
A-114	永田 武・岡田 惇		四国地方地盤変動 特に室戸岬附近変動の近況に關する	地・変・調・専・委	1949	3	南海	1946	地盤變	
A-115	森本良平		四国に於ける水準点変動と地質との關係に就いて(中間報告)	地・変・調・専・委	1949	3	南海	1946	地盤變	地質
A-116	那須信治		四国地形変動調査(海岸測量調査)概報	地・変・調・専・委	1949	3	南海	1946	地盤變	
A-117	高橋龍太郎		地盤沈下測定結果 暫定報告	地・変・調・専・委	1949	3	南海	1946	昇降	



A-118	松沢武雄・浅田 敏・他	微小地震観測報告	1949 4	1	南海	1946	微小地	
A-119	成岡昌夫	第1回高知市(旧市)水準測量	1949 4	4	南海	1946	測量	
A-120	福岡正己	徳島県板野郡川内村塩害調査報告	1949 4	11	南海	1946	被害	地質
A-121	松下 進・岡田節夫	四国地方地盤変動の地質学的研究	1949 5	1	南海	1946	地殻変	
A-122	西村英一	四国地盤変動の地下深所における観測 第二報	1949 5	15	南海	1946	地殻変	
A-123	西村英一	四国地盤変動の地下深所における観測 第三報	1950 6	1	南海	1946	測量	地殻変
A-124	永田 武・岡田 惇	室戸岬附近精密水準測量報告(四国地方地盤沈下調査研	1950 6	3	南海	1946	測量	
A-125	成岡昌夫	高知市(旧市)水準測量(第1報)	1950 6	7	南海	1946	測量	
A-126	森吉満助	徳島市及周辺水準測量(第2報)	1950 6	9	南海	1946	測量	
A-127	萩原尊禮・力武常次・他	松山市に於ける地殻変動の観測	1950 6	14	南海	1946	地殻変	
A-128	百瀬寛人	徳島市内地盤調査報告	1950 6	21	南海	1946	地盤	
A-129	百瀬寛人	徳島県川内村地盤調査報告	1950 6	28	南海	1946	地盤	
A-130	高橋龍太郎・那須信治・他	1949年に於ける四国地方の地盤変動量	1950 7	1	南海	1946	地殻変	
A-131	速水頌一郎	地盤沈下による海岸地下水の変動と塩害について(徳島	1950 7	5	南海	1946	地下水	被害
A-132	高橋龍太郎・相田 勇・他	愛媛県高縄半島における精密水準測量の結果報告	1950 7	22	南海	1946	測量	地殻変
A-133	河角 広・表 俊一郎	験潮記録より知らるる、四国地方の地盤変動(第二報)	1950 7	30	南海	1946	測量	
A-134	地理調査所	南海震災一等水準点検測成果中間報告	1950 8	1	南海	1946	地盤	被害
A-135	地盤変動調査専門委員会	地盤変動被害調査	1950 8	17	南海	1946	地盤	被害
A-136	地盤変動調査専門委員会	地盤変動被害状況図	1950 8	28	南海	1946	地盤	被害
A-137		災害並復旧状況	1951 9	9	南海	1946	被害	
<b>昭和23年福井地震調査研究速報</b>								
A-138	河角 廣	(日本学術会議福井地震調査研究特別委員会)	1949	1	福井	1948	一般	
A-139	廣野卓蔵	福井地震観報	1949	15	福井	1948	験測	
A-140	越川善明	福井地震の地震計による験測結果	1949	23	福井	1948	験測	
A-141	表 俊一郎・浅田 敏・他	福井地震の地震計測結果	1949	25	福井	1948	余震	
A-142	田中貞二	福井地震余震観測第1報	1949	28	福井	1948	微小地	
A-143	浅田 敏・鈴木次郎	福井県芦原町に於ける微小震動の観測	1949	29	福井	1948	余震	
A-144	佐藤泰夫	福井地震の非常に小さな余震に就て(第1報)	1949	35	福井	1948	通調	その他
		通信調査によつて知られた福井地震の震度分布について	1949					

番号	著者	題	目	発行所	西暦年	巻頁	地震名	西暦年	分類	備考
A-145	鷺坂清信	福井地震の体験記による調査		日・学・福・調・特	1949	37	福井	1948	一般	
A-146	本多 彪・野口憲男	福井地震踏査報告		日・学・福・調・特	1949	40	福井	1948	踏報	
A-147	末廣重二・久木壮一	福井地震踏査速報		日・学・福・調・特	1949	41	福井	1948	踏報	
A-148	松田友明	福井地震一般調査報告		日・学・福・調・特	1949	44	福井	1948	一般	
A-149	宮部直巳・大西千秋・他	福井地震の際の亀裂分布に関する調査報告		日・学・福・調・特	1949	47	福井	1948	断層	亀裂
A-150	加藤愛雄・庄可力偉・他	福井地震の地裂と模型実験		日・学・福・調・特	1949	50	福井	1948	断層	亀裂
A-151	永田 武・岡田 惇	福井地震に伴った福井市一犬聖寺町間の水準線路の変動		日・学・福・調・特	1949	56	福井	1948	地殻変	
A-152	地理調査所	福井地震に依る一水準点の垂直変動について		日・学・福・調・特	1949	58	福井	1948	昇降	
A-153	平能金太郎・相田 勇・他	福井県勝山街道における水準測量		日・学・福・調・特	1949	60	福井	1948	測量	
A-154	萩原尊禮・力武常次・他	福井県北郷村に於ける土地傾斜変化および伸縮の観測		日・学・福・調・特	1949	61	福井	1948	傾斜	伸縮
A-155	小澤泉夫	福井地震前後の地殻の歪観測及余震		日・学・福・調・特	1949	64	福井	1948	地殻変	余震
A-156	武藤勝彦・奥田豊三	越前平野に於ける簡易三角測量成果概報		日・学・福・調・特	1949	66	福井	1948	測量	地殻変
A-157	那須信治	福井地震に伴った断層に就て		日・学・福・調・特	1949	69	福井	1948	断層	
A-158	那須信治・川島正治	越前平野に於ける水準測量		日・学・福・調・特	1949	71	福井	1948	測量	
A-159	田山利三郎・諸岡直己	福井地震々々城海面調査概報		日・学・福・調・特	1949	74	福井	1948	海況	
A-160	中村左衛門太郎・他	福井新瀨岡地磁気観測の結果 第1報		日・学・福・調・特	1949	77	福井	1948	地電磁	
A-161	佐野重雄	福井地震に際しての地磁気観測結果		日・学・福・調・特	1949	78	福井	1948	地電磁	
A-162	湯村哲男・桜井謙二・他	福井地震の地球磁気観測による調査		日・学・福・調・特	1949	80	福井	1948	地電磁	
A-163	加藤愛雄・歌代真吉・他	福井地震に伴った地磁気伏角の変化について		日・学・福・調・特	1949	85	福井	1948	地電磁	
A-164	西村英一・一戸時雄・他	地震後の福井附近における土地並びに地磁気の変動に就		日・学・福・調・特	1949	86	福井	1948	地殻変	地電磁
A-165	平尾邦雄	福井地震後の地電流変化		日・学・福・調・特	1949	87	福井	1948	地電磁	
A-166	加藤愛雄・稻場文雄・他	福井地震の震央地附近の地電位差の分布について		日・学・福・調・特	1949	89	福井	1948	地電磁	
A-167	加藤愛雄・歌代真吉・他	福井地震の余震に伴った地電流の変化について		日・学・福・調・特	1949	90	福井	1948	地電磁	余震
A-168	下郷大輔	福井地震に伴ふ同地方地下水の変化に就て		日・学・福・調・特	1949	92	福井	1948	地下水	
A-169	瀬野錦蔵・松原 茂	福井地震による地下水の変化に就いて		日・学・福・調・特	1949	94	福井	1948	地下水	
A-170	村井 勇	福井県坂井郡及び丹生郡附近の地質構造, その他		日・学・福・調・特	1949	100	福井	1948	地質	
A-171	水上 武・佐久間修三	福井市南方の各種地盤上の地震動の比較		日・学・福・調・特	1949	103	福井	1948	地盤	
A-172	中村左衛門太郎	福井平野に於ける重力破現象		日・学・福・調・特	1949	107	福井	1948	その他	重力

A-173	宮部直己・植田勇雄・他	地震動による家屋の歪の測定	日・学・福・調・特	1949	108	福井	1948	建振	
A-174	金井 清・田中貞二・他	木造建物の震害調査報告	日・学・福・調・特	1949	110	福井	1948	建被	
A-175	高橋龍太郎	鉄道の被害二三について	日・学・福・調・特	1949	114	福井	1948	土被	
<b>The Fukui Earthquake of June 28, 1948: Report of the Special Committee for the Study of the Fukui Earthquake. Ed. by H. Tsuya.</b>									
A-176	H. Kawasumi et al.	Chapter 1. General Description.	S. C. S. F. E.	1950	1	福井	1948	一般	
A-177	W. Inouye et al.	Chapter 2. Seismometrical Features.	S. C. S. F. E.	1950	29	福井	1948	験測	
A-178	S. Omote et al.	Chapter 3. Aftershocks.	S. C. S. F. E.	1950	37	福井	1948	余震	
A-179	T. Minakami et al.	Chapter 4. Nature of Earthquake-Motions on	S. C. S. F. E.	1950	79	福井	1948	一般	
A-180	N. Nasu et al.	Chapter 5. Crustal Deformation.	S. C. S. F. E.	1950	93	福井	1948	地殻変	
A-181	N. Miyabe et al.	Chapter 6. Macroseismic Features.	S. C. S. F. E.	1950	131	福井	1948	微小地	
A-182	Y. Kato et al.	Chapter 7. Electric and Magnetic Features.	S. C. S. F. E.	1950	167	福井	1948	地電磁	
A-183	K. Kanai et al.	Chapter 8. Damage to Buildings and Civil	S. C. S. F. E.	1950	185	福井	1948	建被	
<b>十勝沖地震調査報告 1952年3月4日 (十勝沖地震調査委員会)</b>									
A-184	井上字胤	概観	十勝地・調・委	1954	6	十勝沖	1952	一般	
A-185	中央気象台地震課	十勝沖地震の気象官署における観測結果	十勝地・調・委	1954	31	十勝沖	1952	験測	
A-186	中央気象台地震課	十勝沖地震余震総括	十勝地・調・委	1954	38	十勝沖	1952	余震	
A-187	中央気象台地震課	被害総括	十勝地・調・委	1954	45	十勝沖	1952	被害	
A-188	札幌管区気象台	踏査報告 (北海道の部)	十勝地・調・委	1954	50	十勝沖	1952	踏報	
A-189	中央気象台地震課	踏査報告 (三陸地方の部)	十勝地・調・委	1954	104	十勝沖	1952	踏報	
A-190	中央気象台地震課	津波	十勝地・調・委	1954	128	十勝沖	1952	津波	
A-191	武者金吉	北海道の地震活動	十勝地・調・委	1954	133	十勝沖	1952	地活	
A-192	中央気象台地震課	北海道附近の最近の地震活動	十勝地・調・委	1954	139			地活	
A-193	木村耕三	石狩川流水量の増加	十勝地・調・委	1954	145	十勝沖	1952	その他	
A-194	札幌管区気象台	道内官署月別地震回数	十勝地・調・委	1954	147	十勝沖	1952	地活	
A-195	札幌管区気象台	十勝沖地震前後に発生した特殊現象並火山、温泉、観測	十勝地・調・委	1954	150	十勝沖	1952	火山	
A-196	北海道大学理学部地質学	十勝沖地震地域地質調査報告	十勝地・調・委	1954	163	十勝沖	1952	地質	
A-197	建設省地理調査所	十勝沖地震一等水準検測結果報告	十勝地・調・委	1954	205	十勝沖	1952	測量	

地下水, 地活

番号	著者名	題	日	発行所	西暦年	巻頁	地震名西暦年	分類	備考
A-198	第一管区海上保安本部水	十勝沖地震調査報告		十勝地・調・委	1954	209	十勝沖 1952	津波	
A-199	福富孝治・田畑忠司・他	墓石の転倒、移動等による十勝沖大地震の最大加速度と		十勝地・調・委	1954	221	十勝沖 1952	その他	地変
A-200	佐々保雄	新冠泥火山とその十勝沖地震による変動		十勝地・調・委	1954	243	十勝沖 1952	火山	地変
A-201	佐々保雄	釧路市春採に於けるズリ山の十勝沖地震による崩壊につ		十勝地・調・委	1954	261	十勝沖 1952	山崩	
A-202	楠 宏・浅田 宏	十勝沖地震による北海道沿岸の津波調査		十勝地・調・委	1954	273	十勝沖 1952	津波	
A-203	溝口 裕	津波の調査		十勝地・調・委	1954	287	十勝沖 1952	津波	
A-204	福富忠男	地中水及び温泉に就いて		十勝地・調・委	1954	295	十勝沖 1952	地下水	
A-205	倉田宗章	十勝沖地震に於ける道路被害に就いて		十勝地・調・委	1954	307	十勝沖 1952	土被	
A-206	真井耕象・北郷 繁	鉄道の被害		十勝地・調・委	1954	323	十勝沖 1952	土被	
A-207	大坪喜久太郎・他	十勝沖地震河川被害調査報告		十勝地・調・委	1954	373	十勝沖 1952	被害	
A-208	真嶋恭雄	十勝沖地震に於ける港湾被害に就いて		十勝地・調・委	1954	399	十勝沖 1952	土被	
A-209	今 俊三・前田幸雄	橋梁の被害		十勝地・調・委	1954	437	十勝沖 1952	土被	
A-210	前田直方	十勝沖震災におけるコンクリート構造物の被害について		十勝地・調・委	1954	647	十勝沖 1952	被害	
A-211	酒井忠明	「サイロ」の被害調査とその弾性学的検討		十勝地・調・委	1954	657	十勝沖 1952	被害	
A-212	林 猛雄	上水道及び下水道の被害		十勝地・調・委	1954	687	十勝沖 1952	土被	
A-213	北海道開発局土木試験所	十勝沖地震による土木工事の被害		十勝地・調・委	1954	709	十勝沖 1952	土被	
A-214	佐々木敏雄	強震地域内の地質概要		十勝地・調・委	1954	710	十勝沖 1952	地質	
A-215	宮川 勇	鵒川改修工事堤防被害状況調査報告		十勝地・調・委	1954	721	十勝沖 1952	土被	
A-216	吉田重一・武山広志	十勝川及び利別川堤防被害調査報告		十勝地・調・委	1954	736	十勝沖 1952	土被	
A-217	宇田居吾一	新釧路川堤防被害調査報告		十勝地・調・委	1954	750	十勝沖 1952	土被	
A-218	岡元北海・若月 前	橋梁被害調査報告		十勝地・調・委	1954	769	十勝沖 1952	土被	
A-219	古谷浩三	釧路港被害調査報告		十勝地・調・委	1954	784	十勝沖 1952	土被	
A-220	高木一親・中村達郎・他	十勝沖地震災害前後に於ける飲料水の化学的考	第 1 報	十勝地・調・委	1954	801	十勝沖 1952	その他	地下水
A-221	横田道夫	鉄筋コンクリート造及び鉄骨構造		十勝地・調・委	1954	815	十勝沖 1952	建被	
A-222	西 忠雄	組積造		十勝地・調・委	1954	831	十勝沖 1952	建被	
A-223	大野和男・洪 悦郎・他	木造建築物の被害について		十勝地・調・委	1954	845	十勝沖 1952	建被	
A-224	落藤藤吉・柳沢文夫	十勝沖地震に於ける学校建築の被害		十勝地・調・委	1954	907	十勝沖 1952	建被	
A-225	北海道開発局営繕部	十勝沖地震による官庁建築物の被害について		十勝地・調・委	1954	927	十勝沖 1952	建被	

A-226	札幌鉄道管理局	国鉄関係建物被害について	十勝沖地震に依る電気関係の被害状況に就て	十勝地・調・委	1954	943	十勝沖	1952	建被
A-227	松本 正・小池東一郎	農耕地及び水産関係被害		十勝地・調・委	1954	969	十勝沖	1952	被害
A-228	権平昌司			十勝地・調・委	1954	987	十勝沖	1952	被害
1960年5月24日チリ津波浪踏査速報(チリ津波合同調査班)									
A-229	羽鳥徳太郎	波高の測定方法及び基準について		チリ津・合・調	1960	8	チリ	1960	津波
A-230	鈴木建夫・他	津波波高地図 北海道		チリ津・合・調	1960	11	チリ	1960	津波
A-231	高木章雄・他	津波波高地図 青森, 宮城間		チリ津・合・調	1960	23	チリ	1960	津波
A-232	河角 広・他	津波波高地図 北海道, 静岡間		チリ津・合・調	1960	46	チリ	1960	津波
A-233	飯田政事・他	津波波高地図 静岡, 和歌山間		チリ津・合・調	1960	113	チリ	1960	津波
A-234	速水頌一郎	津波波高地図 近畿, 四国		チリ津・合・調	1960	122	チリ	1960	津波
A-235	下鶴大輔・後藤賢一	津波波高地図 九州		チリ津・合・調	1960	124	チリ	1960	津波
A-236	村瀬 勉・他	津波の最高波米襲時刻地図		チリ津・合・調	1960	137	チリ	1960	津波
A-237	鈴木建夫・他	津波調査表		チリ津・合・調	1960	184	チリ	1960	津波
A-238	鈴木建夫	各地域踏査記事及び測点々の記	齒舞, 神町間	チリ津・合・調	1960	337	チリ	1960	津報
A-239	清野政明	各地域踏査記事及び測点々の記	霧多布, 釧路間	チリ津・合・調	1960	339	チリ	1960	津報
A-240	村瀬 勉	各地域踏査記事及び測点々の記	釧路港, 浜大樹間	チリ津・合・調	1960	340	チリ	1960	津報
A-241	藤木忠美・須川 明	各地域踏査記事及び測点々の記	広尾, 襟裳, 鶴川間	チリ津・合・調	1960	341	チリ	1960	津報
A-242	柏村正和・八畝 功・他	各地域踏査記事及び測点々の記	苫小牧, 渡島砂原間	チリ津・合・調	1960	348	チリ	1960	津報
A-243	大谷清隆・中村 勉	各地域踏査記事及び測点々の記	鹿部, 江差間	チリ津・合・調	1960	351	チリ	1960	津報
A-244	鈴木次郎・他	各地域踏査記事及び測点々の記	青森・宮城間	チリ津・合・調	1960	363	チリ	1960	津報
A-245	河角 広・佐藤泰夫	各地域踏査記事及び測点々の記	大船渡, 志津川間	チリ津・合・調	1960	367	チリ	1960	津報
A-246	三好 寿・山口和貞	各地域踏査記事及び測点々の記	北海道	チリ津・合・調	1960	369	チリ	1960	津報
A-247	宮崎正衛・高野健三	各地域踏査記事及び測点々の記	北半島西岸, 青森間	チリ津・合・調	1960	375	チリ	1960	津報
A-248	佐藤良輔・栗本 広・他	各地域踏査記事及び測点々の記	岩屋, 尻屋崎, 八木間	チリ津・合・調	1960	386	チリ	1960	津報
A-249	富永政英	各地域踏査記事及び測点々の記	久慈, 小本間	チリ津・合・調	1960	417	チリ	1960	津報
A-250	宇野木早苗・土屋端樹	各地域踏査記事及び測点々の記	田老, 船越間及び津軽	チリ津・合・調	1960	420	チリ	1960	津報
A-251	表 俊一郎・小牧昭三	各地域踏査記事及び測点々の記	大館, 吉浜間	チリ津・合・調	1960	467	チリ	1960	津報
A-252	桃井高夫・黒木義弘	各地域踏査記事及び測点々の記	越喜米, 門之浜間	チリ津・合・調	1960	498	チリ	1960	津報

番号	著者名	題	目	発行所	西暦年	巻頁	地震名西暦年	分類	備考
A-253	笠原慶一・茅野一郎	各地域踏査記事及び測点々の記	大野, 気仙沼間	チリ津・合・調	1960	511	チリ 1960	津報	
A-254	平能金太郎・平沢朋郎	各地域踏査記事及び測点々の記	大谷, 志津川, 御前浜	チリ津・合・調	1960	533	チリ 1960	津報	
A-255	相田 勇・影山正樹	各地域踏査記事及び測点々の記	女川, 石巻間	チリ津・合・調	1960	561	チリ 1960	津報	
A-256	羽鳥徳太郎・高 隆二	各地域踏査記事及び測点々の記	松島, 那珂湊間	チリ津・合・調	1960	589	チリ 1960	津報	
A-257	山口林造・岡田 惇	各地域踏査記事及び測点々の記	房総半島	チリ津・合・調	1960	608	チリ 1960	津報	
A-258	寺本俊彦・永田 豊・他	各地域踏査記事及び測点々の記	三浦半島, 浜松間	チリ津・合・調	1960	634	チリ 1960	津報	
A-259	羽鳥徳太郎	各地域踏査記事及び測点々の記	八丈島	チリ津・合・調	1960	655	チリ 1960	津報	
A-260	飯田汲事・他	各地域踏査記事及び測点々の記	静岡, 和歌山間	チリ津・合・調	1960	663	チリ 1960	津報	
A-261	速水頌一郎	各地域踏査記事及び測点々の記	近畿, 四国	チリ津・合・調	1960	731	チリ 1960	津報	
A-262	下鶴大輔・後藤賢一	各地域踏査記事及び測点々の記	九州	チリ津・合・調	1960	732	チリ 1960	津報	
A-263	新田 清	各地域踏査記事及び測点々の記	釜石, 気仙沼	チリ津・合・調	1960	741	チリ 1960	津報	
A-264	堀川清司・鮮干 澈	各地域踏査記事及び測点々の記	宮城, 岩手, 青森県下	チリ津・合・調	1960	749	チリ 1960	津報	
A-265		検潮記録		チリ津・合・調	1960	755	チリ 1960	津波	
<p>1960年5月24日チリ地震津波に関する論文及び報告 Report on the Chilean Tsunami of May 24, 1960, as Observed along the Coast of Japan.          (Comm. Field Invest. Chilean Tsunami of 1960)</p>									
A-266	R. Takahasi et al.	A Summary Report on the Chilean Tsunami of May		Comm. Field Inv.	1961	23	チリ 1960	一般	
A-267	T. Hagiwara et al.	Seismological Data of Chilean Earthquakes in 1960.		Comm. Field Inv.	1961	35	チリ 1960	験測	
A-268	K. Takano et al.	Drawing of Refraction Diagrams and Analysis of		Comm. Field Inv.	1961	46	チリ 1960	津波	Geophysical Notes, 15 (1962) Collected Oceanogr. Papers. 6 津波 津波
A-269	H. Miyoshi et al.	The Land-tied Island and the Tidal Establishments—		Comm. Field Inv.	1961	52	チリ 1960	防災	
A-270	B. Kawamura et al.	On the Deformation of the Sea Bottom in Some		Comm. Field Inv.	1961	57	チリ 1960	地質	
A-271	Y. Katô et al.	The Chilean Tsunami of May 24, 1960 Observed		Comm. Field Inv.	1961	67	チリ 1960	津波	
A-272	S. Taneda	“Chile Tsunami” in the Okinawa Islands.		Comm. Field Inv.	1961	77	チリ 1960	津波	
A-273	K. Nakamura et al.	Tsunami Forerunner Observed in Case of the Chile		Comm. Field Inv.	1961	82	チリ 1960	津波	
A-274	K. Kajiuira	A Note on the Partial Reflection of Long Waves		Comm. Field Inv.	1961	100	チリ 1960	津波	

A-275	羽鳥徳太郎	チリ津波における日本近海の動向一特に東京湾・伊勢湾	チリ津・合・調	1961	103	チリ	1960	津波	チリ津波合同 調査班
A-276	K. Iida and Y. Ohta	On the Height of the Chilean Tsunami on the	Comm. Field Inv.	1961	108	チリ	1960	津波	
A-277	M. Tominaga	Secondary Undulations in Miyako Bay accompanied	Comm. Field Inv.	1961	126	チリ	1960	津波	
A-278	H. Higuchi	On the Change of Amplitude of Chilean Tsunami	Comm. Field Inv.	1961	129	チリ	1960	津波	
A-279	K. Horikawa	Tsunami Phenomena in the Light of Engineering	Comm. Field Inv.	1961	136	チリ	1960	津波	
A-280	日本建築学会	建物被害概況	チリ津・合・調	1961	151	チリ	1960	津波	
A-281	羽鳥徳太郎	津波の高さの測定方法および基準並に最高波来襲時刻に	チリ津・合・調	1961	165	チリ	1960	津波	
A-282		津波の高さ分布図	チリ津・合・調	1961	166	チリ	1960	津波	
A-283		津波の最高波来襲時刻地図	チリ津・合・調	1961	201	チリ	1960	津波	
A-284	鈴木建夫	調査報告 歯舞, 柳町間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	219	チリ	1960	津報	
A-285	清野政明	調査報告 霧多布, 釧路間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	219	チリ	1960	津報	
A-286	村瀬 勉	調査報告 釧路港, 浜大樹間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	220	チリ	1960	津報	
A-287	藤木忠美・須川 明	調査報告 広尾, 襟裳, 鶴川間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	221	チリ	1960	津報	
A-288	高橋 将	調査報告 苫小牧, 室蘭間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	222	チリ	1960	津報	
A-289	柏村正和	調査報告 噴火湾伊達町, 長万部間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	222	チリ	1960	津報	
A-290	八嶽 功	調査報告 長万部, 砂原間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	224	チリ	1960	津報	
A-291	大谷清隆・中村 勉	調査報告 鹿部, 江差間 (北海道)	チリ津・合・調	1961	225	チリ	1960	津報	
A-292	三好 寿・山口和貞	調査報告 北海道	チリ津・合・調	1961	226	チリ	1960	津報	
A-293	岩井淳一・他	チリ地震津波による三陸沿岸被害地の地質学的調査報告	チリ津・合・調	1961	232	チリ	1960	津波	
A-294	宇野木早苗・土屋瑞樹	調査報告 津軽半島, 青森, 鯉ヶ沢間 (青森県)	チリ津・合・調	1961	242	チリ	1960	津報	
A-295	宮崎正衛・高野健三	調査報告 下北半島西岸, 青森間 (青森県)	チリ津・合・調	1961	245	チリ	1960	津報	
A-296	佐藤良輔・栗本 広・他	調査報告 岩屋, 尻屋崎, 八木間 (青森県, 岩手県)	チリ津・合・調	1961	248	チリ	1960	津報	
A-297	富永政英	調査報告 久慈, 小本間 (岩手県)	チリ津・合・調	1961	256	チリ	1960	津報	
A-298	宇野木早苗・土屋瑞樹	調査報告 田老, 船越間 (岩手県)	チリ津・合・調	1961	257	チリ	1960	津報	
A-299	表 俊一郎・小牧昭三	調査報告 大槌, 吉浜間 (岩手県)	チリ津・合・調	1961	263	チリ	1960	津報	
A-300	桃井高夫・黒木義弘	調査報告 越喜来, 門之浜間 (岩手県)	チリ津・合・調	1961	273	チリ	1960	津報	
A-301	笠原慶一・茅野一郎	調査報告 大野, 気仙沼間 (岩手県, 宮城県)	チリ津・合・調	1961	276	チリ	1960	津報	
A-302	平能金太郎・平沢朋郎	調査報告 本吉町大谷浜, 女川町御前浜間 (宮城県)	チリ津・合・調	1961	281	チリ	1960	津報	
A-303	相田 勇・影山正樹	調査報告 女川, 石巻間 (宮城県)	チリ津・合・調	1961	289	チリ	1960	津報	

番号	著者名	題目	発行所	西暦年	巻頁	地震名西暦年	分類	備考
A-304	羽鳥徳太郎・高隆二	調査報告 松島, 那珂湊間 (宮城県, 福島県, 茨城県)	チリ津・合・調	1961	303	チリ 1960	津報	
A-305	山口林造・岡田惇	調査報告 房総半島 (千葉県)	チリ津・合・調	1961	310	チリ 1960	津報	
A-306	羽鳥徳太郎	調査報告 八丈島 (東京都)	チリ津・合・調	1961	318	チリ 1960	津報	
A-307	寺本俊彦・永田豊・他	調査報告 三浦半島, 浜松間 (神奈川県, 静岡県)	チリ津・合・調	1961	321	チリ 1960	津報	
A-308	飯田汲事・大田裕	調査報告 浜松, 和歌山間 (静岡県, 愛知県, 三重県)	チリ津・合・調	1961	325	チリ 1960	津報	
A-309	速水頌一郎	調査報告 西日本におけるチリ津波調査	チリ津・合・調	1961	338	チリ 1960	津報	
A-310	下鶴大輔・後藤賢一	調査報告 九州	チリ津・合・調	1961	343	チリ 1960	津報	
A-311		Distribution of Tide-gauge Stations & Mareograms	チリ津・合・調	1961	347	チリ 1960	その他津波	
<b>新潟地震防災研究総合報告 全国科学技術団体総連合</b>								
A-312	古賀頼四郎	新潟地震と河川災害について	山海堂	1965	4	新潟 1964	被害	
A-313	梶木又三	農地, 農業用施設の被災の概況について	山海堂	1965	9	新潟 1964	被害	
A-314	伊藤直行	新潟地震による道路関係被害の概要	山海堂	1965	14	新潟 1964	土被	
A-315	尾崎寿・大橋勝弘	新潟地震による鉄道の被害	山海堂	1965	20	新潟 1964	被害	
A-316	長尾義三	新潟地震による港湾被害と今後の復旧方針	山海堂	1965	26	新潟 1964	土被	
A-317	大友実	新潟地震による電気通信設備の被害と問題点	山海堂	1965	35	新潟 1964	被害	
A-318	藤波恒雄	新潟地震による電気関係施設の被害	山海堂	1965	41	新潟 1964	被害	
A-319	大橋文雄	新潟地震による水道被害	山海堂	1965	46	新潟 1964	土被	
A-320	新居六郎	昭和石油新潟製油所火災調査	山海堂	1965	50	新潟 1964	火災	
A-321	広野卓蔵	新潟地震の概況	山海堂	1965	60	新潟 1964	一般	
A-322	南雲昭三郎	地震動と地変	山海堂	1965	68	新潟 1964	地変	
A-323	梶浦欣二郎	新潟地震に伴った津波	山海堂	1965	76	新潟 1964	津波	
A-324	坪川家恒	新潟地震前後の地盤の変動	山海堂	1965	82	新潟 1964	地殻変	
A-325	須具貫二	地質調査所の新潟地震予察報告一とくに平野部における	山海堂	1965	88	新潟 1964	地殻変	
A-326	佐藤一彦・茂木昭夫	新潟地震による栗島付近海底の地殻変動	山海堂	1965	94	新潟 1964	地殻変	
A-327	有賀世治	空中写真による震害調査	山海堂	1965	100	新潟 1964	被害	
A-328	渡辺隆	地盤および土質	山海堂	1965	104	新潟 1964	地盤	地質
A-329	福岡正巳	堤防などの被害について	山海堂	1965	111	新潟 1964	土被	





番号	著者名	題目	発行所	西暦年	西暦年	西暦年	分類	備考
B-1		明治5年旧2月6日浜田地震	浜田測候所	1912	1872	1872	一般	
B-2	新愛知社	地震叢報	新愛知社	1891	1891	1891	一般	号外
B-3	秋風道人 編	愛知岐阜福井三県大地震見聞録	東京日進堂	1891	1891	1891	一般	
B-4	湯地丈雄 編	明治地震詳報	一誠社	1893	1891	1891	一般	護国之光号外 名古屋
B-5	片山逸朗	濃尾震誌	岐阜大垣町	1891	1891	1891	一般	名古屋金池堂
B-6	木沢成爾・山羽義彦	明治震災輯録	金池堂	1891	1891	1891	一般	
B-7	石原 憲	濃尾惨状地震実記	惟正館	1891	1891	1891	一般	「本
B-8	青山三郎 編	岐阜県震災写真	造家学会	1894	1894	1894	被害	内(1894)単行
B-9	范 大吉 編	山形県及東京府下震災被害之図	日向書店	1894	1894	1894	被害	被害図集・庄
B-10	今村次郎助	両羽地震誌	宮城 県	1903	1896	1896	津波	単行本
B-11	宮城 県	宮城地震誌	宮城 県	1897	1896	1896	一般	被害
B-12	秋田震災救済会	秋田震災誌	秋田震災救	1910	1909	1909	被害	
B-13	滋賀 県	滋賀県震災実景写真帖	滋賀 県	1917	1914	1914	被害	
B-14	加藤清郎 編	大沢郷村震災誌	仙北郡役所	1914	1914	1914	一般	被害
B-15		秋田県大地震仙北郡大地震写真帳	仙北郡役所	1914	1914	1914	被害	
B-16	C. Davison	The Japanese Earthquake of 1923.	London	1931	1923	1923	一般	
B-17	M. Shibusawa	A Description of the Damages Done by the Great		1924	1923	1923	被害	
B-18	内務省社会局	大正震災志 上・下	内務省	1926	1923	1923	一般	
B-19	内務省社会局	大正震災志 写真帖	内務省	1926	1923	1923	被害	
B-20	Bureau of Social Affairs	The Great Earthquake of 1923 in Japan.	Home Office	1926	1923	1923	一般	
B-21	Bureau of Social Affairs	Companion Maps and Diagrams to the Great	Home Office	1926	1923	1923	被害	
B-22		大正12年鉄道震害調査書	鉄道省	1927	1923	1923	土被	相模(1924)
B-23	中央気象台	関東大震災調査報告(地震篇)	中央気象台	1924	1923	1923	一般	
B-24	中央気象台	関東大震災調査報告(気象篇)	中央気象台	1924	1923	1923	その他	
B-25	電気学会・電気協会	電気工作物震災予防調査会調査書	復興局	1924	1923	1923	被害	
B-26	復興局建築部	東京及横浜地質調査報告	復興局	1929	1923	1923	地質	
B-27	東京市赤坂区役所	赤坂区震災誌	赤坂区役所	1925	1923	1923	一般	被害

B-28	臨時震災救護事務局	震災被害状況並救護施設概要							被害	1923	関東		
B-29	警視庁	大正12年震災統計書							被害	1923	関東		
B-30	神奈川県警察部	大正大震災写真誌							火災	1923	関東		日本聯合通信社
B-31		関東大震災写真帖							火災	1923	関東		
B-32	陸地測量部	関東震災地方土地垂直變動図 10万分の1 掛図							昇降	1923	関東		
B-33	陸地測量部	関東地方激震後ニ於ル震災地一帯ニ於ケル土地ノ隆起及沈下状態							地殻変	1923	関東		
B-34	陸地測量部	関東震災地一帯ニ於ケル土地ノ隆起及沈下状態							昇降	1923	関東		
B-35	陸地測量部	関東震災地一帯ニ於ケル土地ノ隆起及沈下状態							測量	1923	関東		
B-36	陸地測量部	関東震災地復旧測量記事							測量	1923	関東		
B-37	水路部	大正12年震災地方海面ノ調査							測量	1924	関東		
B-38	水路部	丹後但馬震災地方海面ノ調査							測量	1925	但馬(丹後)		
B-39	京都府測候所	昭和2年3月7日北丹後地震報告							海況	1925	丹後		
B-40	永浜宇平	丹後地震誌							一般	1927	丹後		
B-41	陸地測量部	東京帝国大学地震研究所委託丹後地方測量作業記事							一般	1927	丹後		
B-42	陸地測量部	丹後地方震災地復旧一等水準測量記事							測量	1927	丹後		
B-43	陸地測量部	丹後地方震災地復旧二等三角測量記事							測量	1927	丹後		
B-44	陸地測量部	奥丹後半島復旧三等三角測量記事							測量	1927	丹後		
B-45	陸地測量部	丹後地方震災地三等三角測量一等水準測量追加作業記事							測量	1927	丹後		
B-46		昭和5年11月26日伊豆烈震写真帖							その他	1930	伊豆		
B-47	陸地測量部	伊豆震災地一・二等三角点復旧測量記事							測量	1930	伊豆		
B-48	陸地測量部	伊豆震災地復旧三等三角測量記事							測量	1930	伊豆		
B-49	埼玉県立小川高等女学校	昭和6年9月21日北関東地震震源地の実証を採る							その他	1931	西埼玉		
B-50	農林省水産局	三陸地方津浪災害予防調査報告書							津波	1933	三陸		
B-51	農林省山林局	三陸地方防潮林造成調査報告書							津波	1933	三陸		
B-52	陸地測量部	三陸震災地復旧測量記事							測量	1933	三陸		
B-53	陸地測量部	静岡地方震災地二・三等三角・一等水準復旧測量記事							測量	1933	三陸		
B-54	岐阜測候所	昭和9年8月18日郡上郡南部ノ地震ニ就イテ							一般	1934	岐阜八		「冊子」10頁ほどの小
B-55	国土地理院測地部	三河震災地区二、三等三角復旧測量報告							測量	1945	三河		中国四国地方
B-56	中国四国地方建設局	昭和30年度地盤変動調査 中間報告							地殻変	1946	南海		

番号	著者	題名	目録	発行所	西暦年	西暦巻頁	地震名西暦年	分類	備考
B-57	中国四国地方建設局	地盤変動対策とその問題点		中・四・建設局	1955		南海	地震委	
B-58	北陸震災調査特別委員会	昭和23年福井地震調査報告 I. 土木部門		北・震・調・特・委	1950		福井	土被	北陸震災調査特別委員会
B-59	北陸震災調査特別委員会	昭和23年福井地震調査報告 II. 建築部門		北・震・調・特・委	1951		福井	建被	
B-60	学術研究会議・土木学会	北陸震災調査概報(土木施設ノ被害)			1948		福井	土被	
B-61	Y. Sakabe	On the Damage of Fukui Earthquake and the		地・工・国際・2	1960	543	福井	被害	
B-62	鉄道技術研究所	昭和23年6月28日の福井地震の調査報告		鉄道技術研			福井	一般	鉄研・土質研
B-63	Office of the Eng. G.H.Q.	The Fukui Earthquake, Hokuriku Region, Vol. 1		G. H. Q.	1949		福井	地質	報告書昭和21, 22, 23年上に収録
B-64	Office of the Eng. G.H.Q.	The Fukui Earthquake, Hokuriku Region, Vol. 2		G. H. Q.	1949		福井	被害	
B-65	福井県	福井震災誌		福井県	1949		福井	一般	
B-66	北海道大学理学部地質学	昭和27年3月4日十勝沖地震調査報告		北海道学	1952		十勝沖	踏報	地質学鉱物学教室
B-67	中央氣象台地震課	昭和27年11月5日カムチャッカ南東沖地震概報		中・気・地震課	1952		カムチ	一般	
B-68	京都府建築部建築課	吉野地震被害状況通信調査報告 第一報		京都・建築課	1952		吉野	通調	被害
B-69	仙台管区氣象台	昭和31年9月30日宮城県阿武隈川下流域(白石一小原周)		仙台氣象台	1956		白石	一般	
B-70	琉球氣象台	石垣島北東沖地震調査報告		琉球氣象台	1959		石垣島	一般	津波
B-71	仙台管区氣象台	昭和35年3月21日三陸沖地震津波調査概報		仙台氣象台	1960		三陸	一般	津波
B-72	東北大学工学部建築学	チリ地震津波災害調査報告(第一報)		東北大建築	1960		チリ	津被	津報
B-73	運輸省第三港湾建設局	チリ地震津波調査報告書 第1報		運輸省港・建	1960		チリ	津波	第三港湾建設局
B-74	盛岡鉄道管理局施設部	チリ地震津波調査報告		盛岡鉄・管・施	1960		チリ	津波	盛岡鉄道管理局施設部
B-75	日本建築学会	チリ地震津波災害調査報告書 東北地域分		日本建築学	1960		チリ	津被	津報
B-76	日本建築学会北海道支部	昭和35年5月24日チリ地震津波被害調査概報(北海道地)		日・建・学・北海	1960		チリ	津報	日本建築学会北海道支部
B-77	日本建築学会東海支部	チリ地震津波災害調査報告(紀伊半島東海岸)		日・建・学・東海	1960		チリ	津被	
B-78	横尾義貞・石崎澄雄	チリ地震津波災害調査報告書 近畿・四国地区篇		日・建・学・近畿	1960		チリ	津被	京都大学防災研究所
B-79	建設省国土地理院	チリ地震津波調査報告書一海岸地形とチリ地震津波一		建・国土地理	1961		チリ	津波	地質
B-80	R. Takahashi	Report on the Chilean Tsunami of 1960.		地・工・国際・2	1960	639	チリ	津波	
B-81	函館海洋氣象台	1960年5月24日チリ地震津波調査報告		函・海・氣象台	1960		チリ	津波	
B-82	札幌管区氣象台	昭和35年5月24日チリ地震津波調査概報		札幌氣象台	1960		チリ	津波	津報

B-83	仙台管区気象台	昭和35年5月24日チリ地震津波調査報告	仙台気象台	1961	チリ	津波	津報
B-84	仙台管区気象台	昭和35年5月24日チリ地震津波調査報告(別冊)	仙台気象台	1960	チリ	津波	
B-85	名古屋地方気象台	1960年5月24日チリ地震津波概報	名古屋気象台	1960	チリ	津波	
B-86	尾鷲測候所	昭和35年5月24日熊野灘沿岸に大被害をもたらしたチリ	尾鷲測候所	1960	チリ	津波	
B-87	大阪管区気象台	昭和35年5月24日チリ地震津波連報	大阪気象台	1960	チリ	津波	津報
B-88	福岡管区気象台	昭和35年5月24日チリ地震津波調査報告	福岡気象台	1960	チリ	津波	
B-89	宮崎地方気象台	昭和35年5月24日チリ地震津波調査報告	宮崎気象台	1960	チリ	津波	
B-90	琉球気象台	琉球に於けるチリ津波調査報告	琉球気象台	1960	チリ	津波	
B-91	仙台管区気象台	昭和37年4月30日宮城県北部地震調査概報	仙台気象台	1962	宮城北	一般	
B-92	敦賀測候所	昭和38年3月27日越前沖地震調査概報	敦賀測候所	1963	越前岬	一般	
B-93	東京都立大学工学部建築	新潟地震被害調査報告書 その1	都、大、工、建、工	1964	新潟	被害	東京都立大学工学部建築工学科
B-94	東京都立大学工学部建築	新潟地震被害調査報告書 その2. 砂地盤の液化化現象	都、大、工、建、工	1964	新潟	被害	
B-95	新潟大学理学部地質鉱物	新潟地震地盤災害図 縮尺 1:3000	地、工、国際・3	1964	新潟	地盤	深田地質研究所
B-96	Jan. Nat. Comm. on Earthq.	Niigata Earthquake of 1964.	Earthq. Res. Inst.	1965 3 S 78	新潟	一般	
B-97	Strong-Motion Earthq. Obs. Comm.	Strong-Motion Earthquake Records of the Niigata Earthquake, June 16, 1964.	Earthq. Res. Inst.	1964	新潟	検測	
B-98	土木学会新潟震災調査委	昭和39年新潟地震被害調査報告	土木学会	1966	新潟	被害	
B-99	日本建築学会	新潟地震災害調査報告	土木学会	1964	新潟	被害	
B-100	日本建築学会	新潟地震災害調査報告	土木学会	1965	新潟	耐震	
B-101	日本建築学会近畿支部	新潟地震被害調査報告書	日、建、学、近畿	1964	新潟	建設	
B-102	日本軽量鉄骨建築協会	新潟地震による鉄骨建築物の被害状況調査報告書(新潟)	日、軽、鉄、建、協	1964	新潟	建設	日本軽量鉄骨建築協会
B-103	中村公平・鈴木将之	新潟地震津波について	東北・災、科、研	1966	新潟	津波	東北地域災害科学研究
B-104	酒田測候所	新潟地震報告	東北・災、科、研	1964	新潟	一般	小冊子
B-105	富沢 襄・富沢 尹	新潟地震に於ける酒田の記録	電力中央研	1964 計57	新潟	一般	被害 単行本
B-106	電力中央研究所技術研	新潟地震被害現地調査報告	電力中央研	1964 計27	新潟	被害	
B-107		航空写真による新潟地震災害判読図 一, 二	国、防、科、技、セ	1965	新潟	被害	国立防災科学技術センター

番号	著者名	題目	発行所	西暦年	巻頁	地震名	西暦年	分類	備考
B-108	鉄道技術研究所	新潟地震防災総合研究における橋りょうおよび道に	日・国・鉄・技・研	1965		新潟	1964	土被	国立防災科学技術センター
B-109	国鉄新潟支社	新潟地震災害記録 1964. 6. 16 13:02	国鉄新潟支社	1964		新潟	1964	被害	技術七依頼
B-110	運輸省港湾局・他	新潟地震津波調査報告	運輸省港湾技研	1964		新潟	1964	津波	津報
B-111	運輸省港湾局・他	新潟地震津波被害報告 第1部	運輸省港湾技研	1964		新潟	1964	土被	
B-112	運輸省港湾局・他	新潟地震津波被害報告 第2部	運輸省港湾技研	1965		新潟	1964	土被	余震
B-113	海上保安庁第9管区海上	新潟地震に関する災害対策について	第一港湾建設局	1964		新潟	1964	被害	
B-114	建設省国土地理院	新潟地震震害調査報告書	建・国土地理	1965		新潟	1964	被害	付図4枚
B-115	建設省国土地理院	昭和40年9月新潟地方地盤変動調査測量に関する速報	建・国土地理	1965		新潟	1964	測量	地殻変
B-116	建設省国土地理院	新潟地方地盤変動調査測量に関する報告(昭和39年8月)	建・国土地理	1964		新潟	1964	測量	地殻変
B-117	建設省国土地理院	新潟地方地盤変動調査測量に関する報告 一・二等水準	建・国土地理	1964 16		新潟	1964	測量	地殻変
B-118	建設省国土地理院	新潟地方地盤変動調査測量に関する報告 一・二等水準	建・国土地理	1966 17		新潟	1964	測量	地殻変
B-119	建設省国土地理院	新潟地方地盤変動調査測量に関する報告 一・二等水準	建・国土地理	1966 18		新潟	1964	測量	地殻変
B-120	建設省国土地理院	新潟地方地盤変動調査測量に関する報告 一・二等水準	建・国土地理	1967 19		新潟	1964	測量	地殻変
B-121	建設省関東地方建設局	新潟地震災害報告(新潟市内官庁施設)	関東建設局			新潟	1964	建被	
B-122	建設省北陸地方建設局	新潟地震による国道の被災について	北陸・建・新・国	1964		新潟	1964	土被	北陸地方建設局
B-123	建設省北陸地方建設局	新潟地震災害報告書	北陸建設局	1964		新潟	1964	被害	新潟国道工事
B-124	北陸地方建設局	新潟地震河川災害調査報告書	北陸建設局	1965		新潟	1964	土被	新潟工事事務所
B-125	北陸地方建設局新津工事	新潟地震による河川堤防被害(阿賀野川)について	北陸建・新津	1964		新潟	1964	土被	新
B-126	東北地方建設局酒田工事	新潟地震災害調査報告書(最上川下流)		1965		新潟	1964	被害	付図1枚
B-127	東北地方建設局酒田工事	新潟地震被害状況写真(最上川下流)				新潟	1964	被害	
B-128	通産省鉱山局石油課	新潟地震被害状況現地調査報告書	通産省石油	1964		新潟	1964	被害	
B-129	仙台通産局公益事業部	新潟地震被害概況報告書	仙台通・公・事	1964		新潟	1964	被害	仙台通産局公
B-130	農林省	新潟地震盤沈下調査報告書7	農林省	1964		新潟	1964	地盤	公益事業部
B-131	新潟県	新潟地震の記録 地震の発生と応急対策	新潟県	1965		新潟	1964	一般	
B-132	新潟県土木部	新潟地震一公共土木施設被災写真集一	新潟県	1965		新潟	1964	土被	
B-133	新潟県農林部水産課	6.16新潟地震による水産業関係被害写真	新潟・土木課	1965		新潟	1964	被害	
B-134	新潟県農林部農地建設課	新潟地震と農地災害	新潟水産課	1964		新潟	1964	被害	「農地建設課新潟県農地部

B-135	山ノ下工業用水道被災写真	新潟県	新潟	1964	1964	新潟	土被	
B-136	新潟地震による県営山ノ下工業用水道被害並びに復旧状	新潟県	新潟企業局	1964	1964	新潟	土被	
B-137	6.16新潟地震による新潟県営工業用水道被害状況	新潟県	新潟企業局	1964	1964	新潟	土被	
B-138	新潟地震誌	新潟市	新潟市	1966	1966	新潟	被害	一般
B-139	昭和39年地震災害誌	山形県	山形・対・本	1964	1964	新潟	被害	山形県災害対策本部
B-140	新潟地震の記録(鶴岡市を中心として)	山形県	鶴岡市	1965	1965	新潟	被害	一般
B-141	新潟地震による村上市被害調査図	村上市	村上市	1964	1964	新潟	被害	
B-142	6.16新潟地震被害及び救助の状況報告書 昭和39年7月	村上市	村上市	1964	1964	新潟	被害	
B-143	6.16新潟地震被害写真(村上市)	村上市	村上市	1966	1966	新潟	被害	
B-144	新潟地震酒田市災害記録	酒田市	酒田市	1965	1965	新潟	被害	
B-145	新潟地震災害記録一昭和39年6月16日発生一	電々公社信	電々公社信	1964	1964	新潟	被害	信越電気通信局
B-146	新潟地震災害報告書	東北電力株	東北電力株	1964	1964	新潟	被害	
B-147	6.16新潟地震による新潟営業所の被害とその(第1報)	北陸瓦斯株	北陸瓦斯株	1964	1964	新潟	被害	
B-148	6.16新潟地震による新潟営業所の被害とその(第2報)	北陸瓦斯株	北陸瓦斯株	1964	1964	新潟	被害	
B-149	北陸ガス(株)新潟営業所の被害とその復旧	北陸瓦斯株	北陸瓦斯株	1964	1964	新潟	被害	
B-150	新潟地震によるOFケーブルの被害と対策	藤倉電線株	藤倉電線株	1964	1964	新潟	被害	
B-151	東北電力株式会社新潟火力発電所循環水管路(1500φ)ダ	久保田鉄株	久保田鉄株	1964	1964	新潟	土被	
B-152	新潟地震による水道及びガス管路の被害状況を調査して	久保田鉄株	久保田鉄株	1964	1964	新潟	土被	
B-153	新潟地震被害速報並に検討資料	日本鋼管K	日本鋼管K	1964	1964	新潟	被害	その他
B-154	新潟地震写真集 1964. 6. 16	博進堂	博進堂	1964	1964	新潟	被害	一般
B-155	新潟地震の記録 自然との半月の戦い	新潟日報社	新潟日報社	1964	1964	新潟	被害	一般
B-156	松代地震	信濃毎日新	信濃毎日新	1966	1966	松代	被害	一般
上水内郡地質誌								
C-1	八木貞助	善光寺地震	長野県	1958	391	善光寺	一般	1847
C-2	八木貞助	善光寺地震における発光現象	長野県	1958	393	善光寺	発光	1847
C-3	八木貞助	善光寺地震に随伴し継続した陸地変形	長野県	1958	396	善光寺	地殻変	1847
C-4	八木貞助	長野地震	長野県	1958	398	長野	一般	1941
C-5	八木貞助	古間地震	長野県	1958	404	古間	一般	1943

番号	著者名	題目	発行所	西暦年	巻頁	地震名西暦年	分類	備考
C-6	和歌山県地震調査報告 田口克敏	古記録に依る安政大震津浪の考察	和歌山県	1939	19	安政 1854	津波	一般
	明治24年10月28日大震報告							
C-7	大森房吉	濃尾地震概況	岐阜測候所	1894	48	濃尾 1891	一般	
C-8	大森房吉	濃尾地震略説 統編 余震（後と揺り）に就きて	岐阜測候所	1894	88	濃尾 1891	余震	
	Proc. 5th Pacific Sci. Congr.							
C-9	K. Muto	Earth Movements in the Mino-Owari District since	Univ. Toront	1934	2333	濃尾 1891	地殻変	
	Proc. 3rd Pan-Pacific Sci. Congr.							
C-10	N. Yamasaki	Physiographical Studies of the Kwanto		1928	566	関東 1923	一般	
	大正12年関東大地震震害調査報告							
C-11		第一卷 河川・灌漑・砂防・運河・港湾之部, 電気関係	土木学会	1926		関東 1923	土被	
C-12		第二卷 上水道・下水道・瓦斯工事之部, 鉄道・軌道之	土木学会	1927		関東 1923	土被	
C-13		第三卷 橋梁・建築物之部, 道路之部	土木学会	1927		関東 1923	土被	建被
	Scientific Japan: Past and present							
C-14	A. Imamura	The Great Earthquake of S. E. Japan on Sept. 1,		1926	141	関東 1923	一般	
	地渦, 地裂及地震							
C-15	藤原咲平	地形の渦巻と相模灘大地震	古今書院	1932	22	関東 1923	発機	
C-16	藤原咲平	相模灘大地震の機巧に就て	古今書院	1932	84	関東 1923	発機	
C-17	藤原咲平	北丹後地震と割れ目の実験	古今書院	1932	97	丹後 1927	発機	断層
C-18	藤原咲平	割れ目の研究と北伊豆地震とに就て	古今書院	1932	122	伊豆 1930	発機	断層



関東の地質 C-19 藤本治義	関東大地震	中興館	1932 261	関東 1923	一般
最近の地震学 C-20 松山基範 C-21 松山基範	関東大地震の性質 但馬大地震の研究		1925 附 1 1925 附 39	関東 1923 但馬 1925	一般 一般
地質現象の新解釈 C-22 小川琢治 C-23 小川琢治	関東地震の研究 丹後地震研究		1929 119 1929 584	関東 1923 丹後 1927	一般 一般
日本地方地質誌 C-24 藤本治義	関東大地震	朝倉書店	1951 303	関東 1923	一般
信濃中部地質誌 C-25 本間不二男	小県地方の温泉と関東地震	古今書院	1931 35	関東 1923	地下水
大正13, 14年度鉄道災害記事 C-26	山陰線豊岡駅及城崎駅附近に於ける地震	鉄道省	1928 191	但馬 1925	一般
昭和元, 2年度鉄道災害記事 C-27	奥丹後に於ける震災	鉄道省	1930 121	丹後 1927	被害
Great Earthquakes C-28 C. Davison	Tango Earthquake: 1927 Mar. 7.	London	1936 212	丹後 1927	一般
北伊豆地震報告 C-29 井出東一 C-30 勝又正道	三島, 大場, 韭山, 長岡方面踏査報告 伊豆東岸踏査報告	沼津測候所 沼津測候所	1931 47 1931 49	伊豆 1930 伊豆 1930	踏報 踏報

大正12年11月  
国民衛生所載

番号	著者名	題	目	発行所	西暦 年	巻 頁	地震名西暦年	分類	備考
C-31	井出東一	大見及中狩野村踏査報告		沼津測候所	1931	51	伊豆 1930	踏報	
C-32	蔵重一彦	北伊豆震域踏査報告		沼津測候所	1931	55	伊豆 1930	踏報	
	昭和11年2月21日河内大和強震概報								
C-33	和達清夫・竹花峰夫	河内大和強震実地踏査報告		中央気象台	1936	19	河内・大1936	踏報	
	昭和16年7月15日長野強震調査概報								
C-34	本多弘吉・本間正作・他	長野強震地域踏査報告		中央気象台	1941	10	長野 1941	踏報	
	日本地方地質誌 四国地方								
C-35	小林貞一	土佐湾最近の隆起・沈降と南海地震		朝倉書店	1950	66	南海 1946	昇降	
	Studies on Oceanography, Dedicated to Prof. Hidaka in Commemoration of his Sixtieth Birthday								
C-36	I. Isozaki et al.	The Numerical Computation of the Tsunami in			1964	389	チリ 1960	津波	
	Geophysical Papers Dedicated to Prof. Kenzo Sassa								
C-37	H. Higuchi	On the Behavior of Chilean Tsunami in the Seto			1963	49	チリ 1960	津波	
	防災講義集								
C-38	柳川清司	チリ地震と津波		全国防災協	1961	69	チリ 1960	津波	全国海洋協会
	昭和35年5月24日チリ地震津波調査報告								
C-39	加藤愛雄	チリ地震津波について		宮城 県	1961	1	チリ 1960	津波	
C-40	西城忠泰	気仙沼湾における津波調査報告		宮城 県	1961	3	チリ 1960	津波	
C-41	亀井 勇	市街地の泄水分布と建物の被害		宮城 県	1961	15	チリ 1960	津波	
C-42	加藤愛雄・阿部正宏・他	チリ沖地震津波調査報告 三陸沿岸南部, 志津川湾を中		宮城 県	1961	25	チリ 1960	津波	
C-43	加藤愛雄・鈴木次郎・他	チリ地震津波踏査報告		宮城 県	1961	41	チリ 1960	津報	
C-44	岩崎敬夫	チリ地震津波による三陸沿岸の土木災害と津波対策にお		宮城 県	1961	79	チリ 1960	津波	

チリ地震津波1960大船渡災害誌									
C-45 加藤吉男・多田匡臣	チリ地震津波調査報告	1962	269	チリ	1960	津報			
C-46 福井英夫	チリ地震による三陸の津波	1962	277	チリ	1960	津波			
C-47 田辺健一	チリ地震津波による三陸諸港の災害の特色	1962	281	チリ	1960	津波			
C-48 尚 明	住宅災害について	1962	284	チリ	1960	津波	建設		
C-49 鶴田千里	防災対策のいろいろ	1962	286	チリ	1960	防災			
C-50 東北開発研究会	総合研究	1962	289	チリ	1960	一般	津波		
異常気象資料									
C-51 高知地方気象台・他	チリ一地震による津波	1960	2	チリ	1960	津波			
昭和36年異常気象報告 第1号									
C-52 宮崎地方気象台	昭和36年2月27日日向灘地震調査報告	1961	1	日向灘	1961	一般			
地震津波調査報告 I									
C-53 仙台管区気象台	1963年エトロフ沖地震津波	1963		エトフ	1963	一般	津波		
地震津波速報									
C-54 仙台管区気象台・他	1963年エトロフ沖地震津波	1963		エトフ	1963	一般	津波		
仙台管区気象台昭和39年地震津波調査報告 第1号									
C-55 仙台管区気象台	昭和39年3月28日19時半ごろ米襲したアラスカ南部近海	1964		アラス	1964	津波			
第2回災害科学総合講演会講演論文集									
C-56 金窪敏和・小林基夫・他	新潟地震一被災状況と土地条件について	1965	141	新潟	1964	被害	地盤		
土質工学会昭和39年度研究报告書									
C-57	新潟地震防災総合研究における軟弱地盤の土質調査法に			新潟	1964	地盤	地質		

番号	著者名	題	目	発行所	西暦 年	巻 頁	地震名 西暦年	分類	備考
	新潟地震調査報告								
C-58	茂木昭夫・岩淵義郎・他	新潟地震による粟島付近海底の変動について		海・保・水路部	1965	1	新潟 1964	地殻変 形	海上保安庁水 路部
C-59	歌代晴吉・荻野卓司・他	新潟地震に伴う地磁気の変化について		海・保・水路部	1965	21	新潟 1964	地電磁	
	昭和39年6月16日新潟地震地盤変動調査報告								
C-60	田島 稔	日本(特に新潟地方)における地磁気永年変化の異常分		建・国土地理	1965	38	新潟 1964	地電磁	建設省国土地 理院
	仙台管区気象台昭和39年地震津波速報 第1号								
C-61	仙台管区気象台	新潟地震津波		仙台気象台	1964		新潟 1964	津波	
	仙台管区気象台昭和39年地震津波調査報告 第2号								
C-62	仙台管区気象台	新潟地震津波		仙台気象台	1964		新潟 1964	津波	
	昭和39年異常現象調査報告 第3号								
C-63	東京管区気象台	地震・津波調査報告—1964年6月16日の新潟地震—		東京気象台	1964		新潟 1964	一般	津波
	文教関係防災の手びき 昭和40								
C-64	間 末喜	学校施設の被害について		文 部 省	1966	91	新潟 1964	建設	
C-65	竹内信雄	新潟地震技術調査団調査記録		文 部 省	1966	104	新潟 1964	建設	
	新潟地震火災に関する研究 非常火災対策の調査研究報告書 消防庁編								
C-66	井上 勇	地震と火災		全・加・法・出版	1965	199	新潟 1964	火災	全国加除法令 出版
C-67	戸川喜久二	地震時の避難		全・加・法・出版	1965	206	新潟 1964	その他	
C-68	井関弘太郎	地質学よりみた新潟地震		全・加・法・出版	1965	213	新潟 1964	地質	
C-69	井関弘太郎	地震災害対策基図の作製		全・加・法・出版	1965	219	新潟 1964	防災	
	日本火災学会昭和39年度秋季学術講演会概要集								
C-70	亀井幸次郎・川越邦雄	新潟地震による火災について		日・火災学会	1964	33	新潟 1964	火災	

C-71	新居六郎・湯木太郎 細野義純	新潟地震災害調査 1. 昭和石油新潟製油所火災調査 新潟地震災害調査 2. 消防用施設の被害調査	日・火災学会 日・火災学会	1964 1964	36 38	新潟 1964 新潟 1964	火災 被害
清水建設研究所年間研究報告書		新潟地震を考える	清水建設研	1964	2	新潟 1964	一般
地震速報		1964 (昭和39年) 12月伊豆諸島北部に発生した群発地震		1965		新潟 1964	一般
C-74	大島測候所・新島測候所		仙台気象台	1965		アリュウ 1965	津波
昭和40年異常現象調査報告 第2号		津波調査報告 昭和40年2月4日18時ころ来襲したアリュ		1966	1	松代 1965	一般
C-75	仙台管区気象台			1966	5	松代 1965	一般
昭和41年異常現象調査報告		地震調査報告—1965年8月以降の長野県松代町附近の傾 地震調査報告—松代群発地震 (第2報)—(1966年1月21					
C-76	東京管区, 長野気象台					関東 1923	その他
C-77	東京管区, 長野気象台					伊豆 1930	その他
7	イルム					新潟 1964	その他
D-1		帝都の大震災 大正12年9月1日 35 mm 無声 2巻					
D-2		北伊豆震災 35 mm 無声 2巻					
D-3	新潟日報社	新潟地震 16 mm 1巻 30分					
航空写真		「新潟地震関係」				新潟 1964	その他
D-4							
その他 (調査中)		明治24年濃尾震災に対する同地方地盤垂直変動の検測 明治24年10月28日震災記録 辛卯震災記録 大地震之実況		1907 1892 1891 1891		濃尾 1891 濃尾 1891 濃尾 1891	昇降 一般 一般 一般

番号	著者名	題目	発行所	西暦年	巻頁	地震名西暦年	分類	備考
5	渡辺九十九	山形県震水災概況		1895		庄内 1894	被害	
6	佐藤多治郎	庄内明治震災録		1895		庄内 1894	一般	
7	岡羽震災取調所	悲愴惨憺岡羽地震誌 附 日本地震録		1894		庄内 1894	一般	
8	鶴西舎主人	明治庄内甲午大地震記		1894		庄内 1894	一般	
9		三陸大海嘯岩手県沿岸被害調査表		1896		三陸 1896	津波	
10	陸地測量部	最近の津波の際に於ける東北日本海岸の異常潮位 (英)		1896		三陸 1896	津波	
11	石巻測候所	明治38年5月12日陸前地方地震報文		1900		陸前 1900	一般	
12	滋賀県	滋賀県震災救護誌		1912			被害	
13	神戸測候所	大正5年11月26日地震報告		1917		明石 1916	一般	
14	長崎測候所	肥前国千々石灘地震略報		1923		島原 1922	一般	
15	京都府	奥丹後震災誌		1928		丹後 1927	一般	
16	和歌山地方気象台	有田川下流地震についての調査報告				有田川 1929	一般	
17	盛岡地方気象台	三陸津波調査報告		1933		三陸 1933	津波	
18	福井県	昭和23年6月28日大震災被害概況				福井 1948	被害	
19	電力技術研究所土木部	十勝沖地震被害調査報告		1952		十勝沖 1952	被害	
20	札幌管区気象台	十勝沖地震被害調査報告		1952		十勝沖 1952	被害	
21	札幌管区気象台	十勝沖地震概報		1952		十勝沖 1952	被害	
22	釧路鉄道管理局	十勝沖地震震度分布図		1952		十勝沖 1952	その他	
23	北海道電氣通信局保全	十勝沖地震被害概況報告書		1952		十勝沖 1952	被害	
24	北海道建築部	昭和27年3月4日発生道東地区(日高・十勝・釧路地方)		1952		十勝沖 1952	被害	
25	札幌鉄道管理局	十勝沖地震による建物被害の概況		1952		十勝沖 1952	被害	
26	北海道大学工学部鉄道	十勝沖地震による札幌鉄道管理局管内の被害状況その他		1952		十勝沖 1952	被害	
27	酒井良男・千葉静男	釧路鉄道管理局管内主要線路震害見取図		1952		十勝沖 1952	土被	
28	酒井良男	十勝沖震災調査速報		1952		十勝沖 1952	踏報	
29	今 俊三・前田雄雄	十勝沖震災調査速報 (第2報)		1952		十勝沖 1952	踏報	
30	酒井忠明	十勝沖地震災害調査日高管内橋梁被害, 写真集		1952		十勝沖 1952	土被	
31	酒井忠明・倉田宗章・他	十勝沖地震による池田町近郊サイロ被害調査速報		1952		十勝沖 1952	被害	
32	北海道大学理学部地質	十勝沖地震調査速報		1952		十勝沖 1952	踏報	

33	北海道工学部建築	十勝沖地震調査概報 (その2)		十勝沖	1952	踏報
34	北海道工学部建築	十勝沖地震調査概報 (その1)	1952	十勝沖	1952	被害
35	盛岡地方気象台	昭和27年11月5日カムチャッカ半島南東沖地震に伴う津	1953	カムチ	1952	津報
36	盛岡地方気象台	岩手県におけるチリ地震津波概報	1960	チリ	1960	津波
37	徳島地方気象台	チリ地震津波概報	1960	チリ	1960	津波
38	アジア航空測量KK	空中写真チリ津波	1960	チリ	1960	津波
39	新潟県総務部	長岡地震の状況 昭和36年2月25日調査		長岡	1961	一般
40	国鉄東北支社	震害概況一宮城県北部の地震	1962	宮城北	1962	被害
41	金沢鉄道管理局施設部	地震災害概況		越前岬	1963	被害
42	戸田研究室	新潟地震調査報告書	1964	新潟	1964	踏報
43	八木 章	帝石地質報告 新潟地震後の重力値について		新潟	1964	重力
44	建設省新潟国道工事	新潟地震路盤調査平面図		新潟	1964	地盤

研究室報告第  
5号  
被害

15. *Bibliography of Field Studies on Major Earthquakes in Japan.*

By Tatsuo USAMI and Junzo TSUNO,  
Earthquake Research Institute.

A bibliography of field studies on major earthquakes in Japan was prepared. This includes papers concerning the field inspection, seismometrical study, study of related phenomena and investigation on damages which were published before the end of 1965. The list consists of the following items:

- (1) reference number
- (2) author's name
- (3) title of the paper
- (4) name, volume, year and page of Bulletin in which the paper is published or name of publishers
- (5) name and year of earthquake studied
- (6) main subject

Date, name, latitude, longitude, focal depth, magnitude and reference number of earthquakes are arranged in another table. Papers are classified by the year of earthquake and main subject and arranged in a form of table.

---